HD/SD キャラクタージェネレーター
テロップ画像作成ソフトウェア

ST-V5

取扱説明書

必ずお読みください！

ビデオトロン株式会社

101143R21

複写・転載を禁止します。

発行元の許可なく、この文書の記載内容の複写・転載することを禁止します。

本書に記載している商標

Microsoft, および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本文中に記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

変更について

この文書の情報は単なる情報として提供されるものであり、将来予告なく変更される可能性があります。

この製品を安全にご使用いただくために

警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1、電源プラグ、コードは

・指定された電源電圧（AC100V 50/60Hz）以外では使用しないでください。

・AC 電源（室内電源）の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。

・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。

・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。

・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。

・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等にからませないでください。

・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。

・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音がした場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。

・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。

・空調設備をご確認ください。

・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5 年に一度はファンの交換をおすすめします。

・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。

・消火器は必ず 1 本マシンルームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

・弊社にすぐ連絡ください。

3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

・特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。

・機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。

・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかりますと危険です。

4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

・部品の取り付け方法（極性の逆等）を誤ると危険です。

・電源が入っている時に行うと危険です。

・規格の異なる部品の交換は危険です。

5、その他

・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。

・重量のある機械は 1 人で持たないでください。最低 2 人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。

・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。

・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。

・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。

また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。

・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。

・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。

注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1、本製品を取扱う際は

・直射日光、水濡れ、湿気、ほこりなどを避けてご使用ください。

・身体の静電気を取り除いてから作業を行ってください。

2、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチャー部品の接触不良になります。

3、機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

4、フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。

マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。

・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。

・フィルターの付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。

通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。

·強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。

・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。

・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします。

・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。

・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。

・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。

・ファンのほこりの清掃

・カードエッジコネクタータイプの基板はコネクターの清掃を一ヶ月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。

安心してご使用していただくために定期的な(5 年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。

期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

**上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先・・・・・・ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町 2－17－16

TEL	042－666－6329
FAX	042－666－6330
受付時間	8:30～17:00
E-Mail	cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話	042－666－6311
緊急時 **	090－3230－3507
受付時間	9:00～17:00

**携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。

フォントの使用についてのお願い

フォントの使用については、フォントメーカーと使用契約を結んでください。

本製品でお使いになるフォントや本製品に映像信号として入力するフォントに関しては、フォントメーカーと使用契約を結んだフォントをご使用願います。フォントおよび本製品で編集あるいは制作された制作物の著作権に関し、当社は一切の責任を負いません。

…… 目 次 ……

HD/SD キャラクタージェネレーター …… I
テロップ画像作成ソフトウェア …… I
この製品を安全にご使用いただくために …… I
フォントの使用についてのお願い …… IV
1.概 説 …… 1
《特 長》 1
《注 意》 2
《備 考》 2
2. 起動画面とメインウインドウ …… 3
1. ST-V5テロップ画像作成ソフトウェアの起動 3
2. メインウインドウとダイアログ 5
(1)ダイアログ、ウインドウの配置 …… 5
(2)表示位置の初期化 …… 5
3.ダイアログとツールバーのメニュー …… 7
1. 編集ツールバー 7
2. 入出力ツールバー 9
3. 移動ツールバー 10
4. ページツールバー 11
5. 再生コントロール 11
6. 送出メニュー 12
7. 外部制御入出力中継BOXツールバー 14
8. 表示ツールバー 14
9. 変形ツールバー 15
10. 選択・移動ツールバー 15
11. テンプレート枠ツールバー 15
12. ライブラリダイアログ 16
(1)スタイルタブ …… 16
(2)テンプレートタブ …… 19
13. ページダイアログ 21
(1)ページタブ …… 21
(2)レイヤータブ …… 22
14. スタイルダイアログ 23
(1)文字設定 …… 23
(2)レイアウトの設定 …… 25
(3)スーパー/エッジ設定 …… 27
(4)ぼかし効果 …… 33
(5)アルファ値とキーレベルの違い …… 33
(6)カラー設定 …… 34

(7)カラー . . . 35
(9)テクスチャ . . . 39
(10)各種設定 . . . 42
(11)プレビュー . . . 43
15. 図形ツールバー . . . 44
16. ステータスバー . . . 45
17. スクロールバー . . . 46
(1)板テロップ . . . 46
(2)横ロール . . . 47
(3)縦ロール . . . 48
18. メニュー . . . 49
(1)ファイル . . . 49
(2)編集 . . . 49
(3)表示 . . . 49
(4)モード . . . 49
(5)選択・移動 . . . 50
(6)描画 . . . 50
(7)オブジェクト変形 . . . 50
(8)ページ . . . 50
(9)オプション . . . 51
(10)ヘルプ . . . 51
4. 基本操作 . . . 52
1. 文 字 . . . 52
2. 行 . . . 52
3. 図形 . . . 52
4. イメージ . . . 52
5. テロップファイルの属性 . . . 53
(1)テロップ作成時に設定する場合 . . . 53
(2)テロップを作成中に属性を変更する場合 . . . 53
6. ロールテロップの生成とプレビュー . . . 55
5. 操作方法 . . . 56
1. 入 力 . . . 56
(1)文字入力 . . . 56
(2)改行と改ページ . . . 56
(3)半角スペースの級数指定 . . . 56
(4)半角文字自動級数設定 . . . 56
(5)テキストからのコピー＆貼り付け . . . 57
(6)固定枠の作成と削除 . . . 57
(7)テキストの流し込み . . . 58
(8)画枠の外にある文字の処理 . . . 75

(9)図形入力 . . . 76
(10)イメージ入力 . . . 79
(11)テンプレート枠の作成 . . . 91
2. 編 集 . . . 93
(1)選択 . . . 93
(2)切り取り (コピー)と貼り付け . . . 95
(3)テキストコピーと貼り付け . . . 95
(4)グループ化 . . . 96
(5)グループ化解除 . . . 96
(6)UNDO機能 . . . 96
(7)ページメニュー . . . 97
(8)オブジェクト変形 . . . 99
3. 削 除 . . . 102
(1)選択した文字／図形／イメージの削除 . . . 102
(2)入力モードでの文字の削除 . . . 102
4. 移 動 . . . 103
(1)マウスドラッグ＆ドロップによる移動 . . . 103
(2)キーボードの十字キーによる移動 . . . 103
(3)右クリックメニューによる移動 . . . 103
5. 属性の変更 . . . 104
(1)文字の属性の変更 . . . 104
(2)図形の属性の変更 . . . 104
(3)文字オフセットの変更 . . . 105
(4)行揃えの変更 . . . 106
(5)文字のサイズ変更 . . . 106
(6)固定枠の枠サイズ変更 . . . 106
(7)イメージ領域の変更 . . . 106
(8)線と矢印の変更 . . . 106
(9)図形(四角／楕円／多角形)の変更 . . . 107
(10)右クリックメニューによる図形、イメージ領域の変更 . . . 107
(11)エッジの変更 . . . 107
(12)スーパー／エッジ KEYレベル . . . 107
6. 着 色 . . . 108
(1)単 色 . . . 108
(2)グラデーション . . . 108
(3)テクスチャ . . . 111
7. テロップの背景(座布団) . . . 112
(1)背景(座布団)の描き込み . . . 112
(2)テロップの文字入力 . . . 112
(3)レイヤーの調整 . . . 113

8. ファイル保存／読み込み 114
(1)ファイルの保存 114
(2)ファイルを開く(ST-V5、ST-300、ST-330W/M、ST-9920のテロップファイル) 115
(3)汎用イメージデータの保存と出力 118
(4)VPngイメージデータの保存と出力 119
(5)VPngイメージデータのFTP転送 120
(6)シーケンシャルファイル 121
(7)CF-90イメージデータのFTP転送 122
(8)テロップファイル入力 130
(9)テロップファイル出力 132
(10)ST-V5のインポート、エクスポートイメージファイル 133
9. グリッド・吸着・マーカーの設定 134
(1)吸着エリアマーカー 134
(2)吸着 136
(3)バックグラウンド 136
(4)セーフティーマーカー 137
(5)エリアマーカー 137
(6)センター 138
(7)グリッド 138
10. 印　刷 139
(1)簡易印刷 139
(2)印刷プレビュー 139
11. オプション設定 140
(1)グリッド吸着 140
(2)グリッド幅 140
(3)カスタマイズ 140
(4)ビデオボード設定 156
(5)送出設定 160
(6)ビデオ入力 162
12. ショートカットキー　一覧 164
(1)STデフォルト設定(工場出荷時設定) 164
(2)サンプルプリセット 165
6. 工場出荷時設定 168
7. トラブルシューティング 172
8. 索　引 175

1.概　説

キャラクタージェネレーター テロップ画像作成ソフトウェア ST-V5 は、テロップウインドウ上に文字／図形／イメージを配置してカラーやエッジなどの装飾を行いテロップを作成する文字発生ソフトウェアです。

TrueType、OpenTypeフォント(※1)を使用しアンチエイリアッシング処理された放送品質の文字を発生し、着色、エッジ付け、グラデーションなどの装飾で多彩な文字表現ができます。また、ロールモードにより縦方向、横方向のロールテロップも簡単に作成できます。

当社テロップファイル装置及びST-330、ST-300、ST-300V5のデータファイルの読み込みや、CF-50、TF-854、TF-853、TW-428のフォーマットでMOへのファイルの保存ができます。

SDTVからHDTVのテロップ作成が行え、HDTVとSDTVは相互にコンバートが可能です。

《特　長》

●多彩な文字表現

・TrueType、OpenTypeフォント(※1)を使用し放送品質の文字発生が行えます。

・文字やイメージにエッジ、シャドウなどのエッジを多重に付け多彩な文字の表現ができます。

・単色、グラデーション、テクスチャなど簡単にカラーを付け文字に装飾することができます。

・3D、エンボスなどで厚みのある文字表現ができます。

・文字に対して横倍率、縦倍率、傾斜、回転、文字列に対して回転、パース、扇などの変形効果ができます。

・UNICODEによる多国言語での文字入力が行えます。

●無限ソフトウェアレイヤー

・各文字列、イメージ、図形等はレイヤーとして管理され、重ねあわせ、表示順番の入れ替え等の組み合わせを簡単に編集できます。

●テンプレートや定型枠流し込みによる簡単編集

・予め作成したテンプレートに設定されたテロップ配置や文字属性でのテロップが作成できます。

・定型枠流し込みにより、テキストデータから簡単にテロップが作成できます。

●汎用イメージファイルおよびテロップファイル

・BMP、TIFF、TARGA、PSD(レイヤー対応)、PICT、PNG、JPEG形式の汎用イメージの読み込みが可能です。

・BMP、TIFF、TARGA、PICT、PNG、JPEG形式の書き出しが可能です。

・TIFF、TARGA形式によるロールテロップのシーケンシャルファイルの書き出しが可能です。

・当社テロップファイル装置のファイル読み込み、作成、保存が簡単にできます。

今までの資源を無駄にしません。

●ネットワークで分散テロップ作成

・各端末、テロップファイル装置をLANで接続することで、テロップ作成が分散でき効率的な運用ができます。

《注 意》

※1 TrueTypeフォントを商用利用される場合は、フォントメーカーと個別の契約が必要となる場合があります。

※ ファイル互換について

ST-V5で作成したファイルは拡張子が".ST5"になります。ST-V5(ST5)形式で保存されたテロップファイルはST-V5より前のバージョンのSTシリーズ(ST-300に付属しているST-300、ST-300S、ST-300S02、ST-390、TW-300)では開くことができません。ST-300のSTシリーズにデータを渡す際は、そのバージョンにあったST-300(STW)形式でデータをエクスポートする必要があります。ST-300(STW)形式でエクスポートしたテロップファイルは、旧バージョンにない機能は変換され、レイアウトなど変わる場合があります。またその際、現在編集中のデータも同時に変換されます。

《備 考》

※システムの構成、接続、セットアップ、ビデオボードなどについてはそれぞれのシステムに付属の「 ユーザーズマニュアル 」をご参照ください。

※インストール、アンインストール方法につきましてはそれぞれのシステムに付属の「 ユーザーズマニュアル 」をご参照ください。

※送出部については「送出用ソフトウェア ST-SV5 取扱説明書 」をご参照ください。(オンライン版のみ)

2. 起動画面とメインウインドウ

1. ST-V5テロップ画像作成ソフトウェアの起動

1)デスクトップ上のアイコンをダブルクリックするか、スタートメニューから起動します。

2)[モード選択]ダイアログから、モードを選択します。

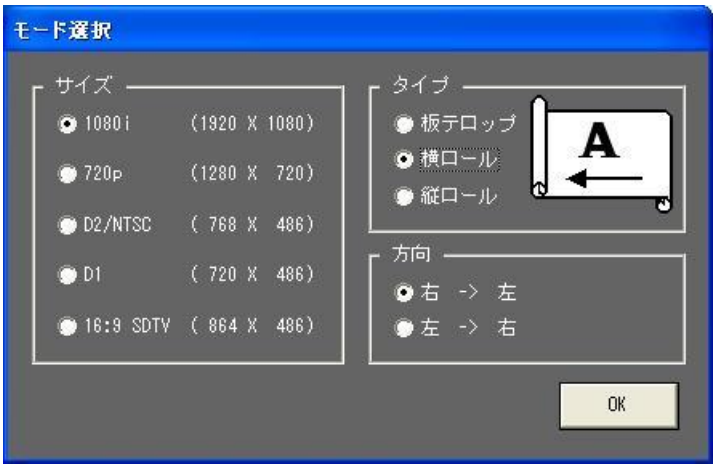


図 2-1-1　モード選択画面

［サイズ］

作成するテロップの画枠を設定します。

出力可能な映像フォーマットは装着するフレームバッファーにより異なります。

1080i ・・・・・　横 1920ドット、縦 1080ドットの画枠のテロップを作成します。

720p ・・・・・　横 1280ドット、縦 720ドットの画枠のテロップを作成します。

D2/NTSC・・　横 768ドット、縦 486ドットの画枠のテロップを作成します。

D1・・・・・・・・　横 720ドット、縦 486ドットの画枠のテロップを作成します。

16:9 SDTV・・　横 864ドット、縦 486ドットの画枠のテロップを作成します。

※ST-300シリーズのオンライン版を使用されているかたへ

ST-350シリーズから編集フォーマットと出力フォーマットの制限が無くなりました。

このため編集フォーマットをHDとSD間で切り替えても出力フォーマットは変更されなくなります。

編集フォーマットをHD/SD間で切り替えた時、出力フォーマットも合わせて変更したい場合は

別途ビデオボード設定から出力フォーマットを変更してください。

［タイプ］

作成するテロップのタイプを選択します。

板テロップ ・・・　1ページが1画面のテロップを作成します。
横ロール ・・・・　ページが横方向に連続したテロップを作成します。
縦ロール ・・・・　ページが縦方向に連続したテロップを作成します。

［方向］

テロップのタイプが横ロール、縦ロールを選択した時のロールする方向を選択します。
上下左右からロールさせる方向を選択します。

3)モードを選択し

をクリックすると選択したサイズとタイプ、方向にあわせてメインウインドウが表示されます。

2. メインウインドウとダイアログ

(1)ダイアログ、ウインドウの配置

各ツールバー、ダイアログはメインウインドウから独立し、自由に配置できます。

(2)表示位置の初期化

メニューの[表示]－[メニュー]－[初期化]を選択すると、ダイアログの配置が画面の大きさに合わせて各辺に沿って配置されます。(表示中のダイアログのみ配置)

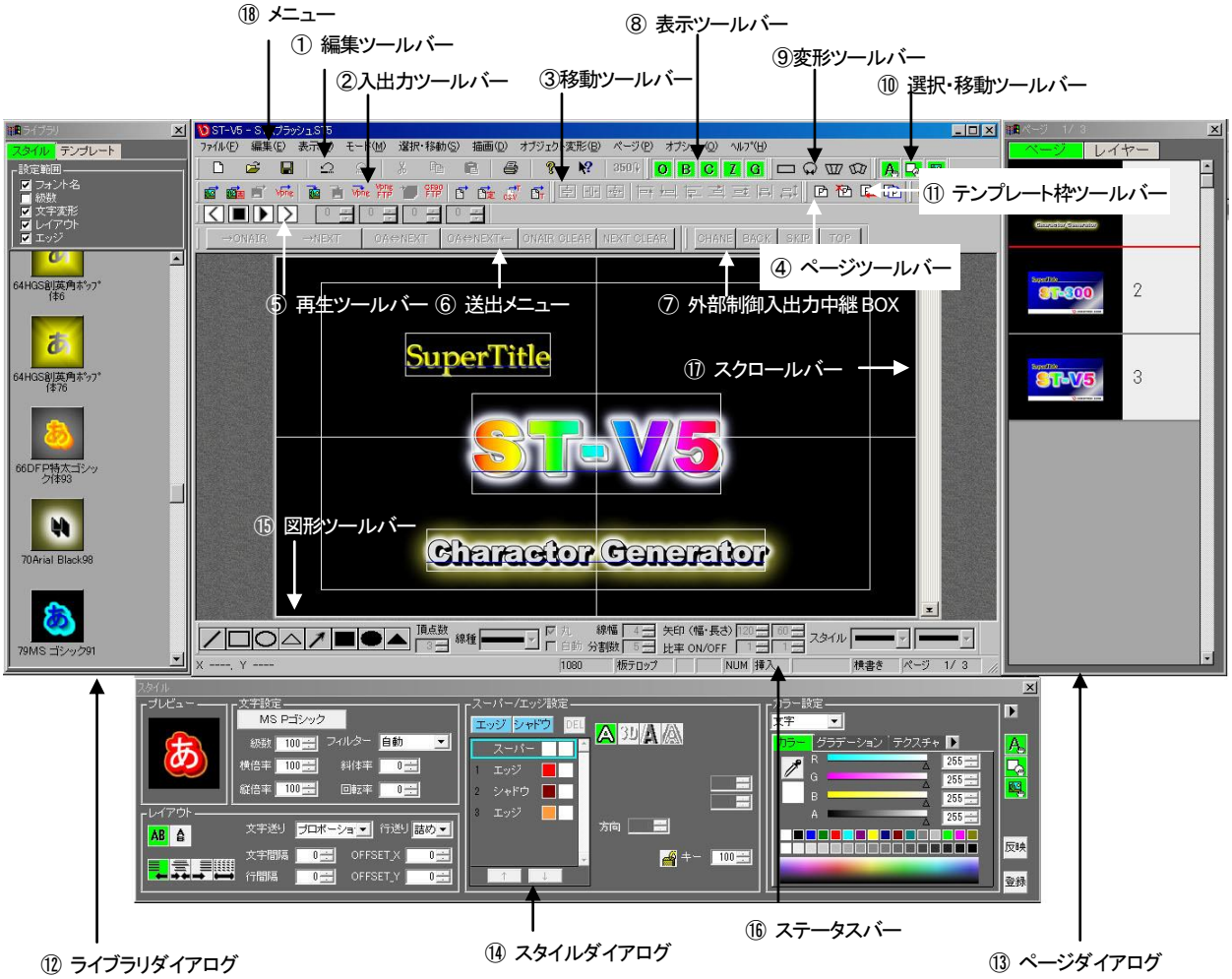


図 2-2-1　メインウインドウ

① 編集ツールバー	編集操作のツールバーです。(詳細はP-7)
② 入出力ツールバー	入出力操作のツールバーです。(詳細はP-9)
③ 移動ツールバー	移動操作のツールバーです。(詳細はP-10)
④ ページツールバー	ページ操作のツールバーです。(詳細はP-11)
⑤ 再生コントロール	ロールテロップのプレビューなどに使用します。(詳細はP-11)
⑥ 送出メニュー	NEXT、ON AIRへ別々のテロップを送出する際に使用します。(詳細はP-12) (オンライン版のみ)

⑦ 外部制御入出力中継BOX	外部制御入出力中継BOXでの送出をする際に使用します。（詳細はP-14） （オンライン版のみ）
⑧ 表示ツールバー	表示/非表示操作のツールバーです。（詳細はP-14）
⑨ 変形ツールバー	オブジェクト変形操作のツールバーです。（詳細はP-15）
⑩ 選択・移動ツールバー	オブジェクト選択や移動の設定をするツールバーです。（詳細はP-15）
⑪ テンプレート枠ツールバー	テンプレート枠の作成をするツールバーです。（詳細はP-15）
⑫ ライブラリダイアログ	フォルダーに登録済みのテンプレートやスタイルを表示します。（詳細はP-16）
⑬ ページダイアログ	ページ、レイヤーを表示します。（詳細はP-21）
⑭ スタイルダイアログ	文字、図形の属性を設定します。（詳細はP-23）
⑮ 図形ツールバー	図形描画の際、図形特有の属性を設定します。（詳細はP-44）
⑯ ステータスバー	現在の編集モードやキーボードの設定、ページを表示します。（詳細はP-45）
⑰ スクロールバー	編集画面のスクロールバーです。（詳細はP-46）
⑱ メニュー	プルダウンメニューです。（詳細はP-49）

3.ダイアログとツールバーのメニュー

1. 編集ツールバー

編集コマンドのツールバーです。

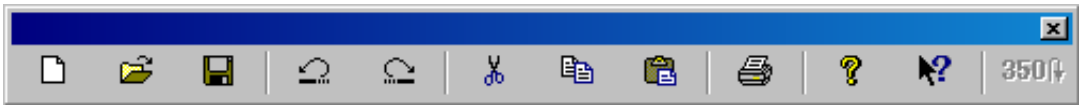


図 3-1-1　編集ツールバー

新規作成　　現在編集しているデータを初期化し、新しいテロップを作成する状態になります。

下図のダイアログが表示され、作成するテロップのフォーマットを指定できます。

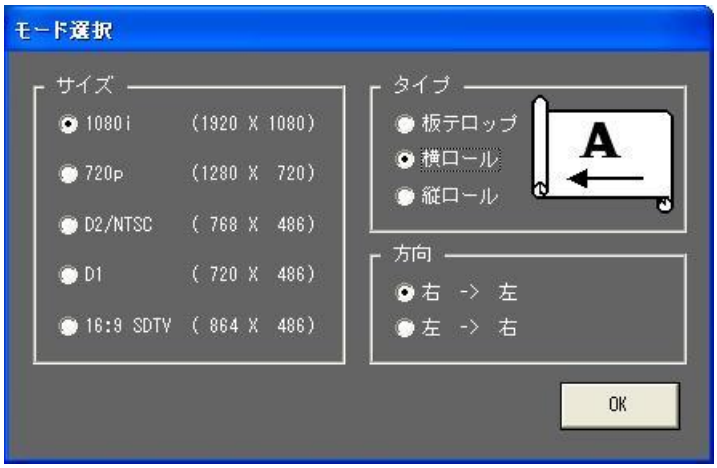


図 3-1-2　モード選択ダイアログ

開く　　保存してあるテロップファイルを開きます。

保存　　現在の編集データを上書き保存します。

元に戻す　　直前に行った操作を元に戻します。

やり直す　　[元に戻す]で取り消した操作を元に戻します。

切り取り　　選択されているデータを、内部バッファーに取り込んでから削除します。

コピー　　選択されているデータを、内部バッファーに取り込みます。

貼り付け　　内部バッファーのデータを貼り付けます。

印刷　　簡易印刷を行います。

バージョン情報　　バージョン情報やユーザー名、システム情報を表示します。

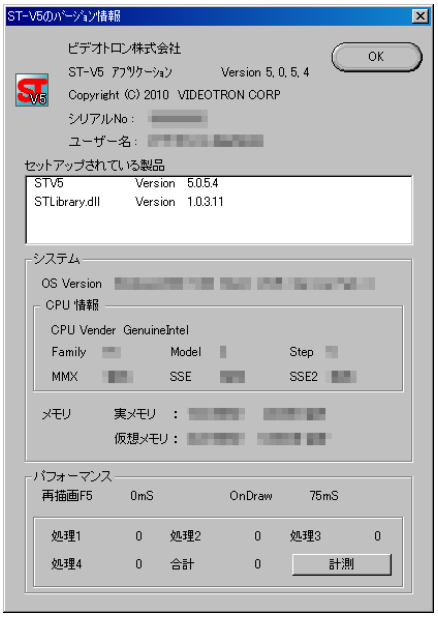


図 3-1-3　バージョン情報

ポップヒント　　ポップヒントを表示します。

ST-350　　送出用ソフトウェア　ST-SV5に戻ります。

単体起動、オフライン版の場合は使用できません。

2. 入出力ツールバー

入出力操作のツールバーです。

図 3-2-1　入出力ツールバー

	イメージファイル入力	汎用イメージファイルを入力します。
	固定イメージファイル入力	固定イメージファイルを入力します。
	テロップファイル入力	テロップファイルを入力します。
	VPngイメージファイル入力	VPngイメージファイルを入力します。
	イメージファイル出力	イメージファイルを出力します。
	テロップファイル出力	テロップファイルを出力します。
	VPngイメージ出力	VPngイメージファイルを出力します。
	VPngイメージFTP転送	VPngイメージファイルをFTP転送します。
	シーケンシャル出力	シーケンシャルファイルを出力します。
	CF-90 FTP転送	CF-90イメージファイルをFTP転送します。
	通常テキスト流し込み	通常テキスト流し込みを行います。
	定型テキスト流し込み	定型テキスト流し込みを行います。
	テンプレート流し込み	テンプレート流し込みを行います。
	一括テンプレート流し込み	CSV一括テンプレート流し込みを行います。

3. 移動ツールバー

移動操作のツールバーです。

図 3-3-1　移動ツールバー

垂直センタリング	編集画面の縦方向にセンタリングします。
水平センタリング	編集画面の横方向にセンタリングします。
中央センタリング	編集画面の縦方向、横方向にセンタリングします。
吸着エリアマーカー上	吸着エリアマーカーの上に吸着します。
吸着エリアマーカー下	吸着エリアマーカーの下に吸着します。
吸着エリアマーカー左	吸着エリアマーカーの左に吸着します。
吸着エリアマーカー右	吸着エリアマーカーの右に吸着します。
吸着エリアマーカー垂直	吸着エリアマーカーの縦方向にセンタリングします。
吸着エリアマーカー水平	吸着エリアマーカーの横方向にセンタリングします。
吸着エリアマーカー中央	吸着エリアマーカーの縦方向、横方向にセンタリングします。

4. ページツールバー

ページ操作のツールバーです。

図 3-4-1　ページツールバー

	新規ページ	新規ページを作成します。
	ページ削除	ページを削除します。
	改ページ	改ページします。
	ページコピー	ページをコピーします。

5. 再生コントロール

ロールテロップのプレビュー再生をします。

図 3-5-1　再生コントロール

停止	プレビューを停止します。
再生	プレビューを再生します。

※その他のボタンはST-V5では使用しません。

6. 送出メニュー

送出を行なう際に、NEXT送出とON AIR送出をコントロールします。(オフライン版は使用できません)

注意！

送出メニューは、オプションメニュー「送出設定」の「送出コントロール」のチェックボックスがOFFの場合のみ操作できます。

図 3-6-1 送出ウインドウ

① →ON AIR・・・・・・・編集画面をON AIRへ送出します。

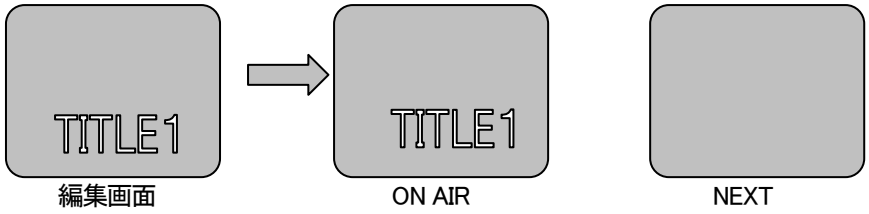


図 3-6-2 ON AIR への送出

② →NEXT ・・・・・・・編集画面をNEXTへ送出します。

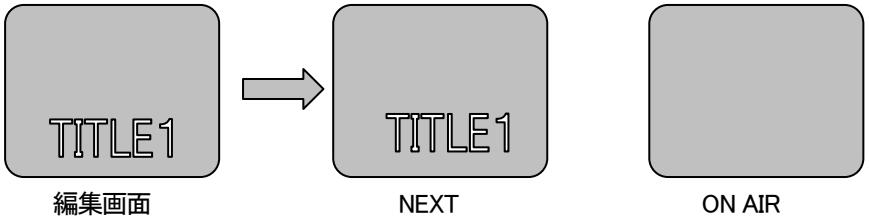


図 3-6-3 NEXT への送出

③ OA⇔NEXT ・・・・・・ON AIR出力とNEXT出力をチェンジします。

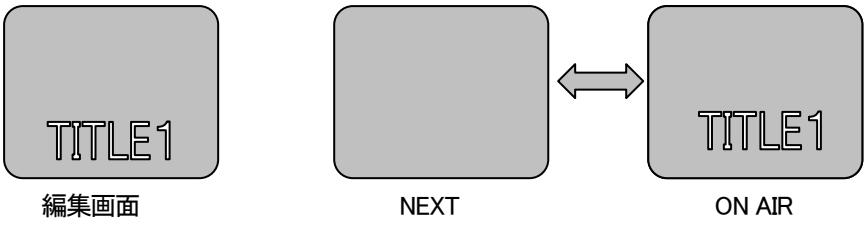


図 3-6-4 NEXT と ON AIR をチェンジ

④ OA⇔NEXT← ・・・・・ON AIR出力とNEXT出力をチェンジ後、編集画面をNEXTへ出力します。

NEXT画面には次のページが読み込まれます。

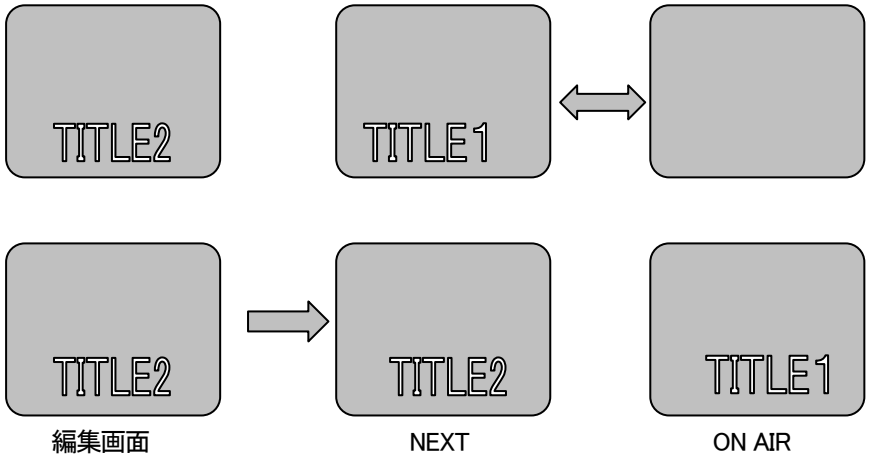


図 3-6-5 NEXT と ON AIR のチェンジと編集画面の NEXT 送出

⑤ ON AIR CLEAR・・・・・ON AIR画面をCLEARします。

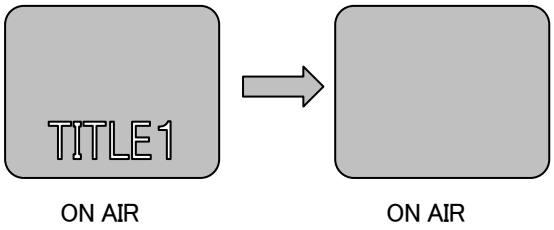


図 3-6-6 ON AIR CLEAR

⑥ NEXT CLEAR ・・・・・NEXT画面をCLEARします。

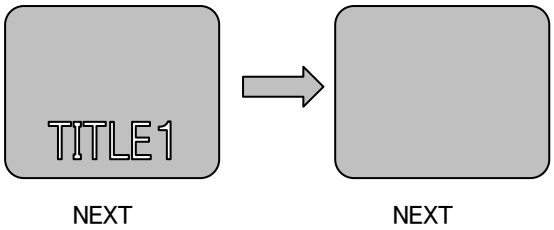


図 3-6-7 NEXT CLEAR

7. 外部制御入出力中継BOXツールバー

外部制御入出力中継BOXを使用した送出を行います。(オフライン版は使用できません)

注意！

外部制御入出力中継BOXツールバーは、オプションメニュー「送出設定」の「外部制御入出力中継BOX」チェックボックスがONの場合のみ操作できます。

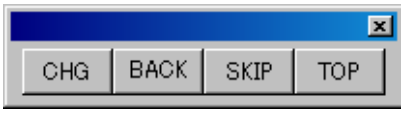


図 3-7-1　外部制御入出力中継 BOX ツールバー

ダイレクトモード

CHG　→　NEXT と ON AIR をチャンジします

BACK　→　ON AIR に前のページを読み込む

SKIP　→　ON AIR に次のページを読み込む

TOP　→　ON AIR に先頭ページを読み込む

プリセット

CHG　→　NEXT と ON AIR,をチェンジ後 NEXT に次ページを読み込む

BACK　→　NEXT に前のページを読み込む

SKIP　→　NEXT に次のページを読み込む

TOP　→　NEXT に先頭ページを読み込む

8. 表示ツールバー

オブジェクト枠、ベースライン、選択枠、拡大縮小ポイント、グループ枠の表示/非表示を設定します。

図 3-8-1　表示ツールバー

O	オブジェクト枠	オブジェクト枠の表示/非表示を切り替えます。
B	ベースライン	ベースラインの表示/非表示を切り替えます。
C	選択枠	選択枠の表示/非表示を切り替えます。
Z	拡大縮小ポイント	拡大縮小ポイントの表示/非表示を切り替えます。
G	グループ枠	グループ枠の表示/非表示を切り替えます。

9. 変形ツールバー

文字オブジェクト変形を設定します。

図 3-9-1　変形ツールバー

変形解除	オブジェクト変形を解除します。
回転	オブジェクトに回転を設定します。
パース	オブジェクトにパースを設定します。
扇	オブジェクトに扇を設定します。

10. 選択・移動ツールバー

文字、図形、イメージの各オブジェクトの選択、移動を可能または不可能にします。重なり合ったオブジェクトの選択や移動の時に使用します。

図 3-10-1　選択・移動ツールバー

文字 選択・移動	入力された文字の選択・移動を設定します。
図形 選択・移動	丸や三角などの図形の選択・移動を設定します。
イメージ 選択・移動	インポートしたイメージの選択・移動を設定します。

11. テンプレート枠ツールバー

テンプレート枠を作成します。

図 3-11-1　テンプレート枠ツールバー

テンプレート枠作成	テンプレート枠を作成するモードです。

12. ライブラリダイアログ

ライブラリダイアログでは、スタイルとテンプレートの二種類のタブがあります。

(1)スタイルタブ

スタイルダイアログの設定内容をスタイルとして登録し、表示します。

タブの画面内は、読込先フォルダーに指定したフォルダー内に保存されているスタイルを表示します。

デフォルトでは、アプリケーションをインストールしたフォルダーの下にある「スタイル」フォルダーが指定されています。

1)スタイルの設定を読み出す

スタイルタブに表示されているリストをダブルクリック、またはEnterキーを押すとスタイルダイアログに設定内容が読み出され、選択されている文字の変更が行えます。「設定範囲」のチェックボタンでスタイルダイアログに反映されるパラメーターの項目を選択することができます。

リストを選択している状態にてEnterキーを入力することで文字の変更を行うことができます。

2)スタイルの表示順序変更

スタイルリストをドラッグ&ドロップして、表示順を入れ替えられます。(複数選択可)

3)ダイアログの操作

リスト上でマウスを右クリックすると、操作可能なメニューが表示されます。

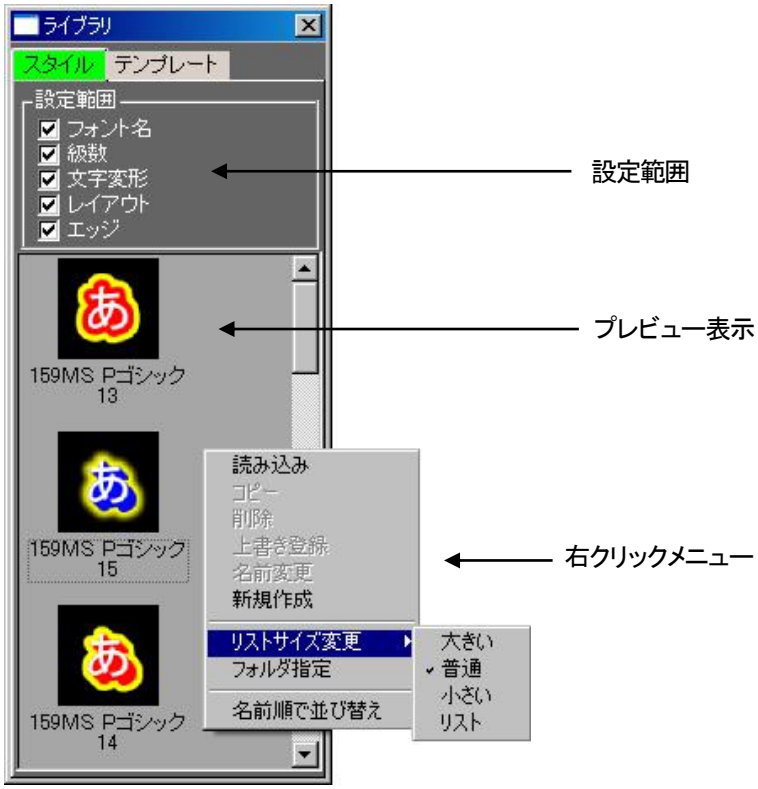


図 3-12-1 ライブラリダイアログと右クリックメニュー

●「読み込み」

別のフォルダーに保存されているスタイルを、現在開いているスタイルフォルダーにコピーします。

①「読み込み」をクリックすると、[ファイルを開く]ダイアログが表示されます。

② スタイルのファイル（VSLファイル）を選択し、[開く]を押します。

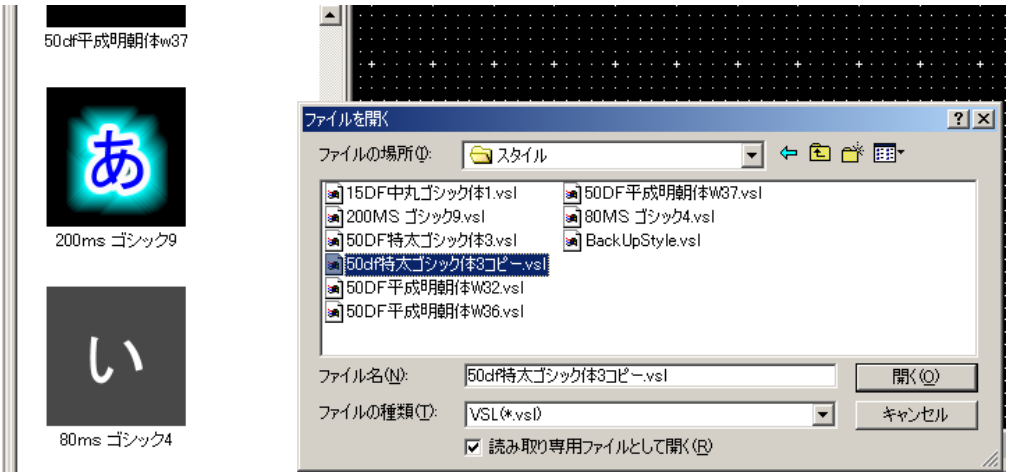


図 3-12-2 ファイルを開く

③ 開いたスタイルのファイルは、現在開いているスタイルフォルダー内にコピーされ、スタイルタブ上に表示されます。

●「コピー」

選択されているスタイルをコピーし、新しい名称をつけて別のスタイルとして登録します。

作成されたスタイルは、コピー元とまったく同じ設定内容になります。

図 3-12-3 新規名称入力ダイアログ

●「削除」

選択されているスタイルを削除します。

●「上書き登録」

選択されているスタイルに、現在のスタイルダイアログの設定内容を上書き登録します。

●「名前変更」

選択されているスタイルの名前を変更します。（図 4-10-3 のダイアログが表示されます）

●「新規作成」

現在のスタイルダイアログの設定内容でスタイルを新規作成します。

（図 3-12-3 のダイアログが表示されます）

●「リストサイズ変更」

リストの表示サイズを変更します。

●「フォルダー指定」

読み出すフォルダーを指定します。フォルダーを指定すると、スタイルタブ上には指定したフォルダー内に保存されているスタイルがすべて表示されます。

① 「フォルダー指定」をクリックすると、フォルダーの参照ダイアログが表示されます。

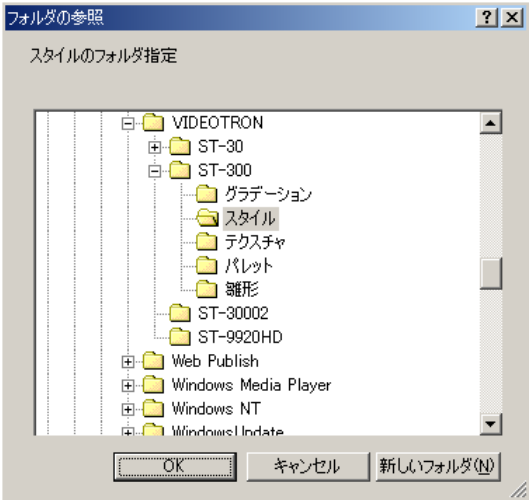


図 3-12-4 フォルダーの参照

② ファイルの場所を選択し、OKをクリックします。

③ 指定したフォルダー内にあるスタイルのファイルがスタイルタブ上に表示されます。

●「名前順で並び替え」

スタイルタブに登録されているスタイルを、名前の順に並び替えます。

(2)テンプレートタブ

現在表示している画枠を、テンプレートとして登録し、表示します。

タブの画面内は、読込先フォルダーに指定したフォルダー内に保存されているテンプレートを表示します。デフォルトでは、アプリケーションをインストールしたフォルダーの下にある「テンプレート」フォルダーが指定されています。

1)テンプレートの呼び出し

テンプレートタブに表示されているリストをダブルクリックダブルクリック、または Enter キーを押します。

現在表示しているページへテンプレートが呼び出されます。

2)右クリックメニュー

リスト上でマウスを右クリックすると、操作可能なメニューが表示されます。

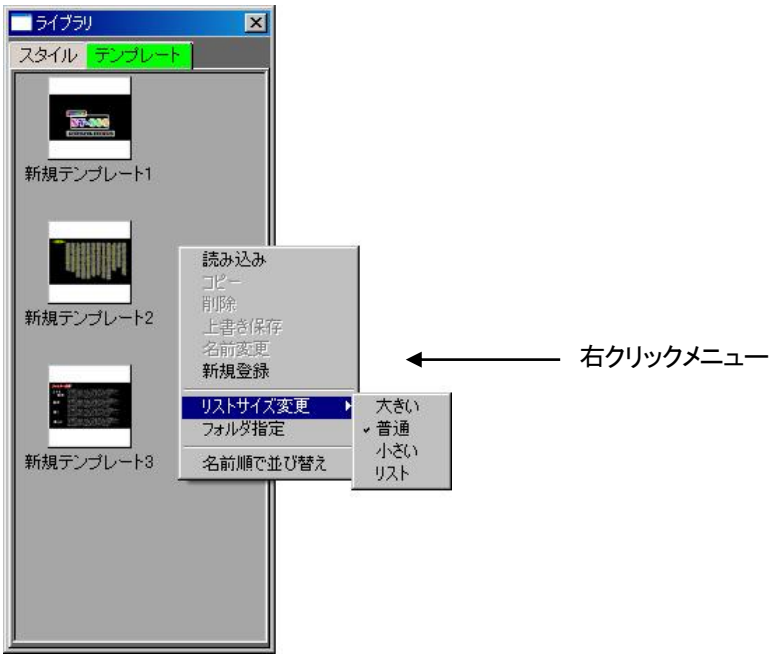


図3-12-5 ライブラリダイアログと右クリックメニュー

●「読み込み」

別のフォルダーに保存されているテンプレートを、現在開いているテンプレートフォルダーにコピーします。

① 「読み込み」をクリックすると、[ファイルを開く]ダイアログが表示されす。

② テンプレートのファイル(VHLファイル)を選択し、[開く]を押します。

③ 開いたテンプレートのファイルは、現在開いているテンプレートフォルダー内にコピーされ、テンプレートタブ上に表示されます。

●「コピー」

選択されているテンプレートをコピーし、新しい名称をつけて別のテンプレートとして登録します。作成されたテンプレートは、コピー元とまったく同じ設定内容になります。

図 3-12-6　新規名称入力ダイアログ

●「削除」

選択されているテンプレートを削除します。

●「上書き保存」

選択されているテンプレートに、現在表示中のページを上書き登録します。

●「名前変更」

選択されているテンプレートの名前を変更します。（図 3-12-7のダイアログが表示されます）

●「新規登録」

編集画面に表示されているページをテンプレートとして新規登録します。

●「リストサイズ変更」

リストの表示サイズを変更します。

●「フォルダー指定」

読み出すフォルダーを指定します。フォルダーを指定すると、テンプレートタブ上には、指定したフォルダー内に保存されているテンプレートが全て表示されます。

①「フォルダー指定」をクリックすると、フォルダーの参照ダイアログが表示されます。

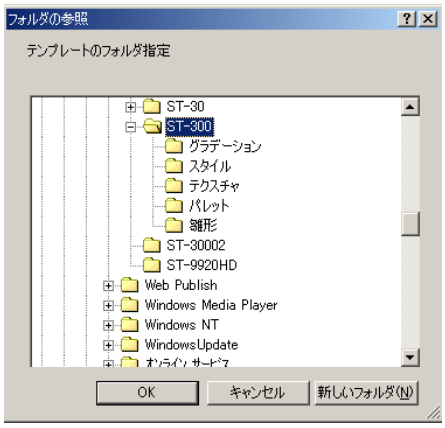


図 3-12-7　フォルダーの参照

② ファイルの場所を選択し、OKをクリックします。

③ 指定したフォルダー内にあるテンプレートのファイルがテンプレートタブ上に表示されます。

●「名前順で並び替え」

スタイルタブに登録されているスタイルを、名前の順に並び替えます。

13. ページダイアログ

ページダイアログでは、ページとレイヤーの二種類のタブがあります。

(1)ページタブ

1)ページについて

登録したページをプレビューで表示します。

プレビューをダブルクリックし選択すると、登録されているページ内容が編集画面に反映されます。

リスト上でマウスを右クリックすると下図のようにメニューが表示されます。

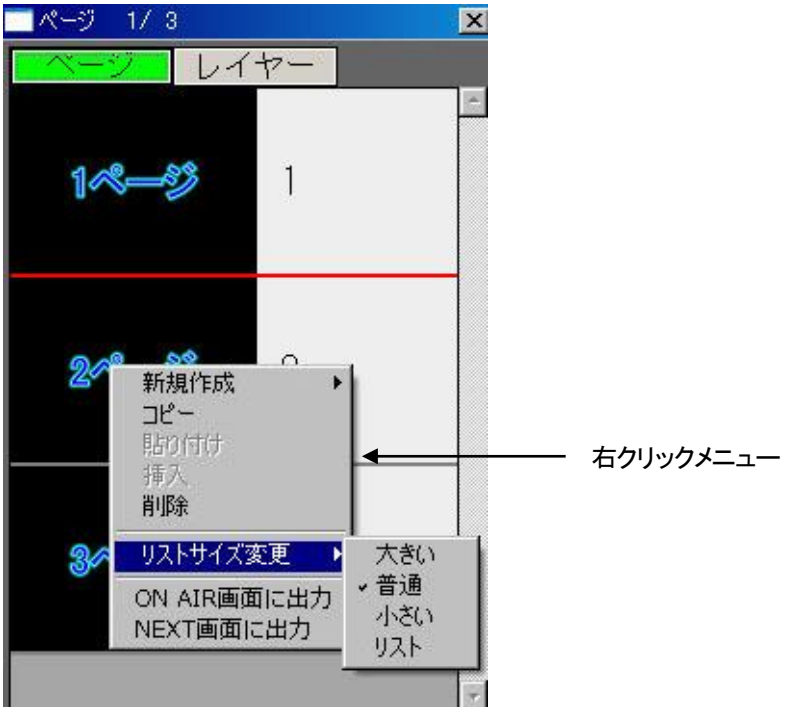


図 3-13-1 ページダイアログと右クリックメニュー

右クリックで表示された操作メニューは下記のようになっています。

●「新規作成」・・・・・・・・・・・ 新規ページを作成します。追加する場所を選んでください。

●「コピー」・・・・・・・・・・・・・ 選択されているページをコピーします。

●「貼り付け」・・・・・・・・・・・ コピーされているページを選択しているページに貼り付けます。

●「挿入」・・・・・・・・・・・・・・・コピーされているページを挿入します。

●「削除」・・・・・・・・・・・・・・・選択されているページを削除します。

●「リストサイズ変更」・・・・ リストの表示サイズを変更します。

●「ON AIR画面に出力」・・・ このページをON AIR画面に出力します。

●「NEXT画面に出力」・・・・ このページをNEXT画面に出力します。

2)ページの順序変更

板テロップの編集時のみリストをドラッグ＆ドロップして、順番を入れ替えられます。

(2)レイヤータブ

1)レイヤーについて

① 画面上にオブジェクトが描きこまれると、その都度レイヤーが生成されます。

② 文字や図形を描きこむごとに前にレイヤーが重ねられます。

2)レイヤータブの表示

図 3-13-2 レイヤータブ右クリックメニュー

右クリックで表示されたメニューは下記のようになっています。

●「コピー」・・・・・・・・・・ レイヤーをコピーします。

●「挿入」・・・・・・・・・・・ コピーされているレイヤーを選択先に挿入します。

●「削除」・・・・・・・・・・・ レイヤーを削除します。

●「名前変更」・・・・・・・ レイヤーの名前を変更します。

●「表示」・・・・・・・・・・・ レイヤーの表示、非表示を切り替えます。

●「選択」・・・・・・・・・・・ レイヤーを選択状態にします。

●「センタリング」・・・・・ レイヤーを垂直、水平、中央でセンタリングします。

・吸着エリアマーカーが表示されていない場合レイヤーを編集画面にセンタリングします。

・吸着エリアマーカーが表示されている場合レイヤーを吸着エリアマーカーにセンタリングします。

●「オブジェクト変形」 レイヤーにオブジェクト変形を設定します。

● 「リストサイズ変更」 リストのサイズを変更します。

3)レイヤーの順序変更

リストをドラッグ &ドロップして、順番を入れ替えられます。

順番を入れ替えることにより、編集画面上の表示の重なり順を入れ替えられます。

※レイヤーの詳細は「P-113 (3)レイヤーの調整」をご参照ください

注意！ 連結オブジェクトのデータは表示の重なり順を入れ替えることができません。

14. スタイルダイアログ

入力を行う文字のフォント、級数、エッジ、カラーなどのスタイルを設定します。

また、図形を入力する際のカラー、キーレベル、エッジもスタイルダイアログで設定します。

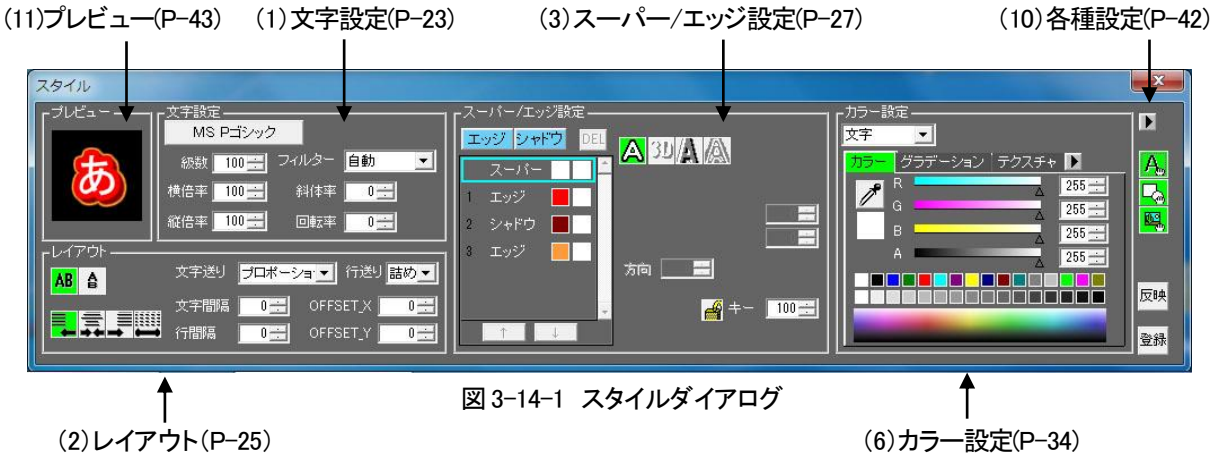


図 3-14-1　スタイルダイアログ

(1)文字設定

フォントと級数の設定を行います。

図 3-14-2　文字設定

1)フォントの設定

① 現在設定されているフォント名が表示されています。(図 3-14-2 参照)

② フォントが表示されている部分 MS Pゴシック をクリックするとインストールされている TrueTypeフォント一覧が表示されます。(図 3-14-3 参照)

図 3-14-3　フォント一覧ダイアログ

③ フォントリストをダブルクリック、または Enterキーを押すと、選択されたフォントが設定されます。

・右クリックメニュー

フォントリスト上でマウスを右クリックすると次のようなメニューが表示されます。

●「リストサイズ変更」 ・・・ リストの表示サイズを変更します。

※カスタマイズのフォント設定で非表示に設定されているフォントは一覧には表示されません

2）級数(ポイント)の設定

文字の大きさを級数またはポイントで設定します。

設定方法の切り替えはカスタマイズの環境設定から行います。

で文字の大きさを級数で設定します。(7～500級)

で文字の大きさを級数で設定します。(10～800ポイント)

3）フィルター設定

で文字のアンチエイリアッシング処理の調整を行うフィルター設定を行います。文字の骨格を際立てたり、小さな文字の時にフリッカーを軽減させたりする設定を文字ごとに任意に行うことができます。

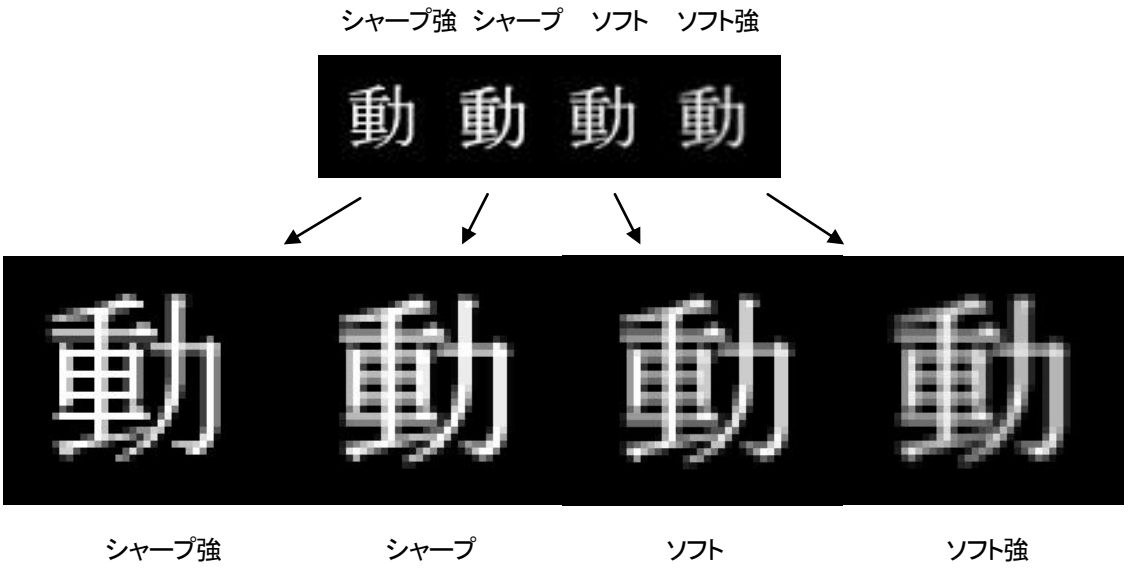
自動　・・・　文字の級数に応じて適切なフィルターを自動で設定します。

シャープ強　・・・　文字の骨格を「シャープ」より更に強いシャープで表示します。(旧 ST-330 互換)
明朝体などの細い文字でも文字の形を崩さずに鮮明に表示します。線が細く表示されるのとアンチエイリアッシングが弱くなるのでジャギーが目立ったり、インターレスでの映像出力時にフリッカーしやすくなります。

シャープ　・・・　文字の骨格を「シャープ」に表示します。
明朝体などの細い文字でもジャギーを軽減させながら鮮明に表示します。「シャープ強」より強いアンチエイリアッシングがされます。

ソフト　・・・　文字の骨格を「ソフト」に表示します。
アンチエイリアッシングが強くなりジャギーの軽減や背景と文字が馴染みやすくなります。

ソフト強　・・・　文字の骨格を「ソフト」よりさらに強いソフトで表示します。
文字のアンチエイリアッシングが「ソフト」より更に強くなり背景と文字が馴染みやすくなります。細い文字のジャギーやフリッカー現象を軽減することができる反面、明朝体などの細い文字の骨格が太くなりやすくなります。



4)文字変形の設定

横倍率 100 で横倍率をを設定します。(1 ～ 1000%)

縦倍率 100 で縦倍率をを設定します。(1 ～ 1000%)

斜体率 0 で斜体率を設定します。(-100 ～ 100%)

回転率 0 で回転率を設定します。(-360 ～ 360°)

(2)レイアウトの設定

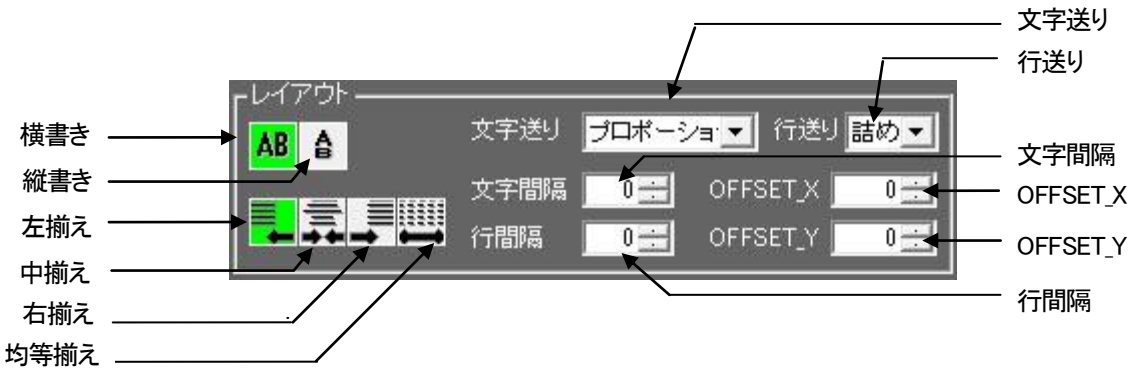


図 3-14-4 レイアウト

文字送り プロポーショナル で文字ごとの送りの設定を行います。

プロポーショナル、詰め送り、箱送りの設定が行えます。

プロポーショナル ・・・・・ フォントが持っている文字の幅情報を元に文字を送ります。プロポーショナルフォントの場合は文字により送り幅が変化します。等幅フォントの場合は固定幅で文字が送られます。

詰め ・・・・・ 文字のバウンディングボックス(外形)に合わせ文字を送っていきます。文字ごとの大きさにより変化します。

箱 ・・・・・ 文字のサイズ(級数)に合わせ文字を送っていきます。文字ごとの送り幅は固定で等幅になります。

行送り 詰め で行ごとの送りを設定します。詰め送り、箱送りの設定ができます。

詰め ・・・・・ 指定されている行も文字の縦/横倍率をを考慮して行を送っていきます。行に設定されている倍率により変化します。横書き時は縦倍率、縦書き時は横倍率が影響します。

箱 ・・・・・ 文字のサイズ(級数)に合わせ行を送っていきます。行ごとの送り幅は固定で等幅になります。

AB 横書き ・・・・・文字入力を横書きに設定します。

縦書き ・・・・・文字入力を縦書きに設定します。

左揃え ・・・・・マウスで指定した位置から左揃えで文字を揃えます。

中揃え ・・・・・マウスで指定した位置を中心に文字を揃えます。

右揃え ・・・・・マウスで指定した位置から右揃えで文字を揃えます。

均等揃え ・・・入力時は左揃えと同じ様に文字が揃えられます。

「文字間隔」・・・・・・文字間隔をドット単位で設定します。(-99～300ドット)

「行間隔」・・・・・・・・行間隔をドット単位で指定します。(-99～500ドット)

「OFFSET_X」・・・・・文字のオフセット横方向の値を設定します。(-1920～1920)

「OFFSET_Y」・・・・・文字のオフセット縦方向の値を設定します。(-1080～1080)

※文字オフセットの詳細は「P-105　(3)文字オフセットの変更」をご参照ください。

(3)スーパー/エッジ設定

オブジェクト(文字、図形、イメージなど)のスーパー、エッジの状態を表示し、設定を行います。オブジェクトは1つのスーパーとスーパーを装飾する為の複数のエッジから構成されます。スーパーに対しエッジの追加(ADD)や削除(DEL)をおこないスーパーの装飾を行います。

スーパーおよびエッジには個別にカラーやアルファ値の設定やスーパーおよびエッジそれぞれのパラメーターを設定できます。

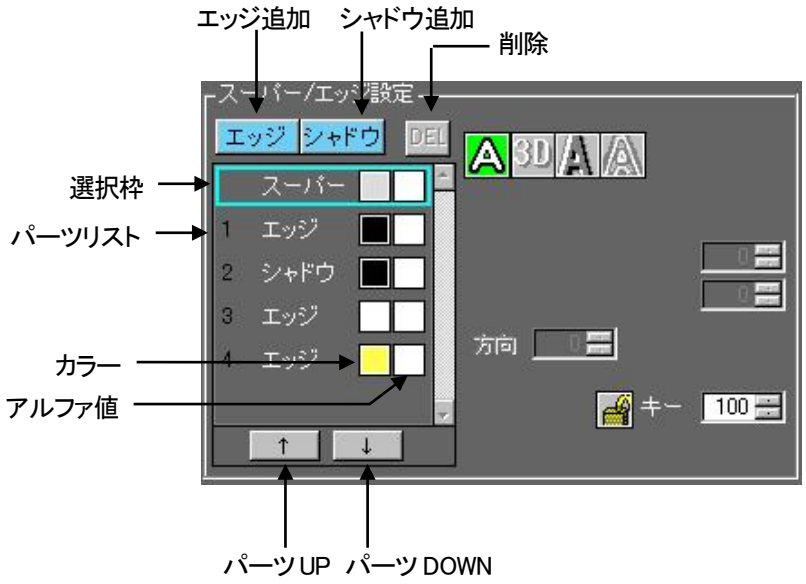


図 3-14-5 スーパー/エッジ設定

「パーツリスト」 ・・・オブジェクトのスーパー、エッジの構成をリストで表示します。また、スーパーと各エッジのカラーおよびアルファ値を確認できます。スーパーまたはエッジをマウスで選択することでカラー、パラメーターの切り替えができます。

エッジ、シャドウボタンから「エッジ」、「シャドウ」を追加することができます。

「カラー」 ・・・設定されているカラー(単色、グラデーション、テクスチャ)を表示します。

単色が設定されている場合は、ダブルクリックで Windows標準のカラーピッカーが表示され単色の色が設定できます。また、グラデーション、テクスチャが設定されている場合は、右クリックでグラデーションリストまたはテクスチャリストに名称を付けて保存することができます。

図 3-14-6 グラデーションリストに登録

「アルファ値」 ・・・設定されているアルファ値をグレースケールで表示します。

ダブルクリックでアルファ値設定ダイアログが表示され、アルファ値が設定できます。

「エッジ追加」 ・・・エッジボタンをクリックすると「エッジ」をパーツリストの選択枠の下に追加します。

「シャドウ追加」 ・・・シャドウボタンをクリックすると「シャドウ」をパーツリストの選択枠の下に追加します。

「パーツ削除」　・・・DELボタンをクリックすると現在選択されている「エッジ」「シャドウ」の削除を行います。スーパーを削除することはできません。

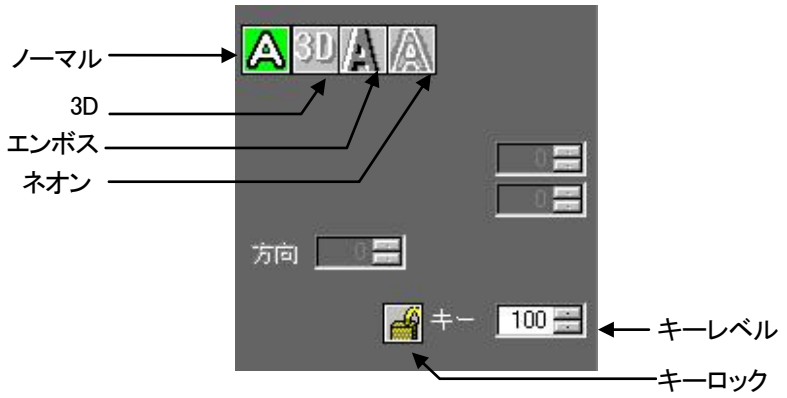
「パーツUP」　・・・↑ボタンをクリックすると現在選択している「エッジ」「シャドウ」の表示順を上げます。スーパーの表示順を変更することはできません。

「パーツDOWN」　・・・↓ボタンをクリックすると現在選択されている「エッジ」「シャドウ」の表示順を下げます。スーパーの表示中を変更することはできません。

1）スーパーパラメータ

パーツリストのスーパーを選択することで、オブジェクトのスーパーのパラメーターを設定できます。

スーパーの形状には「ノーマル」、「3D」、「エンボス」、「ネオン」を設定できます



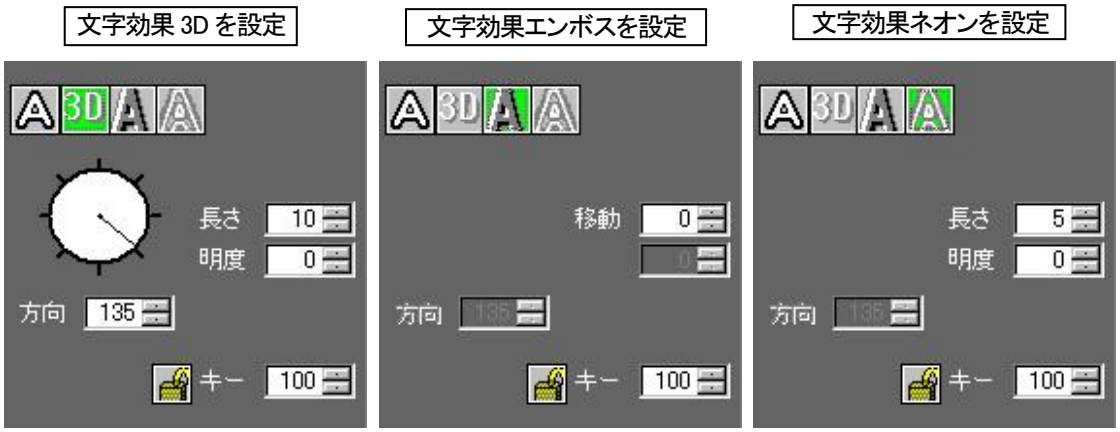


図3-14-7　スーパーと文字効果別の表示方法

① A ノーマル

装飾がされていない通常の状態のスーパーを表示します。

パラメーターはありません。

② 3D

3D効果をつけます。厚みのついたスーパーを表示します。

方向　・・・厚みの方向を0～360°で設定します。

長さ　・・・厚みの長さを0～100で設定します。

明度　・・・厚みの側面の明度を-100～100で設定します。

③ エンボス

スーパーの内側に対してエンボス効果をつけます。

移動量・・・影の移動量を0～10の値で設定します。

④ ネオン

ネオン効果をつけます。スーパーの縁をネオンが光った感じで表示します。

長さ　・・・ネオンの光の幅を0～30で設定します。

明度　・・・ネオンの中心部の明度を-4～10の値で設定します。

⑤

「キー」・・・・スーパーインポーズ時に背景と合成するためのキー値を 0～100%で設定します。0%に近い値の時は透明になり、100%に近い値のときは不透明になります。

⑥ ロック　・・・マウスクリックでロックのオン/オフの設定が行えます。ロックがオンの時にスーパーと各エッジのキーレベルを同時に変更できます。

2)エッジパラメーター

パーツリストに追加された各エッジを選択することで、オブジェクトのエッジのパラメーターを設定できます。

エッジにはノーマルエッジ、シャドウがあります。

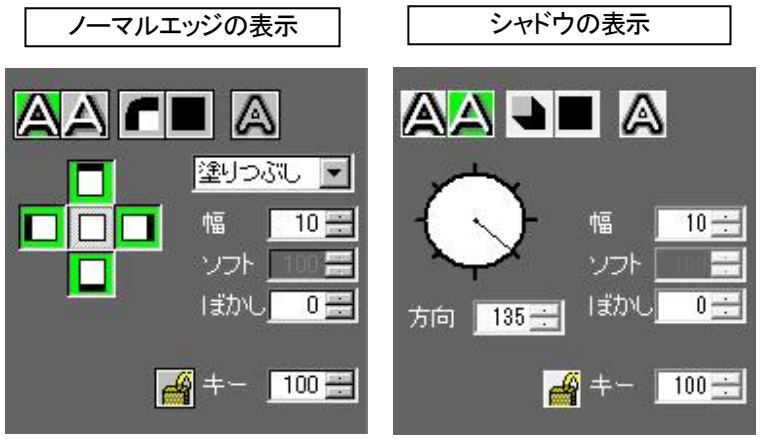


図 3-14-8　エッジタイプ別の表示方法

①エッジ

前段(スーパーまたはエッジ)の淵の周りにエッジを付けます。エッジの幅や丸エッジ/角エッジ、ソフト、ぼかしなどの効果を設定できます。

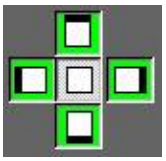
ノーマルエッジ　　・・・ノーマルエッジに設定します。

シャドウ　　・・・シャドウに設定します。

アウトライン　　・・・現在のエッジの内側をキーレベルに関係なく透明(キーレベル0%)にします。

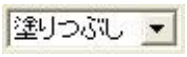
/ 丸/角エッジ　　・・・エッジの形状を変化させます。丸エッジの場合はエッジの角が丸くなり、角エッジの場合にはエッジの角が角ばります。

/ ハード/ソフトエッジ　　・・・エッジの塗り方を変化させます。ハードの場合はエッジ全体が塗りつぶされ、ソフトの場合にはエッジの内側から外にかけて「ソフト」で設定された値で透過するレベルが変化します。

 エッジの方向　　・・・エッジをつける方向を上下左右で設定します。複数選択して組み合わせて設定できます。中央のボタンで全方向のオン/オフの設定ができます。

エッジタイプが境界の時は方向の設定はできません。

エッジタイプ　　・・・エッジのタイプの設定ができます。



塗りつぶし　　・・・外方向に縁取りされ、内側は塗りつぶされます。
境界　　・・・内と外方向に縁取りされます。
外　　・・・外方向に縁取りされます。
内　　・・・内方向に縁取りされます。

塗り潰し　　境界　　外　　内

図3-14-9　エッジ塗りつぶし

幅　　・・・ エッジ幅を0～100ドット単位で設定します。

ソフト　　・・・ ソフトエッジが設定されている時のエッジの内側から外側にかけての透過レベルを0～100%で設定します。0%に近い値の時は不透明になり、100%に近い値のときは透明になります。

ぼかし　　・・・ 輪郭や色の境目を0～100%の値でぼかします。100%でぼけ具合が大きく不鮮明になります。

キー　　・・・ 背景と合成するためのキー値を 0～100%で設定します。0%に近い値の時は透明になり、100%に近い値のときは不透明になります。

ロック　　・・・ マウスクリックでロックのオン/オフの設定が行えます。ロックがオンの時にスーパーと各エッジのキーレベルを同時に変更できます。

②シャドウ

前段(スーパーまたはエッジ)に影を付けたエッジを表示します。シャドウの幅や角度、ディープシャドウ/ドロップシャドウ、ソフト、ぼかしなどの効果を設定できます。

ノーマルエッジ ・・・ ノーマルエッジに設定します。

シャドウ ・・・ シャドウに設定します。

アウトライン ・・・ 現在のエッジの内側をキーレベルに関係なく透明(キーレベル0%)にします。

/ ディープ/ドロップシャドウ ・・・エッジの形状を変化させます。ディープシャドウの場合は元イメージとシャドウの間が塗りつぶされ、ドロップシャドウの場合には元イメージとシャドウの間が塗りつぶされません。

/ ハード/ソフトエッジ ・・・ エッジの塗り方を変化させます。ハードの場合はエッジ全体が塗りつぶされ、ソフトの場合にはエッジの内側から外にかけて「ソフト」で設定された値で透過するレベルが変化します。(ドロップシャドウの場合はハードのみで設定を変更することはできません)

方向 ・・・ シャドウの伸びる方向を0～360° で設定します。円の周りをマウスでドラッグすることで方向を変化させることができます。

幅 ・・・ エッジ幅(距離)を0～100ドット単位で設定します。

ソフト ・・・ ソフトエッジが設定されている時のエッジの内側から外側にかけての透過レベルを0～100%で設定します。0%に近い値の時は不透明になり、100%に近い値のときは透明になります。(ドロップシャドウの場合はハードのみで設定を変更することはできません)

ぼかし ・・・ 輪郭や色の境目を0～100%の値でぼかします。100%でぼけ具合が大きく不鮮明になります。

キー ・・・ 背景と合成するためのキー値を 0～100%で設定します。0%に近い値の時は透明になり、100%に近い値のときは不透明になります。

ロック ・・・ マウスクリックでロックのオン/オフの設定が行えます。ロックがオンの時にスーパーと各エッジのキーレベルを同時に変更できます。

(4)ぼかし効果

ぼかし効果はエッジ、シャドウに付加することができ、周囲の画素値に基づいて画像をぼかし(平滑化)ます。ソフトエッジとは異なり画像そのものをぼかします。パラメーターのぼかしの値を大きくすると、ぼかしの範囲が大きくなり次の段より外側にぼかしの効果がつきます。エッジの形状、幅によって、ぼかしをつけた時の効果が変化します。

ぼかし効果は次の段のエッジ、シャドウの形状には影響を与えません。

エッジ1	幅	10	幅	10	幅	10
	ぼかし	0	ぼかし	10	ぼかし	30

図 3-14-10 ぼかし効果

(5)アルファ値とキーレベルの違い

スーパーとエッジの合成にはアルファ値とキーレベルの設定を行います。

アルファ値はカラー設定で、キー値はスーパー/エッジ設定で設定を行ないます。

※設定方法については「P-27 (3)スーパー/エッジ設定」、「P-35 (7)カラー」 をご参照ください。

・アルファ値　　カラーの色を合成する時のアルファ値を 0～255 の値で調整します。下に位置し重なり合っている全てのエッジのカラーに影響を与えますがキーレベルには影響を与えません。(最終段のエッジではキーレベルに影響を与えます。)

・

キーレベル　　スーパーインポーズ時に背景を透過させる為のキーのレベルを0～100%の値で調整します。下に位置し重なり合っている全てのエッジキーの合成レベルに影響を与えますがカラーには影響を与えません。

エッジ1	アルファ値	255	アルファ値	255	アルファ値	128
	キーレベル	100	キーレベル	50	キーレベル	100

図 3-14-11 アルファ値とキーレベル

(6)カラー設定

スーパーおよびエッジにカラー、グラデーション、テクスチャを設定します。

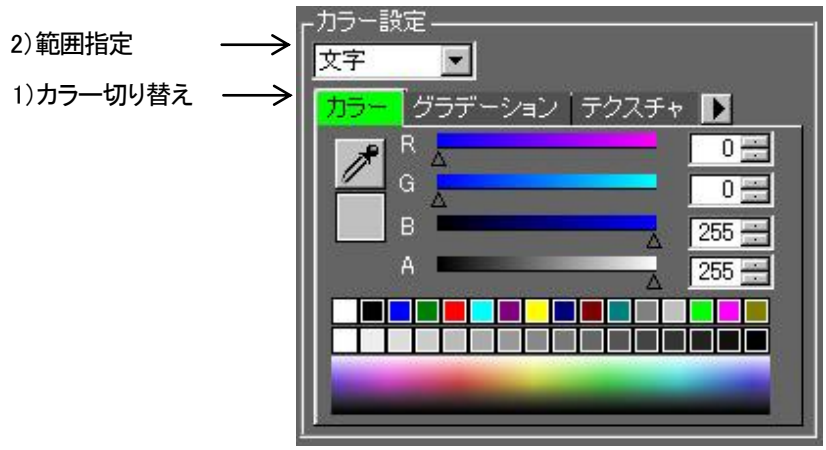


図 3-14-12　カラー設定

1)カラー切り替え

カラー、グラデーション、テクスチャのタブをクリックして各設定を切り替えます。

カラー	・・・	設定の詳細は「3. 13. (7) カラー」をご参照ください。
グラデーション	・・・	設定の詳細は「3. 13. (8) グラデーション」をご参照ください。
テクスチャ	・・・	設定の詳細は「3. 13. (9) テクスチャ」をご参照ください。

2)範囲指定

グラデーションやテクスチャの着色範囲を設定します。

表示部分 のボタン をクリックすると、以下のようなメニューが表示されます。

図 3-14-13　指定範囲メニュー

「文字」・・・・・・・・・・・・文字単位でグラデーションやテクスチャを設定します。(下図上段)

「オブジェクト」・・・・・・オブジェクト単位でグラデーションやテクスチャを設定します。(下図下段)

図3-14-14　文字とオブジェクト

(7)カラー

スーパーおよびエッジにカラー(単色)を設定します。

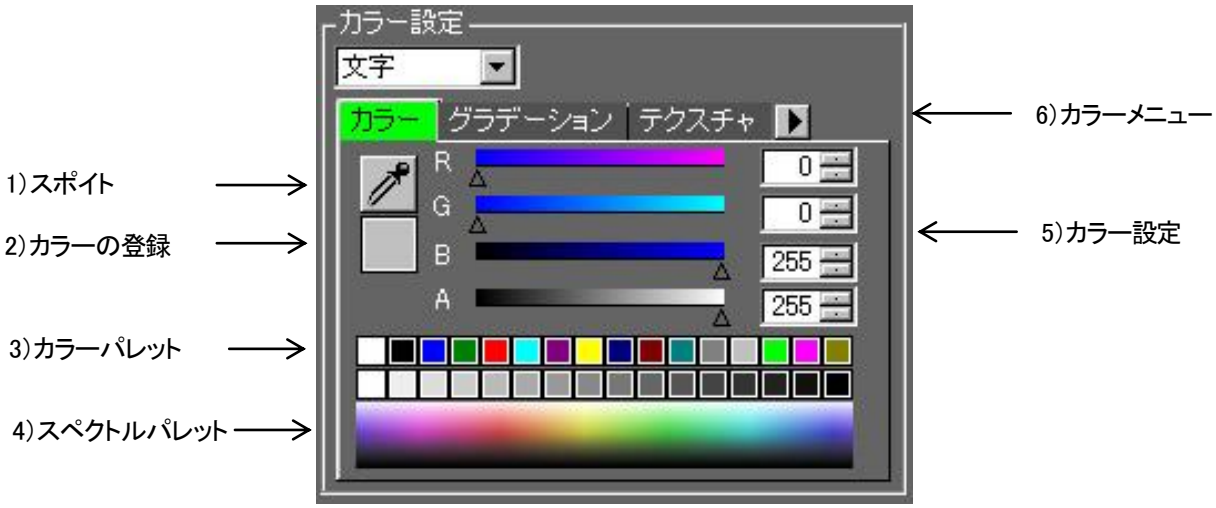


図 3-14-15 カラー設定

1) スポイト

テロップウインドウ上の色を取得します。

スポイトをクリックするとマウスカーソルがスポイトの形状に変化します。マウスを左クリックしながらテロップ画面上をスライドさせると、マウスカーソル上の色を取得できます。抽出した色は「カラー登録」へ表示されます。また、このとき編集画面上のオブジェクトが選択状態だった場合

①パーツリストで選択されているスーパーまたはエッジのカラーに、抽出した色が設定されます。

②抽出された色が選択されたオブジェクトの色へ反映されます。

2) カラー登録

スポイト、またはスペクトルパレット、カラーピッカーで取得した色を表示します。

[カラー登録]ボタンをダブルクリックすると、Windows標準のカラーピッカーを表示します。

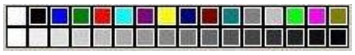
カラーピッカーで設定された色は、[カラー登録]に表示されます。

また、この時編集画面上のオブジェクトが選択状態だった場合

①パーツリストで選択されているスーパーまたはエッジのカラーに、抽出した色が設定されます。

②抽出された色が選択されたオブジェクトへ反映されます。

カラーパレットにカラーを登録する際、「カラー登録」に表示されている色を登録します。

3)  カラーパレット

パーツリストで選択されているスーパーまたはエッジのカラーの色を設定します。

①スーパー、エッジへの色の設定

パーツリストから色を変更するスーパーまたはエッジを選択し、カラーパレット上の色ボタンをクリックします。

②カラーパレットへの色の登録

「カラー登録」に追加したい色を表示させてから、カラーパレット上の変えたい色をダブルクリックします。

ダブルクリックした部分のカラーパレットに「 カラー登録」に設定されていた色が登録されます。

4) スペクトルパレット

クリックして任意の色を抽出します。抽出した色は「カラー登録」へ表示されます。

5) カラー設定

設定色をRGBまたはHLSを数値で設定します。(RGB は0～255、HLSのHは0～359、L/Sは0～100)

Aでアルファ値を0～255の数値で設定します。

6) カラーメニュー

カラーメニューボタンをクリックするとカラーに関するメニューが表示されカラー設定の変更やファイル操作ができます。

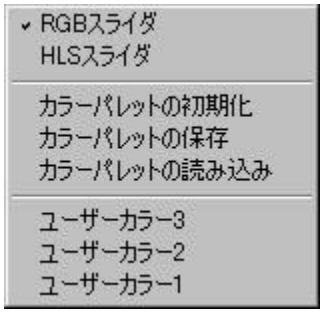


図 3-14-16 カラーメニュー

①RGBスライダ	カラー設定を行う色の指定をRGB形式で指定します。
②HLSスライダ	カラー設定を行う色の指定をHLS形式で指定します。
③カラーパレットの初期化	設定されているカラーパレットを出荷時の状態に初期化します。
④カラーパレットの保存	現在のカラーパレットの設定を、ファイル名を付けて任意の場所にファイル(.vcr)に保存します。
⑤カラーパレットの読み込み	カラーパレットのファイル(.vcr)を読み込み現在のカラーパレットに反映します。
⑥ユーザーカラー1・2・・・	最近使用したカラーパレットのファイルを最大10個まで表示します。(メニューの名称は、開いたファイルにより異なります。)カラーパレットの読み込みや、保存でメニューに使用したファイル名称が保存されます。登録が10個を超えると古いものから削除されていきます。

(8)グラデーション

スーパーおよびエッジにグラデーションを設定します。

図 3-14-17 グラデーション設定

1) グラデーション

設定されているグラデーションを表示します。

グラデーションをクリックするとパーツリストで選択されているスーパーまたはエッジのカラーにグラデーションカラーを反映させます。また、このとき編集画面上のオブジェクトが選択状態だった場合、選択したグラデーションがオブジェクトに設定されます。

2) 角度

グラデーションの角度を0から360の値で指定します。編集画面上のオブジェクトが選択状態だった場合、選択した角度がオブジェクトに設定されます。

3) 編集

現在、設定されているグラデーションの編集を行います。

※グラデーション編集の詳細については「5. 6. (2)グラデーション」をご参照ください。

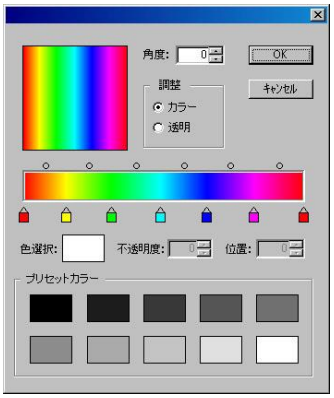


図3-14-18 グラデーション編集

4) リスト リスト

［カスタマイズ］-［ファイル保存］の「カラーのグラデーションデータの保存場所」で指定されたフォルダー内に保存されているグラデーションを一覧表示します。

デフォルトでは、アプリケーションをインストールしたフォルダーの下にある「グラデーション」フォルダーが指定されています。

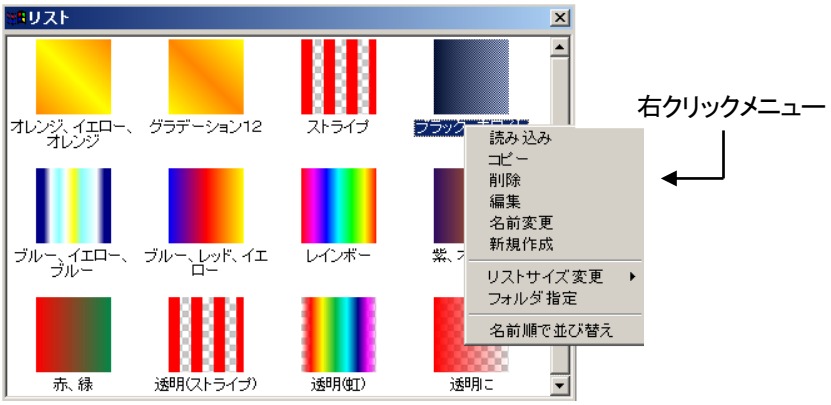


図 3-14-19 グラデーションリストと右クリックメニュー

①グラデーションリスト操作

リストをクリックすると、選択されたグラデーションがプレビューと選択されている文字に反映されます。グラデーションリストをダブルクリック、または Enterキーを押すと設定色が選択されたグラデーションに設定されます。

②右クリックメニュー

リスト上でマウスを右クリックすると次のようなメニューが表示されます。

●「読み込み」・・・・・・・・ 別のフォルダーに保存されているグラデーションを、現在開いているリスト上へ読み込みます。
●「コピー」・・・・・・・・・・・ 選択されているグラデーションをコピーします。
●「削除」・・・・・・・・・・・・ 選択されているグラデーションを削除します。
●「編集」・・・・・・・・・・・・ 選択されているグラデーションを編集します。
●「名前変更」・・・・・・・・ 選択されているグラデーションの名前を変更します。
●「新規作成」・・・・・・・・ グラデーションを新規作成します。
●「リストサイズ変更」・・ リストの表示サイズを変更します。
●「フォルダー指定」・・・・・ グラデーションを読み込むフォルダーを指定します。
●「名前順で並び替え」・・ グラデーションを名前の順に並び替えます。

※グラデーション編集の設定内容については「P-109 (2)グラデーション」をご参照ください。

5) アルファ設定

アルファ値を0から255の数値で設定します。

(9)テクスチャ

スーパーおよびエッジにテクスチャを設定します。

図 3-14-20 テクスチャ

1) テクスチャ

設定されているテクスチャを表示します。

テクスチャをクリックするとパーツリストで選択されているスーパーまたはエッジのカラーにテクスチャカラーを反映させます。また、このとき編集画面上のオブジェクトが選択状態だった場合、選択したテクスチャがオブジェクトに設定されます。

2) リスト

[カスタマイズ]-[ファイル保存]の「カラーのテクスチャデータの保存場所」で指定されたフォルダー内に保存されているグラデーションを一覧表示します。

デフォルトでは、アプリケーションをインストールしたフォルダーの下にある「テクスチャ」フォルダーが指定されています。

図 3-14-21 テクスチャリスト

①テクスチャリスト操作

リストをクリックすると、選択されたテクスチャがプレビューと選択されている文字に反映されます。

テクスチャリストをダブルクリック、または Enterキーを押すと設定色が選択されたテクスチャに設定されます。

②右クリックメニュー

リスト上でマウスを右クリックすると次のようなメニューが表示されます。

●「読み込み」・・・・・・・・・・　別のフォルダーに保存されているイメージをテクスチャデータとして読み込みます。
●「削除」・・・・・・・・・・・・・　選択されているテクスチャを削除します。
●「名前変更」・・・・・・・・・・　選択されているテクスチャ名を変更します。
●「リストサイズ変更」・・・　リストの表示サイズを変更します。
●「フォルダー指定」・・・・・・　テクスチャを読み込むフォルダーを指定します。
●「名前順で並び替え」・・　テクスチャを名前の順に並び替えます。

3)テクスチャの新規登録方法

他のアプリケーションで作成したBMP、PICT、TIFF、PhotoShop(PSD)、TGA、PNG、JPEG等のフォーマットイメージデータをテクスチャデータとして登録します。

①テクスチャリスト上でマウスを右クリックし、「読み込み」を選択します。

②ファイルを開くダイアログから、登録するイメージファイルを選択します。

③ファイル名を選択して(複数選択可)、ダブルクリックするか[開く]ボタンを押します。

図 3-14-22 ファイル名の指定ダイアログ

④ファイルを開く前に下図のダイアログが表示されます。

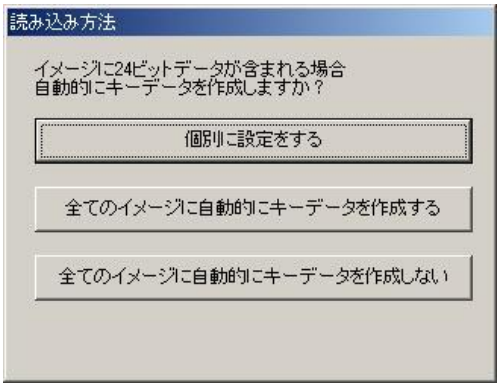


図 3-14-23 読み込み方法ダイアログ

⑤[個別設定]を選択すると、24 ビットのファイルを開く前に下図のダイアログが表示されます。

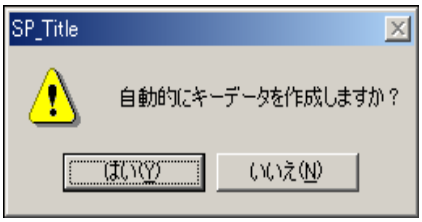


図 3-14-24 キーデータ作成ダイアログ

・「はい」・・・カラー側のカラーデータから輝度計算をして、それをキーデータとして扱います。

・「いいえ」・・全面キーとして扱います。

⑥読み込んだイメージがテクスチャデータとして登録されます。

4) アルファ設定

アルファ値を0から255の数値で設定します。

(10)各種設定

1) サブメニュー

サブメニューボタンをクリックするとサブメニューが表示ます。

「エッジ付けしきい値設定」・・・・・・イメージにエッジを付ける時のしきい値を設定します。イメージ取り込み時にレベルの低いノイズなどがある場合に不要な箇所にエッジを付けないように調整できます。0から255の値で設定できます。
イメージオブジェクトを選択したときに有効になります。

図 3-14-25 イメージ詳細設定

2)選択/移動対象

文字、図形、イメージの各オブジェクトの選択、移動を可能または不可能にします。重なり合ったオブジェクトの選択や移動の時に使用します。

図 3-14-26 選択/移動設定

	文字 選択・移動	入力された文字の選択・移動を設定します。
	図形 選択・移動	丸や三角などの図形の選択・移動を設定します。
	イメージ 選択・移動	インポートしたイメージの選択・移動を設定します。

3)スタイルのデフォルト設定

スタイルダイアログの設定内容をデフォルトとして登録、反映をします。

反映	スタイルがデフォルトの値に変更されます。
登録	現在設定されているスタイルをデフォルトとして登録します。

※新規作成時、アプリケーション起動時にスタイルをデフォルトの値で起動する方法につきましては「P-154 環境設定」をご参照ください。

(11)プレビュー

現在のスタイルダイアログの設定で文字や図形を描画した際の色、エッジをプレビュー表示します。

1)プレビュー文字の変更

①プレビュー画面をクリックします。

②プレビュー文字変更ダイアログが表示され、変更する文字を入力します。

注意！　文字変更ダイアログには1文字以上の文字が入力できますが、プレビューに表示されるのは最初の1文字です。

図 3-14-27　プレビュー文字変更ダイアログ

2)プレビュー背景色の変更

「オプション」→「カスタマイズ」の「一般」にある「プレビュー背景色」で変更します。

※「P-140　(3)カスタマイズ」をご参照ください。

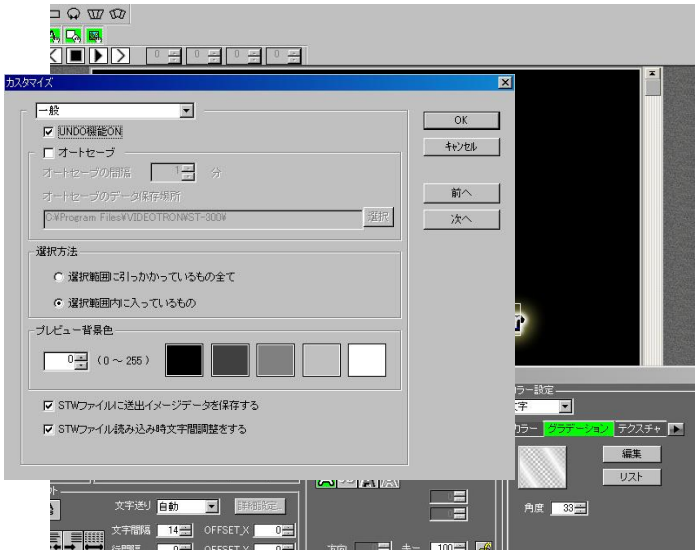


図 3-14-28　カスタマイズ

図 3-14-29　プレビュー変更前　　プレビュー文字とバックグラウンド変更後

15. 図形ツールバー

図形を描画、編集します。

描画するモードを選択すると、編集画面上のカーソルが　　になり図形を描画できます。

図 3-15-1　図形ツールバー

　・・・・・・・・・　直線を描画するモードです。

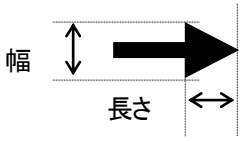
　・・・・・・・・・　矢印付き直線を描画するモードです。

　・・・・　四角（枠／ベタ)を描画するモードです。

　・・・・　楕円（枠／ベタ)を描画するモードです。

　・・・・　多角形(枠／ベタ)を描画するモードです。

「頂点の数」・・・・・・　多角形の頂点の数を設定します。
「丸」・・・・・・・・・・・・　直線、四角の角を丸く設定します。
「線種」・・・・・・・・・・　線の種類を設定します。（直線、破線）
「始点スタイル」・・・　矢印の始点スタイルを設定します。
「終点スタイル」・・・　矢印の終点スタイルを設定します。
「自動」・・・・・・・・・・　矢印のサイズを自動で設定します。
「線幅」・・・・・・・・・・　線の幅を設定します。
「分割数」・・・・・・・・　破線を描画の際に分割数を設定します。
「矢印(幅・長さ)」・・　矢印のサイズ(幅、長さ)を設定します。



「比率ON/OFF」　破線の実線と空白部分の比率を設定します。

ON　・・・・・・破線の実線部分
OFF・・・・・・破線の空白部分

※図形を描画し終わると文字入力モードに戻ります。

※[頂点の数]、[丸]、[自動]、[線幅]、[分割数]、[矢印(幅・長さ)]、[比率ON/OFF]は、描画し終わった後も編集することができます。

16. ステータスバー

ステータスバーは、マウス座標、カナキー、Caps Lockキー、Num Lockキー、グリッド幅、入力モード、ページ数などが表示されます。

図 3-16-1 ステータスバー

①マウス座標

編集画面上のマウス座標を表示します。

②編集フォーマット

現在の編集しているフォーマットを表示します。

③モード

現在のモード（板テロップ、横ロール、縦ロール）を表示します。

④[カナ]キー

仮名入力状態の時に「カナ」と表示されます。

⑤[Caps Lock]キー

Caps Lock ONの時に「CAP」と表示されます。

⑥[Num Lock]キー

Num Lock ONの時に「NUM」と表示されます。

⑦挿入/上書き

文字入力が挿入モードか上書きモードかを表示します。

⑧グリッド幅

現在のグリッド幅を表示します。

⑨縦書き横書き

現在縦書きか、横書きかを表示します。

⑩ページ数

現在のページを、編集ページ番号/総ページ数で表示します。

17. スクロールバー

(1)板テロップ

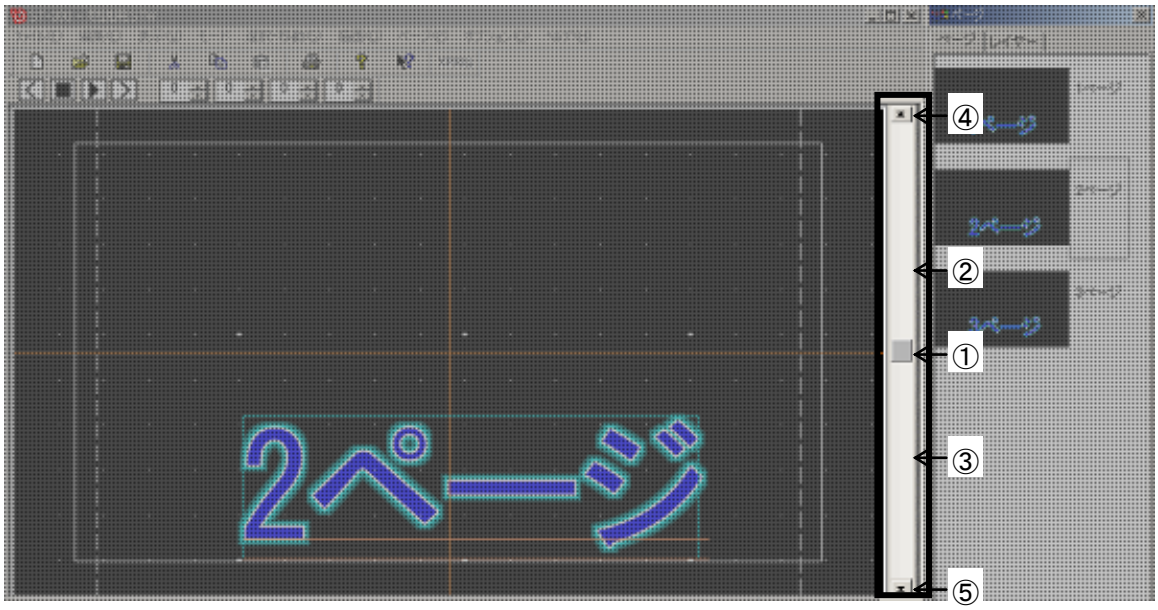


図 3-17-1 板テロップのスクロールバー

1)ページの移動を行います。

なお、ダイアログなどでスクロールバーが見えない場合、ダイアログを移動しスクロールバーを表示した上で操作してください。

①現在の位置

現在のページが、ページ全体のなかでどのあたりにあるのかを表示します。

②1ページ戻る

現在の位置よりも上のバー部分をクリックすると、1ページ戻ります。

③1ページ進む

現在の位置よりも下のバー部分をクリックすると、1ページ進みます。

④最初のページへ

この部分をクリックすると、先頭ページを表示します。

⑤最終ページへ

この部分をクリックすると、最終ページを表示します。

(2)横ロール

1)ページの移動を行います。

なお、ダイアログなどでスクロールバーが見えない場合、ダイアログを移動しスクロールバーを表示した上で操作してください。

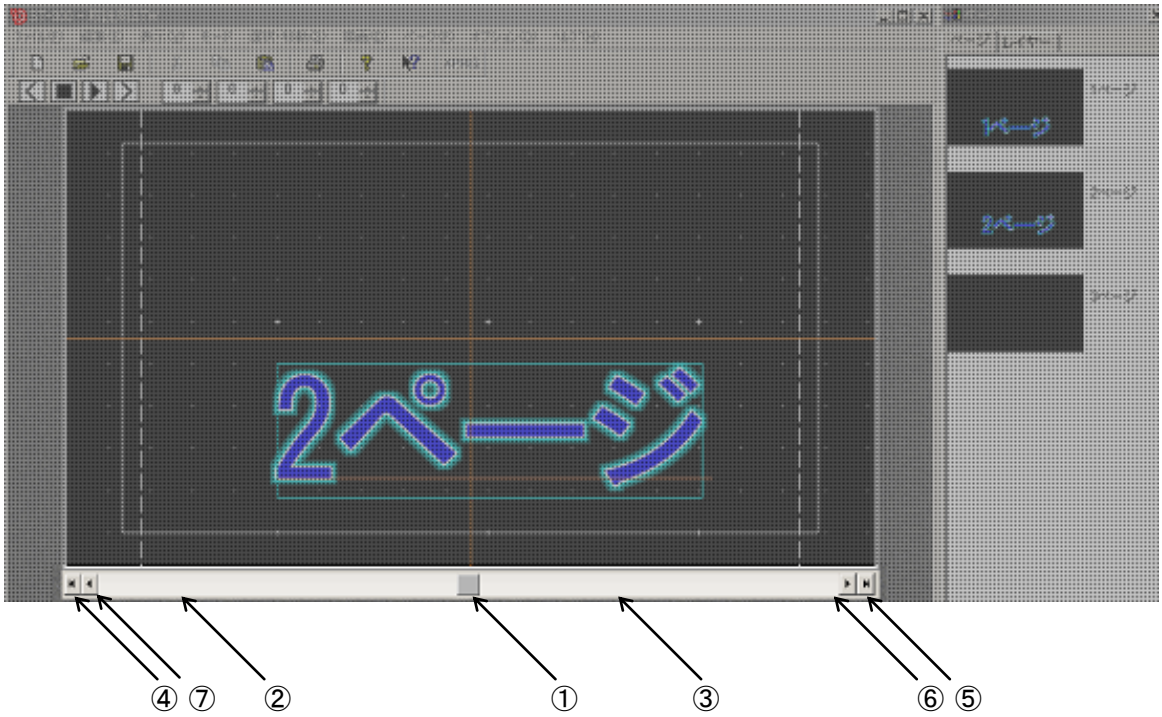


図 3-17-2 横ロールのスクロールバー

①現在の位置

現在のページが、ページ全体のなかでどのあたりにあるのかを表示します。

②1ページ戻る

現在の位置よりも上のバー部分をクリックすると、1ページ戻ります。

③1ページ進む

現在の位置よりも下のバー部分をクリックすると、1ページ進みます。

④最初のページへ

この部分をクリックすると、先頭ページを表示します。

⑤最終ページへ

この部分をクリックすると、最終ページを表示します。

⑥1ドット進む

この部分をクリックすると、1ドット進みます。(但し、最終ページの場合は動きません)

⑦1ドット戻る

この部分をクリックすると、1ドット戻ります。(但し、先頭ページの場合は動きません)

(3)縦ロール

1)ページの移動を行ないます。

なお、ダイアログなどでスクロールバーが見えない場合、ダイアログを移動しスクロールバーを表示した上で操作してください。

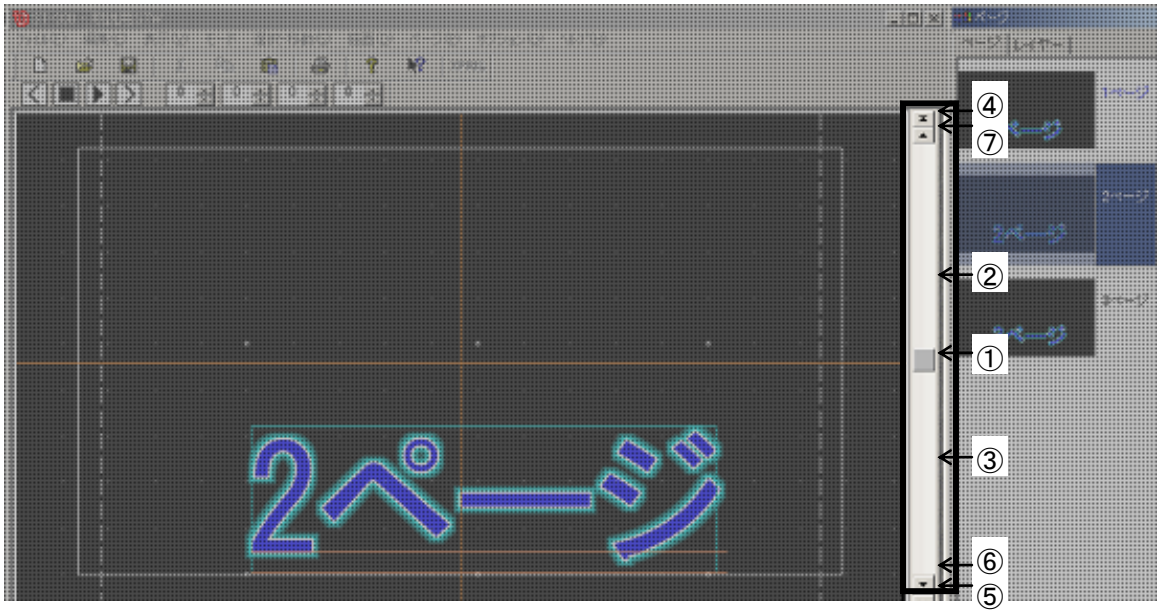


図 3-17-3 縦ロールのスクロールバー

①現在の位置

現在のページが、ページ全体のなかでどのあたりにあるのかを表示します。

②1ページ戻る

現在の位置よりも上のバー部分をクリックすると、1ページ戻ります。

③1ページ進む

現在の位置よりも下のバー部分をクリックすると、1ページ進みます。

④最初のページへ

この部分をクリックすると、先頭ページを表示します。

⑤最終ページへ

この部分をクリックすると、最終ページを表示します。

⑥1ドット戻る

この部分をクリックすると、1ドット戻ります。(但し、先頭ページの場合は動きません)

⑦1ドット進む

この部分をクリックすると、1ドット進みます。(但し、最終ページの場合は動きません)

18. メニュー

(1)ファイル

[新規作成...]	テロップを新規に作成します。
[開く...]	既存のテロップデータを開きます。
[上書き保存]	作業中のテロップを上書き保存します。
[名前を付けて保存...]	作業中のテロップを名前を付けて保存します。
[インポート]	イメージファイルを入力します。
[エクスポート]	イメージファイルを出力します。
[テキスト流し込み]	テキストの流し込みをします。
[印刷...]	テロップデータを印刷します。
[印刷プレビュー]	テロップデータを印刷時のイメージで表示します。
[プリンターの設定...]	プリンターの選択や接続状態を設定します。
[最近使ったファイル]	最近使用したファイル名を4つまで表示します。
[アプリケーションの終了]	アプリケーションを終了します。

(2)編集

[元に戻す]	直前に行った操作を元に戻します。
[やり直す]	[元に戻す]で取り消した操作を元に戻します。
[切り取り]	選択したデータを切り取って、内部バッファーに保存します。
[コピー]	選択したデータをコピーして、内部バッファーに保存します。
[貼り付け]	内部バッファーのデータを貼り付けます。
[削除]	選択したデータを削除します。

(3)表示

[メニュー]	各ダイアログ、ツールバーの表示または非表示を切り替え、初期化を行ないます。
[バックグラウンド]	バックグラウンドの表示方法を設定します。
[セーフティーマーカー]	セーフティーマーカーの表示方法を設定します。
[エリアマーカー]	エリアマーカーの表示方法を設定します。
[センター]	センターの表示または非表示を切り替えます。
[グリッド]	グリッドの表示または非表示を切り替えます。
[再描画]	編集画面の再描画をします。

(4)モード

[板テロップ]	板テロップを選択します。
[横ロール]	横ロールを選択します。
[縦ロール]	縦ロールを選択します。
[方向]	ロールの方向を設定します。
[フレーム数設定]	総フレーム数を設定します。

(5)選択・移動

[すべて選択]	全ページの文字、図形、イメージをすべて選択します。
[ページ内すべて選択]	現在表示中のページの文字、図形、イメージをすべて選択します。
[選択/移動対象]	選択/移動する対象を選択します。
[吸着エリアマーカー]	吸着エリアマーカーの表示/非表示を切り替えます。 吸着エリアマーカーが表示されていないと、吸着は行えません。
[吸着]	対象物の吸着センタリングを行います。
[センタリング]	水平、垂直、中央にセンタリングします。

(6)描画

[直線]	直線描画モードを選択します。
[矢印]	矢印直線描画モードを選択します。
[四角枠]	四角枠描画モードを選択します。
[楕円枠]	楕円枠描画モードを選択します。
[多角形枠]	多角形枠描画モードを選択します。
[塗りつぶし四角]	塗りつぶし四角描画モードを選択します。
[塗りつぶし楕円]	塗りつぶし楕円描画モードを選択します。
[塗りつぶし多角形]	塗りつぶし多角形描画モードを選択します。
[図形の詳細設定]	図形の詳細設定を行います。

(7)オブジェクト変形

[変形解除]	オブジェクト変形を解除します。
[回転]	オブジェクト変形:回転を設定します。
[パース]	オブジェクト変形:パースを設定します。
[扇]	オブジェクト変形:扇を設定します。

(8)ページ

[新規ページ]	新しいページを作成します。
[改ページ]	改ページをします。
[ページコピー]	指定されたページをコピーします。
[ページ削除]	指定されたページを削除します。
[先頭ページ]	先頭のページへ移動します。
[前ページ]	1つ前のページへ移動します。
[次ページ]	1つ後ろのページへ移動します。
[最終ページ]	最終ページへ移動します。
[指定ページへジャンプ]	指定したページへ移動します。

(9)オプション

[グリッド吸着]	グリッド吸着を設定します。
[グリッド幅]	グリッドの幅を設定します。
[カスタマイズ]	各種設定を行います。
[ビデオボード設定]	ビデオボードの設定を行います。(オフライン版は使用できません)
[送出設定]	送出設定を行います。(オフライン版は使用できません)
[SUPER TAKE]	スーパー表示のON/OFFを切り替えます。 (ST-350Mシステムのみ設定できます)
[ビデオ入力]	ビデオ映像をキャプチャします。 (ST-350Mシステム及びオフライン版は使用できません)

(10)ヘルプ

[トピックの検索]	ヘルプトピックの一覧を表示します。
[バージョン情報]	ST-V5アプリケーションのバージョン情報を表示します。

4. 基本操作

ST-V5はウインドウ上に、文字／図形／イメージを配置して1枚のテロップを作成していくアプリケーションです。文字/図形/イメージ、それぞれの簡単な特徴を説明します。

1. 文 字

1 文字ごとに全ての属性が編集できます。設定範囲は以下のようになります。

書体	インストールされている TrueType フォントまたは OpenType フォント
級数(ポイント)	7 ～ 500 級(10 ～ 800 ポイント)
横倍率	1 ～ 1000%
縦倍率	1 ～ 1000%
斜体	-100 ～ 100%
回転	-360 ～ 360°
文字間隔	－99 ～ 300 ドット
行間隔	－99 ～ 500 ドット

注意！ 計算誤差により多少のずれが生じます。

2. 行

行は単数または複数の文字から構成されます。

3. 図形

線／矢印／四角／楕円／多角形等の種類があります。

4. イメージ

BMP、PICT、TIFF、PhotoShop(PSD)、TGA、PNG、JPEG 等の汎用イメージデータ、CF-9940/45、PG-9948、TW-9950/51 等のテロップファイル装置の VPng ファイル等をイメージとして取り込めます。

注意！

・PICT、TIFF、PSD、TGA、PNG、JPEGファイル形式のうち、ST-V5読み込み不可能な形式があります。
PICT、TIFF、PSD、TGA、PNG、JPEGファイルを作成するアプリケーションの取扱説明書でST-V5が対応している形式で出力できるかどうかをご確認ください。
※「P-133 (10)ST-V5のインポート、エクスポートイメージファイル」をご参照ください。

・BMPファイルは、ほぼすべての形式に対応しています。上記の読み込みができない場合はBMPファイルで受け渡しを行ってください。

5. テロップファイルの属性

ST-V5では、板テロップの他、縦のロールテロップ、横のロールテロップを作成できます。

これらの属性は、以下のように設定します。

(1)テロップ作成時に設定する場合

ST-V5の起動直後やテロップを新規作成する場合は以下のように設定します。

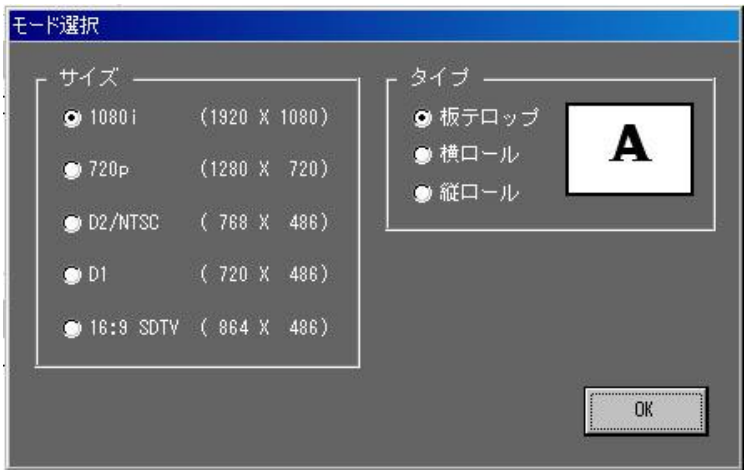


図 4-5-1 モード選択ダイアログ

1)ST-V5を起動時、またはテロップの新規作成時にモード選択ダイアログが表示されます。

2)サイズ選択欄より作成するテロップの映像フォーマットを選択します。

3)作成するテロップを、タイプから選択します。

4)ロールテロップの場合、ロール方向を方向から選択します。

5)モード選択ダイアログの設定にあわせたメインウインドウが表示されます。

(2)テロップを作成中に属性を変更する場合

1)タイプの変更

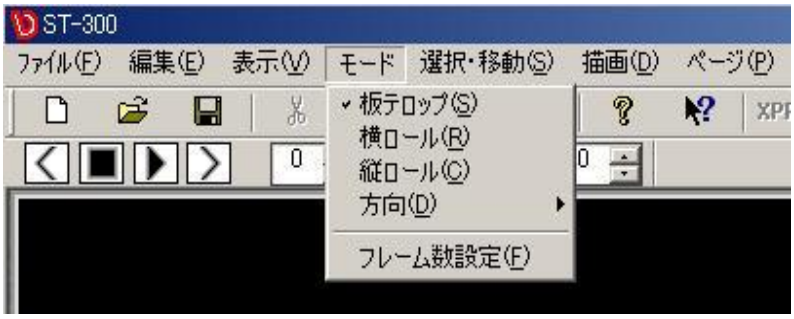


図 4-5-2 モードメニュー

①モードメニューをクリックします。

②プルダウンメニューから板テロップ、横ロール、縦ロールの任意のタイプをクリックします。現在設定されているモードにはチェック印がついています。

2)方向の変更

ロールテロップを設定したときのみ設定できます。

①[モード]―[方向]メニューをクリックすると、さらにメニューが表示されます。

②縦ロールの場合は　下→上、上→下、横ロールの場合は　右→左、左→右から選択します。

現在設定されている方向にはチェック印がついています。

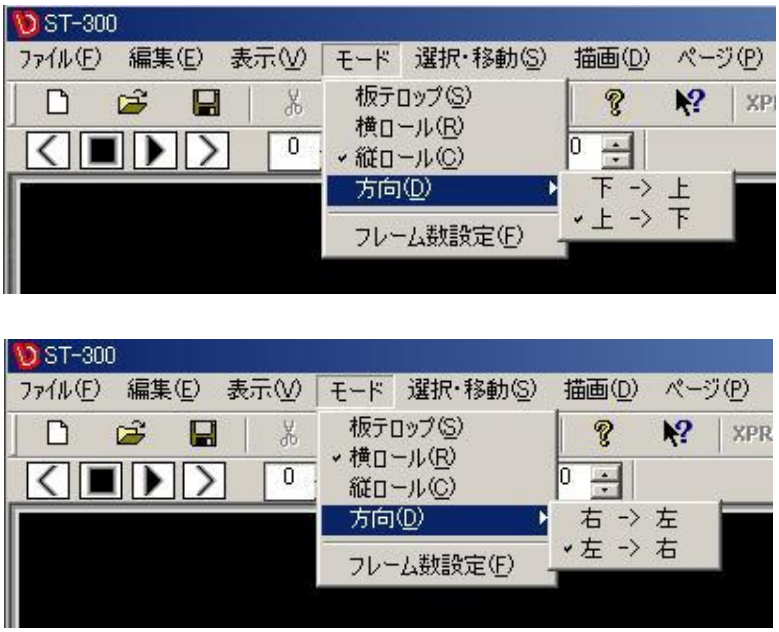


図 4-5-3　ロール方向の選択　（上:縦ロール　下:横ロール）

6. ロールテロップの生成とプレビュー

ロールテロップは、画面上に文字や画像などを縦または横方向に連続して流す（ロールする）ことができます。
作成された複数ページのロールテロップを指定されたフレーム数でロール実行します。

1）ロールテロップを作成します。

①テロップの種類（縦、横）、ロール方向を設定します。

②テロップを入力し、編集します。カーソルがロール方向のページ外に移動すると自動でページが追加されます。

2）ロール実行を行うフレーム数を指定します。

①モードメニューから、フレーム数設定をクリックします。

②フレーム数の設定ダイアログが表示されます。

図 4-6-1　フレーム数の設定ダイアログ

③1ページを移動するために必要なフレーム数を設定し、OKボタンを押します。

※ST-V5テロップ画像作成ソフトウェアで送出する場合、フレーム数設定はプレビューのみ反映されます。

以上の操作で、テロップファイルにロールテロップを設定します。

5. 操作方法

1. 入 力

(1)文字入力

1)スタイルダイアログの横書き AB (または縦書き A)モードを選択します。

2)マウスカーソルをメインウインドウ上に移動させ、入力したい位置でクリックします。

クリックした位置に現在設定してある文字級数(ポイント)の大きさの入力カーソルが表示されます。

※テキスト選択時にShift + Tabを入力することでもテキストの中央に入力カーソルが表示されます。

※テキスト入力時にShift + Tabを入力するとテキスト外に入力カーソルを表示することができます。

※文頭/文末に入力カーソルがある時にShift + カーソルキーを入力するとテキスト外に入力カーソルを表示することができます。

3)入力したい文章をキーボードから打ち込みます。

(またはP-57「(5)テキストからのコピー＆貼り付け」、P-58「(7)テキストの流し込み」でも入力できます)

4)決定すると、現在設定されているエッジ／カラー／スタイルで文字が描画されます。

(2)改行と改ページ

1)改行……キーボードのEnterキーで改行されます。改行を入力した行と自動的に接続されます。

2)改ページ……キーボードの[Alt + Enter※]、又はメニューの[ページ]－[改ページ]で、改ページが行えます。

※キーボードショートカットが「STデフォルト設定」の場合に有効な入力操作です。

(3)半角スペースの級数指定

直接入力時、[Shift + スペース]キーを入力することによって、[カスタマイズ]―[環境設定]で設定された比率で半角スペースが入力されます。

半角スペースキーのみ入力した場合は現在設定されている文字級数(ポイント)で半角スペースが入力されます。

※[Shift + スペース]キーの級数指定は「P-154 環境設定」をご参照ください。

選択された文字の級数を変更するとそれに応じて選択された半角スペースが [カスタマイズ]―[環境設定]で設定された級数に自動的に変更されます。

注意！ [Shift + スペース]キーで入力された半角スペースも、半角スペースキーのみで入力された半角スペースも、選択された文字の級数(ポイント)を変更すると、それに応じて選択された半角スペースが[環境設定]で設定された級数(ポイント)に自動的に変更されます。

(4)半角文字自動級数設定

半角文字入力時、半角文字自動級数設定 ON の場合、[カスタマイズ]―[環境設定]で設定された比率で半角文字が入力されます。

※半角文字の級数設定は、「P-154 環境設定]をご参照ください。

選択された文字の級数(ポイント)を変更するとそれに応じて選択された半角文字が[カスタマイズ]―[環境設定]で設定された級数(ポイント)に自動的に変更されます。

(5)テキストからのコピー＆貼り付け

テキストファイルを表示し、テキストファイル上でコピーした文字を、現在の設定で画枠上に貼り付けます。

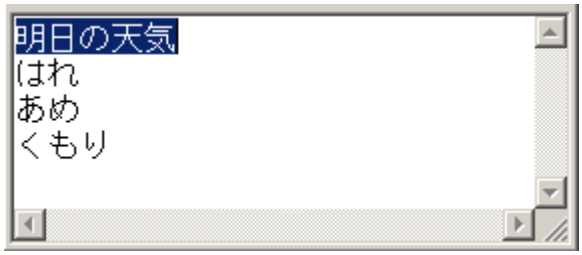


図 5-1-2　テキスト画面

①テキストファイルを開きます。

②テキストのファイルから、ST-V5上へ書き込みたい文字をコピー(または切り取り)します。

③ST-V5の画枠内で右クリックし、縦書き、横書きを選択します。

④ST-V5の画枠内で、挿入したい位置をクリックし、カーソルを表示させます。

⑤ST-V5の画枠内で右クリックし、右クリックメニューから貼り付けを選択します。

(6)固定枠の作成と削除

1)固定枠の働き

固定枠を作成し、枠内に文字を入力していくと固定枠内に文字が収まるように自動で長体、平体をかけられます。

※横倍率、縦倍率が50%を超えると固定枠外に文字が入力されていきます。

2)固定枠の描画方法

①スタイルダイアログの横書き AB (または縦書き A B)モードを選択します。

②スタイルダイアログ上で、固定枠内に入力する文字の属性をすべて設定します。

③編集画面上で[Ctrl + Shift]キーを押しながらマウスをドラッグします。

ドラッグ中は枠カーソルが点線で表示されます。

④固定枠が作成されます。

固定枠の大きさは、スタイルダイアログで設定したフォントサイズ、文字間隔、行間隔にそって描画されます。

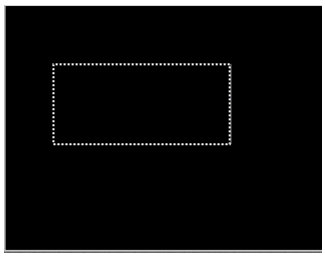


図 5-1-3　固定枠の描画状態(ドラッグ中)

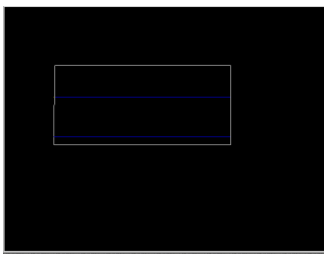


図 5-1-4　固定枠

3)固定枠の削除

a)固定枠内の文字が全て消えいてる状態で固定枠を選択して、Delete キーを押して削除してください。

b)ページダイアログのレイヤータブ内で、固定枠の描かれたレイヤーを削除してください。

(7)テキストの流し込み

テキストファイルを、あらかじめ指定したスタイルにそって連続的に流し込みます。

●通常

1)テキスト流し込み

①スタイルダイアログの横書き AB (または縦書き A)モードを選択します。

②スタイルダイアログ上で、流し込むテキストの文字属性をすべて設定します。

③マウスカーソルを編集画面上に移動させ、流し込みをしたい位置でクリックします。

クリックした位置に現在設定してある文字級数(ポイント)の大きさの入力カーソルが表示されます。

固定枠内にカーソルがある場合は、固定枠内に流し込みを行います。

④メニューから[ファイル]－[テキスト流し込み]—[通常]を選択します。

⑤ファイル選択ダイアログが表示されますので、流し込みたいテキストファイル、エンコード方式を選択し、「開く(O)」を押します。

図 5-1-5 ファイル選択ダイアログ

ST-V5の流し込みで使用できる形式は Shift-JIS/Unicode/ビッグエンディアン Unicode/UTF-8 です。

エンコード方式 : 自動選択 ・・・・・・・・・・ テキストファイルに使用されている文字コードを自動で判別します。

シフトJIS ・・・・・・・・・・ テキストファイルの文字コードをシフトJIS形式で読み込みます。

Unicode ・・・・・・・・・・・ テキストファイルの文字コードをUnicode形式で読み込みます。

Unicode(Big-Endian)・・ テキストファイルの文字コードをビッグエンディアン Unicode形式で読み込みます。

Unicode(UTF-8) ・・・・ テキストファイルの文字コードをUTF-8形式で読み込みます。

⑥センタリングダイアログが表示されますので、センタリングモードを選択し[OK]を押します。

図 5-1-6　センタリングダイアログ

・吸着エリアマーカーが表示されていない場合

横センタリング…編集画面の横中央に流し込みます。

縦センタリング…編集画面の縦中央に流し込みます。

・吸着エリアマーカーが表示されている場合

横センタリング…吸着エリアマーカーの横中央に流し込みます。

縦センタリング…吸着エリアマーカーの縦中央に流し込みます。

⑦現在設定されているエッジ／カラー／スタイルで文字が描画されます。

2)改ページの処理

①通常の場合･･･ロールの場合、ページから文字がはみ出した場合は改ページします。

②固定枠内に流し込む場合(マウスカーソルが固定枠内)

固定枠より行の多いテキストを流しこんだ場合、改ページして次のページ画面の同じ位置に固定枠を自動生成し、テキストを流し込みます。

例)図 5-1-7 のテキストファイルを図 5-1-8 の固定枠へ流し込みます。

1 ページ 1 行
1 ページ 2 行

2 ページ 2 行
3 ページ 1 行

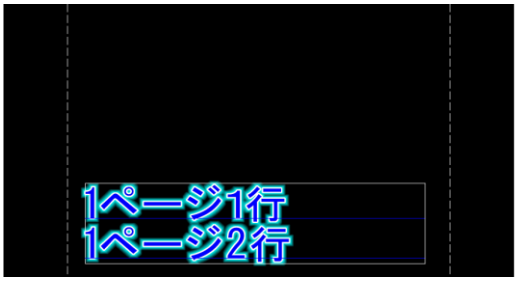
4 ページ 1 行
4 ページ 2 行

図 5-1-7 テキストファイル

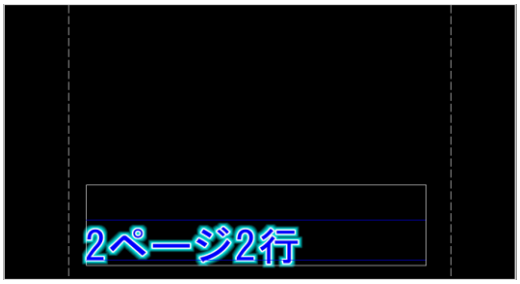
図 5-1-8 流し込む固定枠(1 ページ目)

結果は以下のようになります。

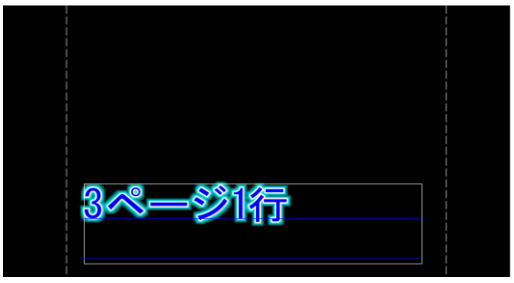
1ページ目



2ページ目



3ページ目



4ページ目

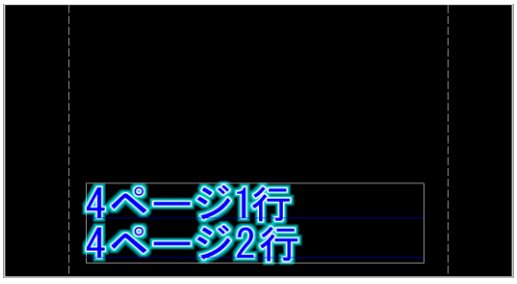


図 5-1-9 流し込みの結果

3)縦ロール、横書き時の処理

縦ロール編集で、横書きで流し込みの処理をした場合、1ページ単位でオブジェクトを分割し、
グループ化を行い、連結オブジェクトとします。
基本的な動作は、1オブジェクトで作成したときと同等の動作が行えます。

※非対応項目

・オブジェクト変形はバラバラに変形します。
・エッジ付け時のスーパー、エッジ、シャドウの上下関係は、連結している枠の境部分の文字につ
いてはスーパーの上にエッジが表示されます。
・レイヤー表示はバラバラに表示されます。
・レイヤー削除はオブジェクトごとのみ削除になります。
・レイヤーの非表示はオブジェクトごとの表示/非表示になります。
・レイヤーの上下関係は変更できません。
・オブジェクトごとに設定されているときの色付け
・ほかのオブジェクトとのグループ化
・グループ化解除

注意！ 連結オブジェクトは縦ロール編集時、横書きで流し込みを行った場合のみ有効です。

●定型

基準となるフォント、色、位置などの情報を元に、テキストファイル中の文字を配置していきます。

・メニューから[ファイル]－[テキスト流し込み]—[定型]を選択します。

・流し込みダイアログが表示され、定型枠の編集ができます。

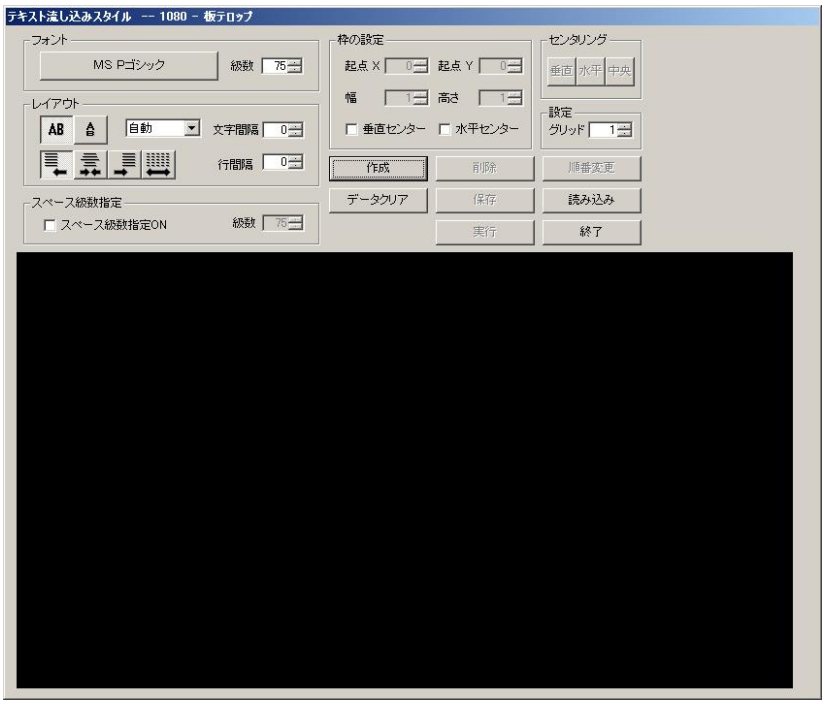


図 5-1-10 定型枠作成ダイアログ

※流し込みスタイル編集モードになると、流し込みを実行するか、[終了]を押すまでテロップの編集はできません。

1)フォント

フォントと級数の設定を行います。

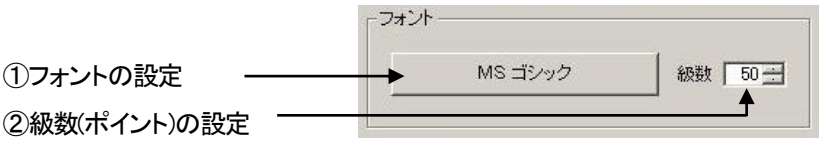


図 5-1-11 フォントの表示

①フォントの設定

・現在設定されているフォント名が表示されています。(図 5-1-11 参照)

・フォントが表示されている部分 MS ゴシック をクリックするとインストール されているTrueTypeフォント一覧が表示されます。(図 5-1-12 参照)

図 5-1-12 フォント一覧ダイアログ

・フォントリストをダブルクリック、またはEnterキーを押すことで選択されたフォントが設定されます。

※カスタマイズのフォント設定で非表示に設定されているフォントは一覧には表示されません

②級数の設定

文字の大きさを級数またはポイントで設定します。

設定方法の切り替えはカスタマイズの環境設定から行います。

で文字の大きさを級数で設定します。(7～500級)

で文字の大きさを級数で設定します。(10～800ポイント)

2)レイアウト

横書き・・・・・・文字入力を横書きに設定します。

縦書き・・・・・・文字入力を縦書きに設定します。

左揃え・・・・・・マウスで指定した位置から左揃えで文字を揃えます。

中揃え・・・・・・マウスで指定した位置を中心に文字を揃えます。

右揃え・・・・・・マウスで指定した位置から右揃えで文字を揃えます。

均等揃え・・・・入力時は左揃えと同じ様に文字が揃えられます。

文字送り・・・入力する文字を「自動」「箱送り」「詰め送り」に設定します。

「文字間隔」・・・・・ 文字間隔をドット単位で設定します。(-99～300ドット)

「行間隔」・・・・・・・ 行間隔をドット単位で指定します。(-99～500ドット)

3)スペース級数設定

スペース級数設定ON・スペース級数設定をONにします。

級数・・・・・・・・スペースの級数を設定します。(1～500)

4)枠の設定

起点 ・・・・・・・・・・起点座標を設定します。

幅 ・・・・・・・・・・・・定型枠の幅を文字数で指定します。

横ロールでは設定できません。

高さ ・・・・・・・・・・・定型枠の高さを文字数で指定します。

縦ロールでは設定できません。

垂直センター ・・・文字を垂直センタリングします。

縦ロール又は横ロールの横書きでは設定できません。

水平センター ・・・文字を水平センタリングします。

横ロール又は縦ロールの縦書きでは設定できません。

5)センタリング

垂直・・・・・・・・定型枠を垂直センタリングします。

水平・・・・・・・・定型枠を水平センタリングします。

中央・・・・・・・・定型枠を水平、垂直センタリングします。

6)設定

グリッド ・・・・グリッド幅を設定します。

7）定型枠の作成

①作成するテンプレートのスタイルに合わせてフォント、レイアウトを設定します。

②[作成]を押します。

③枠の設定で、起点、幅、高さを設定し[登録]を押すか、マウスでドラッグ &ドロップで範囲を指定するか、Ctrlキー押しでマウスをドラッグします。

指定した位置にテンプレートが作成されます。

定型枠には、作成時に自動的に番号が付けられます。流し込み実行時には、定型枠番号の若い順にテキストが配置されます。

④①から③を繰り返して、流し込みの定型枠を作成します。

登録を中止したい場合は登録中止を押します。

8）定型枠の変更

既に作成された定型枠に対して、通常のテロップと同様に、フォント、レイアウトなどの属性を変更できます。

①設定を変更したい定型枠の基準ブロック(定型枠番号が含まるブロック)をクリックします。

②定型枠が選択され、赤色で表示されます。

③変更したい属性（フォント、レイアウト、センタリング、グリッド、枠の設定）の設定値を変更します。

9）定型枠の移動

既に作成された定型枠を移動できます。

①移動したい定型枠の基準ブロック(テンプレート番号が含まれるブロック)をクリックします。

②ドロップした位置に移動します。

※ドラッグ中は、定型枠の基準ブロックだけがマウスポインターに追従します。

10）定型枠番号の変更

既に作成された定型枠の番号を変更できます。

①[順番変更]を押します。

②順番変更の開始基準となる基準ブロック(定型枠番号が含まれるブロック)をクリックします。Ctrlキーを押しながらクリックすることにより、クリックされた基準番号から変更できます。

③次にクリックする基準ブロックから順番が変更されます。

11）定型枠の削除

既に作成された定型枠を削除できます。

①削除したい定型枠の基準ブロック(定型枠番号が含まれるブロック)をクリックします。

定型枠が選択され、赤色で表示されます。

②[削除]を押すと定型枠が削除され、番号が振りなおされます。

12）データクリアー

既に作成された定型枠を全て削除できます。

①[データクリアー]を押します。

②確認ダイアログがでてくるので、[OK]を押すと既に作成された定型枠を全て削除できます。

13）定型枠の保存

既に作成されたテンプレートをファイルとしてハードディスクに保存できます。

①[保存]を押します。

②ファイル選択ダイアログが表示されるので、定型枠を保存する場所と名前を指定して[保存(S)]を押します。

③指定した場所に定型枠ファイルが作成されます。

14）定型枠の読み込み

ハードディスクに保存された定型枠ファイルを読み出します。

①[読み込み]を押します。

②ファイル選択ダイアログが表示されるので、読み出したい定型枠ファイルを選んで[開く(O)]を押します。

③定型枠ファイルに含まれたテンプレートが読み込まれ、画面に表示されます。

15）流し込みの実行

作成した定型枠に沿って、テキストファイルから読み込んだ文字をテロップとして配置します。

①[実行]を押します。

②ファイル選択ダイアログが表示されるので、流し込みたいテキストファイルを選んで[開く(O)]を押します。

③定型枠に沿って文字が配置されます。

※テキストファイルは、Windowsアクセサリのメモ帳などで作成してください。

ワープロなどのアプリケーションで作成した場合は、保存時に「テキストファイル(*.txt)」形式を選んでください。

16)改ページの処理

①板テロップの場合

定型枠より行の多いテキストを流しこんだ場合、改ページして次のページ画面の同じ位置に定型枠を自動生成し、テキストを流し込みます。

例)図 5-1-13のテキストファイルを図 5-1-14の固定枠へ流し込みます。

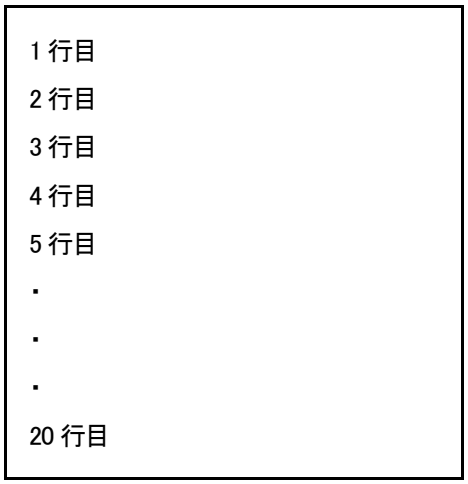


図 5-1-13 テキストファイル

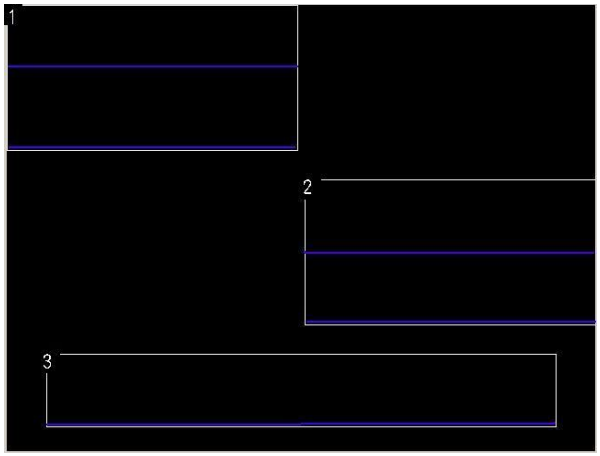


図 5-1-14 流し込む固定枠

結果は以下のようになります。

1ページ目

2ページ目

3ページ目

4ページ目

図 5-1-15 流し込みの結果

②横ロールの場合

定型枠の番号順に1行ずつテキストが流し込まれます。

横書き定型枠の場合は指定された行数、縦書きの定型枠の場合は制限なしで流し込まれます。

例）図 5-1-16 のテキストファイルを図 5-1-17 の固定枠へ流し込みます。

1 行目
2 行目
3 行目
4 行目
5 行目
・
・
・
27 行目

図 5-1-16 テキストファイル

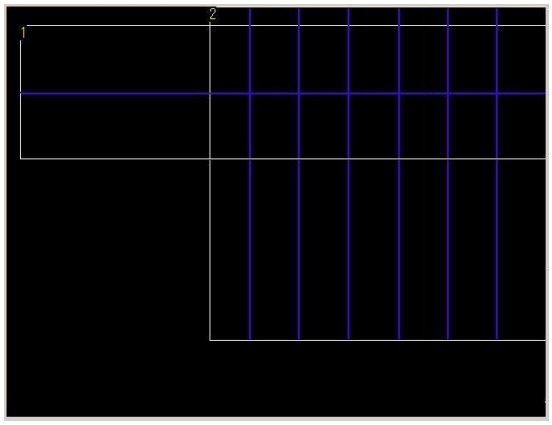
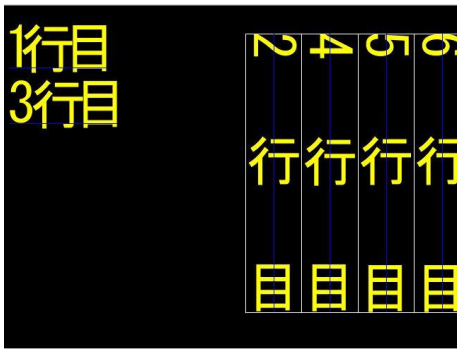
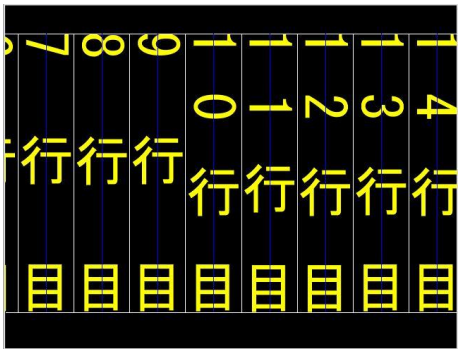


図 5-1-17 流し込む固定枠

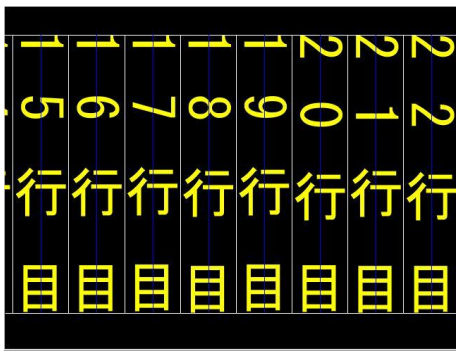
結果は以下のようになります。



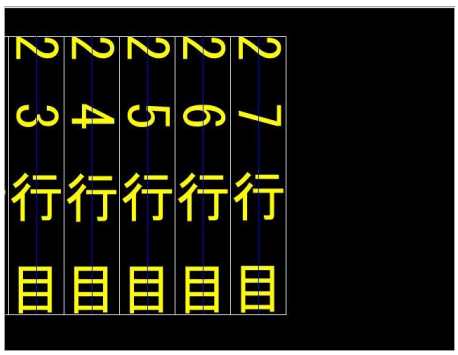
1ページ目



2ページ目



3ページ目



4ページ目

図 5-1-18 流し込みの結果

③縦ロールの場合

定型枠の番号順に1行ずつテキストが流し込まれます。

縦書き定型枠の場合は指定された行数、横書きの定型枠の場合は制限なしで流し込まれます。

例）図 5-1-19 のテキストファイルを図 5-1-20 の固定枠へ流し込みます。

1 行目
2 行目
3 行目
4 行目
5 行目
・
・
・
25 行目

図 5-1-19 テキストファイル

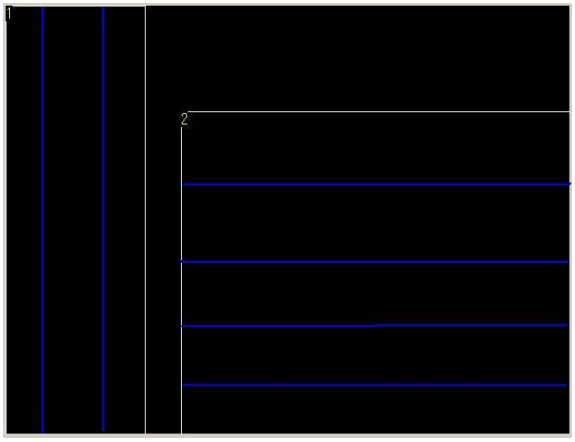
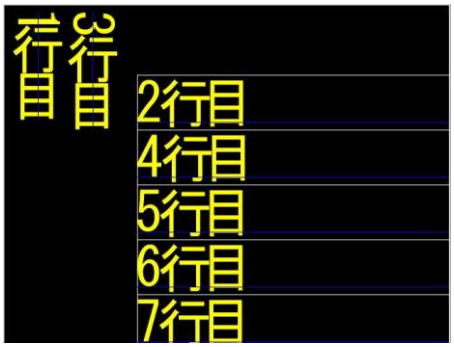
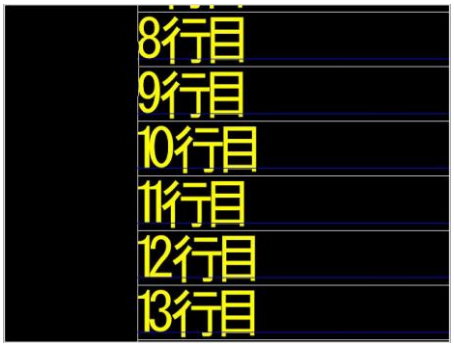


図 5-1-20 流し込む固定枠

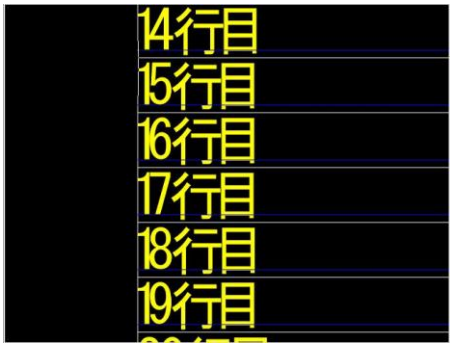
結果は以下のようになります。



1ページ目



2ページ目



3ページ目

4ページ目

図 5-1-21 流し込みの結果

●テンプレート

ライブラリのテンプレートに登録されているスタイル及び配置などの情報を元に、文字情報を入力していきます。

・メニューから[ファイル]－[テキスト流し込み]—[テンプレート]を選択します。

・テンプレート流し込みダイアログが表示され、テンプレートファイル内のテンプレート枠に文字列を設定できます。

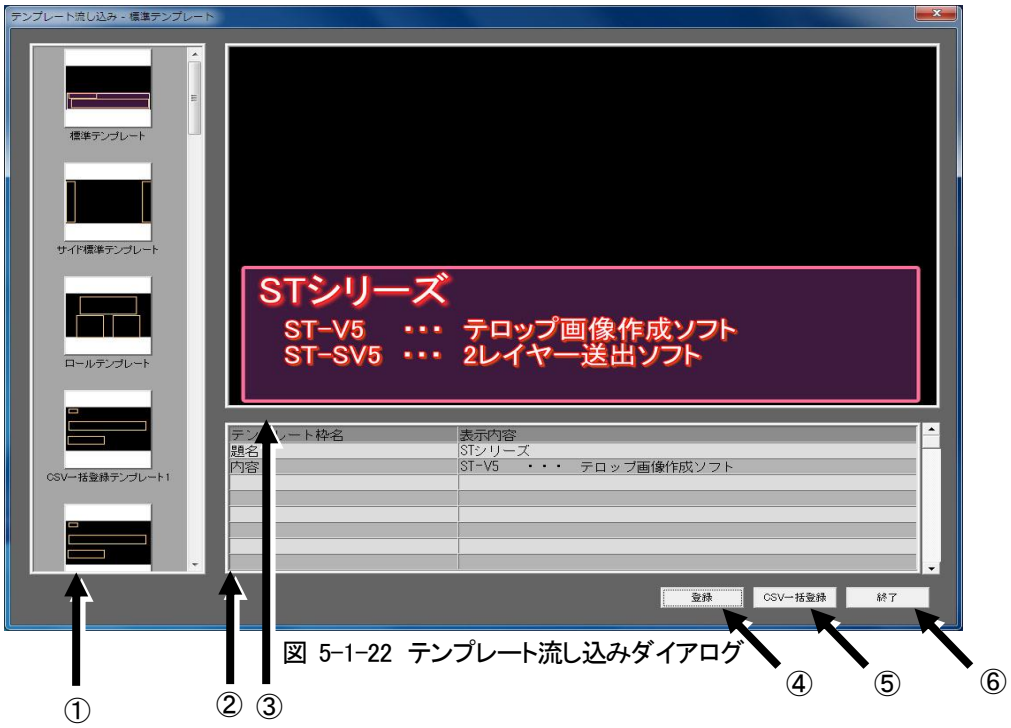


図 5-1-22 テンプレート流し込みダイアログ

①テンプレート一覧

ライブラリのテンプレートで指定されているフォルダー内にあるテンプレートを一覧表示します。

テンプレートはテンプレート枠の作成(P-91)及びライブラリダイアログ(P-16)のテンプレートタブをご参照して登録してください。

②入力枠一覧

選択されているテンプレート内に設定されているテンプレート枠の一覧が表示されます。

左の列に設定されているテンプレート枠名が表示されます。

テンプレート枠名が有る行の右の列をクリックすることで文字を入力することができます。

③プレビュー

現在設定中のテロップイメージが表示されます。

④登録

現在入力されている情報をテロップとして登録します。

テンプレートを選択していない場合や情報が何も入っていない場合は選択できません。

また、テロップ登録後情報が何も更新されていない場合も選択できません。

⑤CSV一括登録

現在選択されているテンプレートに対してCSVファイルから一括して文字情報を登録します。

テンプレートを選択していない場合は選択できません。

⑥終了

テンプレート流し込み処理を終了して編集画面に戻ります。

1) CSVファイルフォーマット

・CSVファイル内は以下のフォーマットで記述します。

a)1行目はヘッダー情報を記述します。

ヘッダーは1列目に「#Videotron TelopAutoCreationInfoFile」に記述して、2列目にバージョン「Ver1.0.0」のように記述されます。※1

このファイルヘッダーは必須ではありませんが、記述がない場合は読み込みをしたアプリケーションの読み込み処理に依存します。

b)コメント行になっていない一番始めの行にタイトルヘッダーを記述します。

このタイトルヘッダーは各列が登録先とするテンプレート枠名が記述されます。

c)コメント行になっていない2行目以降に作成する各テロップの文字情報を記述します。

d)行の先頭が「#」で始まっている場合はその行をコメントとして扱います。※2

自動生成処理としてはこの行を読み飛ばします。

e)使用するテンプレートを指定する場合はタイトルヘッダーに「$テンプレート名」の列を作成して、使用するテンプレート名を各行に記述します。

例1) 流し込む文字列だけを指定する場合のデータ構成

テンプレート流し込みダイアログ内からのCSV一括登録に使用できます。

#Videotron TelopAutoCreationInfoFile			**,**	**Ver1.0.0**		
テンプレート枠1	**,**	**テンプレート枠2**	**,**	**テンプレート枠3**	**,**	**・・・**
文字列1	**,**	**文字列2**	**,**	**文字列3**	**,**	**・・・**
#この行はコメントになる為読み飛ばされます						
文字列4	**,**	**文字列5**	**,**	**文字列6**	**,**	**・・・**
⋮	,	⋮	,	⋮	,	⋮

例2) 使用するテンプレートと流し込む文字列を指定する場合のデータ構成

メニューにあるテンプレート(CSV一括登録)からの登録に使用できます。

テンプレート名は無視されますがこのフォーマットでもテンプレート流し込みダイアログにあるCSV一括登録のデータとして使用できます。

#Videotron TelopAutoCreationInfoFile			,	Ver1.0.0		
$テンプレート名	,	テンプレート枠1	,	テンプレート枠2	,	・・・
テンプレート1	,	文字列1	,	文字列2	,	・・・
テンプレート2	,	文字列3	,	文字列4	,	・・・
⋮	,	⋮	,	⋮	,	⋮

2)文字を入力しての登録

①テンプレート一覧から登録に使用するテンプレートをダブルクリック、またはEnterキーを押すことで選択します。※3

②テンプレートが選択されると入力枠一覧に選択テンプレート内にあるテンプレート枠の一覧が表示されます。枠が複数登録されていて同一の名称が設定されている場合は個別に文字を設定することはできません。この場合一覧では赤文字で表示され枠名部分に(重複)の文字が付加されます。

③入力枠一覧から入力したい枠を見つけ右の列部分をクリックします。クリックするとその部分が入力モードに切り替わるので設定したい文字を入力します。

表示自体は1行のみの表示ですが複数行の入力が必要な場合は改行を入れて必要な文字を入力していきます。

複数の枠に文字を登録したい場合はこの項目を繰り返します。

④文字の入力が全て完了したら登録ボタンを押します。この登録ボタンを押すことでテロップとして正式に反映されます。

⑤続けてテロップを作成する場合は①～④を繰り返します。(同一のテンプレートを使用して文字を変更するだけの場合は③④を繰り返します)

⑥全ての登録が完了したら終了ボタンを押します。

3)同じテンプレートに対しての一括登録

同じテンプレートに対して連続的に文字を登録する場合CSVファイルを使用して登録することができます。CSVファイルフォーマットについては次の項目(CSVファイルフォーマット)をご参照ください。

①テンプレート一覧から登録に使用するテンプレートをダブルクリック、またはEnterキーを押すことで選択します。※3

②テンプレートを選択したらCSV一括登録ボタンを押します。ボタンを押すと以下のファイル選択ダイアログが表示されますので、流し込みたいCSVファイル及びエンコード方式を選択し「開く」を押します。

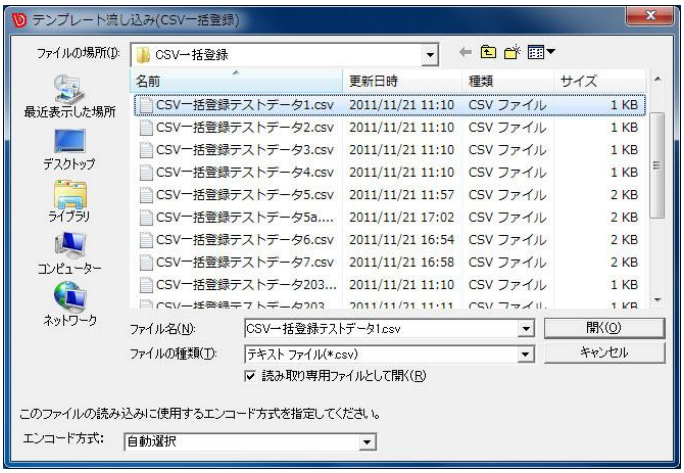


図 5-1-23 ファイル選択ダイアログ

エンコード方式

自動選択	・・・ テキストファイルに使用されている文字コードを自動で判別します。
シフトJIS	・・・ 文字コードをシフトJIS形式で読み込みます。
Unicode	・・・ 文字コードをUnicode形式で読み込みます。
Unicode(Big-Endian)	・・・ 文字コードをビッグエンディアン Unicode形式で読み込みます。
Unicode(UTF-8)	・・・ 文字コードをUTF-8形式で読み込みます。

⑤続けてテロップを作成する場合は①～②を繰り返します。

⑥全ての登録が完了したら終了ボタンを押します。

※1 現状はフォーマットの変更は無い為バージョンは常に「Ver1.0.0」を記述します。

※2 コメントでは無く入力文字として1文字目に「#」を入れたい場合は1列目に空の列を追加してください。

※3 ロールモードで登録しているテンプレートは選択できません。

●テンプレート(CSV一括登録)

CSVファイルから使用するテンプレート及び流し込む文字列を取得してテロップデータを作成していきます。

・メニューから[ファイル]－[テキスト流し込み]—[テンプレート(CSV一括登録)]を選択します。

・ファイル選択ダイアログが表示されたら一括登録で使用するCSVファイル及びエンコード方式を選択し「開く」を押します。

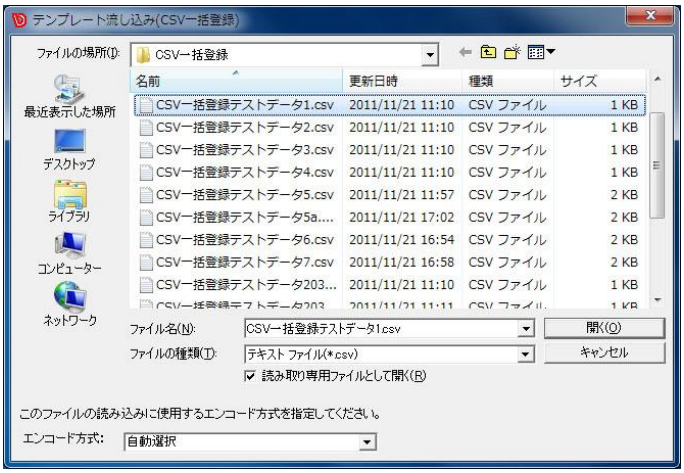


図 5-1-24 ファイル選択ダイアログ

エンコード方式

自動選択	・・・	テキストファイルに使用されている文字コードを自動で判別します。
シフトJIS	・・・	文字コードをシフトJIS形式で読み込みます。
Unicode	・・・	文字コードをUnicode形式で読み込みます。
Unicode(Big-Endian)	・・・	文字コードをビッグエンディアン Unicode形式で読み込みます。
Unicode(UTF-8)	・・・	文字コードをUTF-8形式で読み込みます。

※CSV内の記述方法は前項目の「CSVファイルフォーマット」をご参照ください。

(8)画枠の外にある文字の処理

1)板テロップ

画枠の上下左右にはみ出して入力された文字、前ページからはみ出した文字は表示されませんが、消滅したわけではありません。移動などで見える位置に持ってくることができます。

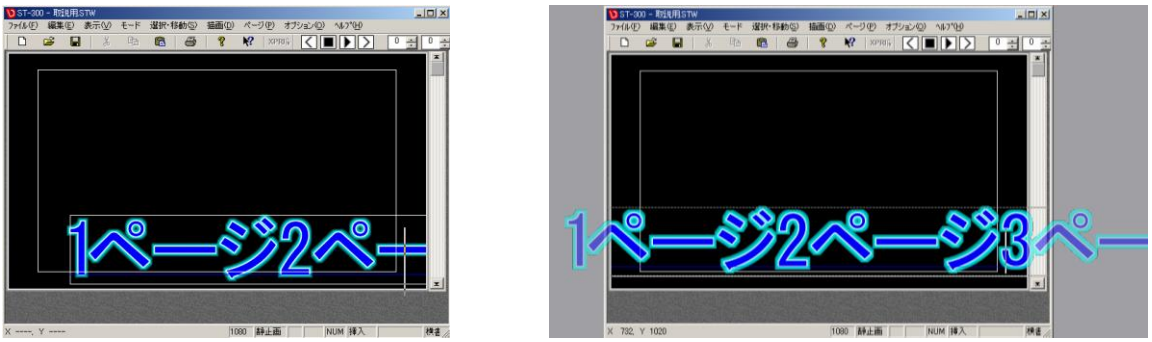


図 5-1-25　板テロップの画枠の外にある文字の処理

2)横ロール

文字が画枠の右端を越えて入力、移動されると、自動的に改ページされ、前ページからはみ出した文字は次ページに送られます。

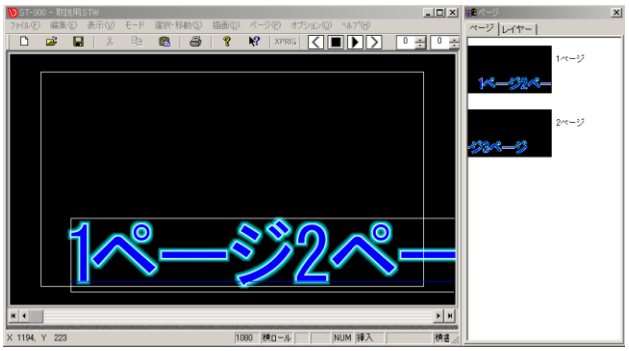


図 5-1-26　板テロップの画枠の外にある文字の処理

3)縦ロール

文字が画枠の下端を越えて入力、移動されると、自動的に改ページされ、前ページからはみ出した文字は次ページに送られます。

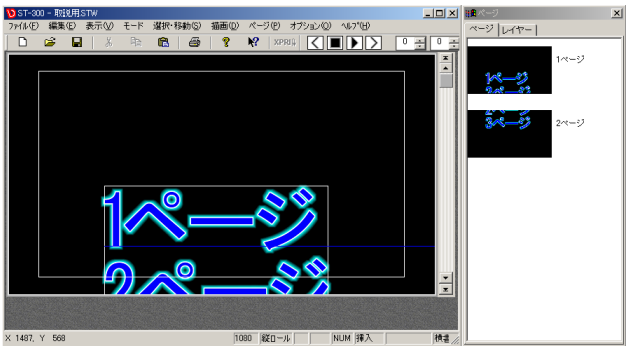


図 5-1-27　板テロップの画枠の外にある文字の処理

(9)図形入力

1)描画する図形を、図形ツールバーまたは描画メニューから選択します。

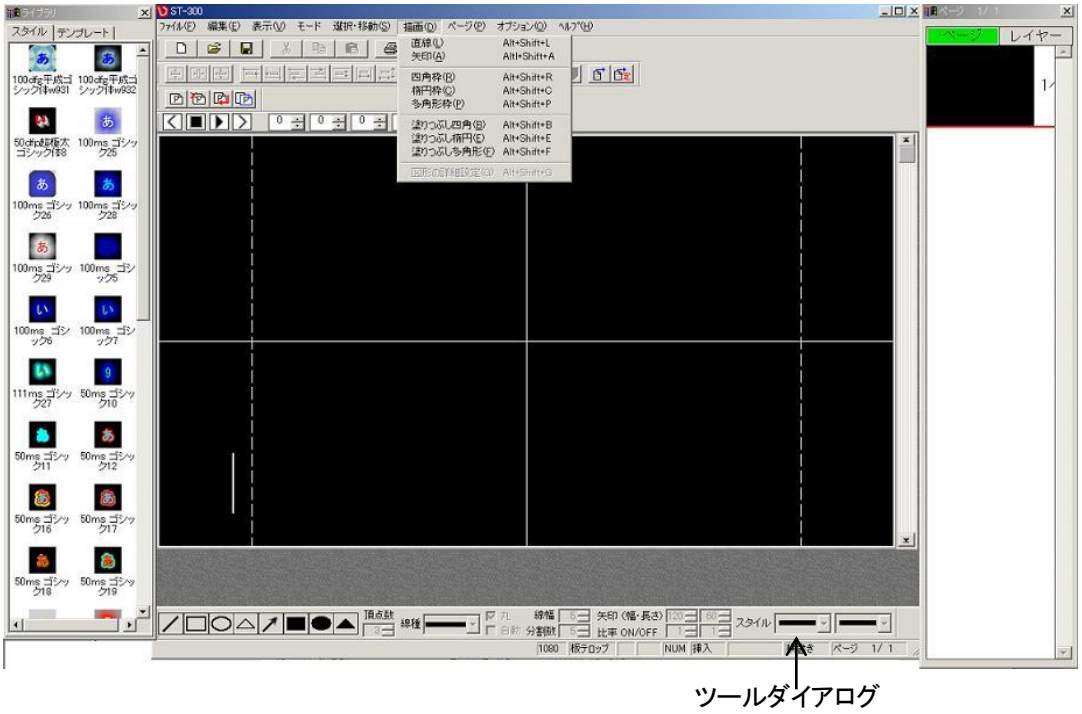


図 5-1-28　図形の入力

・・・・・・・・ 直線を描画するモードです。

・・・・・・・・ 矢印付き直線を描画するモードです。

・・・・四角 (枠／ベタ)を描画するモードです。

・・・・楕円 (枠／ベタ)を描画するモードです。

・・・・多角形(枠／ベタ)を描画するモードです。

2）図形ツールバーまたは「描画」→「図形の詳細設定」（描画する図形を選択したあとに選択できます。）
で図形の詳細を設定します。

図 5-1-29　図形属性の入力

「頂点の数」・・・・・・多角形の頂点の数を設定します。

「丸」・・・・・・・・・・・・直線、四角の角を丸く設定します。

「線種」・・・・・・・・・・線の種類を設定します。（直線、破線）

「始点スタイル」・・・矢印の始点スタイルを設定します。

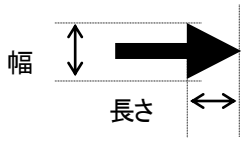
「終点スタイル」・・・矢印の終点スタイルを設定します。

「自動」・・・・・・・・・・矢印のサイズを自動で設定します。

「線幅」・・・・・・・・・・線の幅を設定します。

「分割数」・・・・・・・・破線を描画の際に分割数を設定します。

「矢印(幅・長さ)」・・矢印のサイズ(幅、長さ)を設定します。



「比率ON/OFF」・・・破線の実線と空白部分の比率を設定します。

ON ・・・・・・破線の実践部分

OFF・・・・・・破線の空白部分

分割数・・・破線の分割数

3）スタイルダイアログで色を設定します。

描画色・・・・・・スーパータブを使用します。

エッジの色・・・エッジタブを使用します。

その他は、文字の色の設定と同じです。

※「P-23　14.スタイルダイアログ」をご参照ください。

4）画枠上をドラッグして図形を描画します。

①直線または破線、矢印付き直線

始点から終点をマウスでドラッグします。ドラッグしている間は点線が表示されます。

Shiftキーを押しながらドラッグすると水平／垂直、45度単位の直線が作成できます。

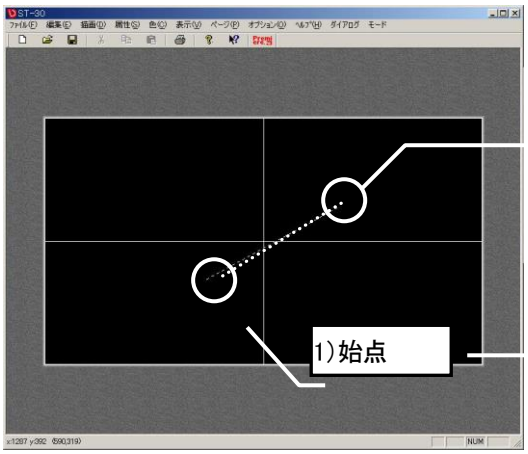


図 5-1-30　直線の描画状態（ドラッグ中）

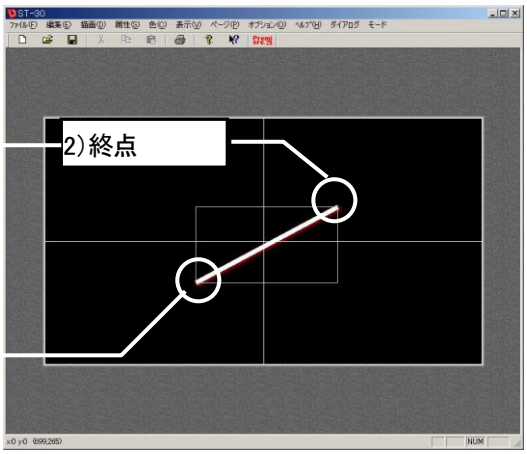


図 5-1-31　直線の描画状態（描画）

②楕円、四角形、多角形

描画領域をマウスでドラッグします。ドラッグ中は枠カーソルが点線で表示されます。

Shiftキーを押しながらドラッグすることで、正方形／正円／正多角形が作成できます。

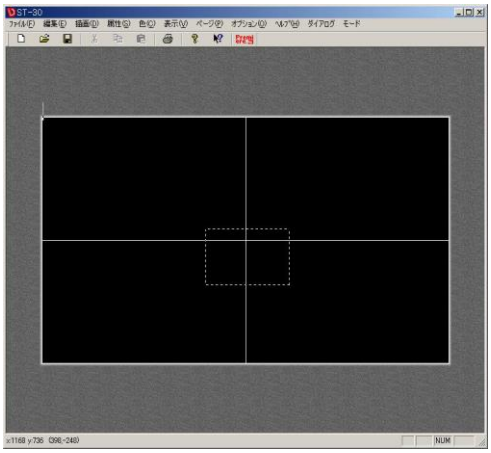


図 5-1-32　図形の描画状態（ドラッグ中）

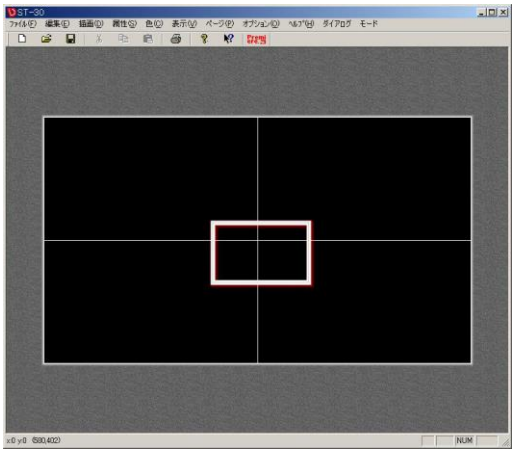


図 5-1-33　図形の描画状態（描画）

(10)イメージ入力

他のアプリケーションで作成したBMP、PICT、TIFF、PhotoShop(PSD)、TGA、PNG、JPEG 等のフォーマットイメージデータを取り込みます。

1)汎用イメージのインポート

①メニューから[ファイル]—[インポート]—[汎用イメージ]を選択します。

ファイル選択ダイアログが表示されます。

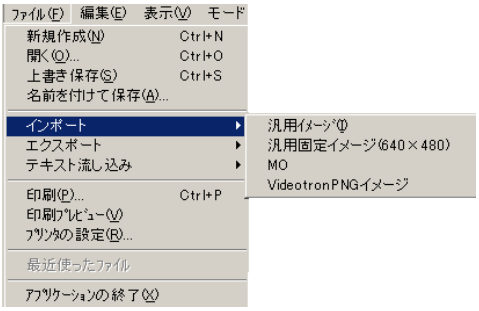


図 5-1-34 ファイルメニュー

②イメージデータの読み込みダイアログから、読み込むイメージファイルを選択します。

③ファイル名を選択して(複数選択可)、ダブルクリックするか[開く]ボタンを押します。

図 5-1-35 ファイル名の指定ダイアログ

④[イメージ読み込み方法]ダイアログが表示されます。

カスタマイズのイメージ読み込み設定で「イメージを読み込む時に読み込み方法の設定をしない」をONにしている場合はこの設定ダイアログは表示されません。(カスタマイズで設定した値が反映されます)

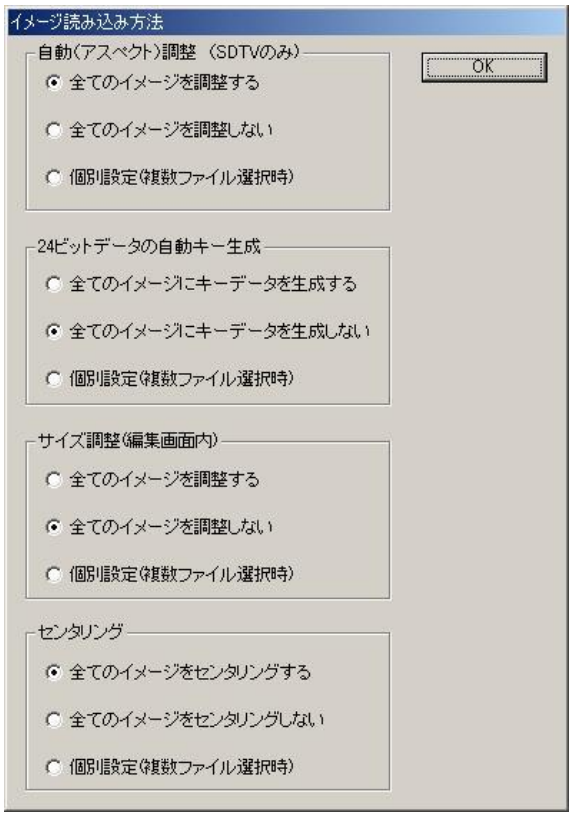


図 5-1-36 イメージ読み込み方法ダイアログ

⑤[アスペクト調整]、[自動キー生成]、[サイズ調整]、[センタリング]を設定し、[OK]を押します。

⑥[24 ビットデータの自動キー生成]の[個別設定]を選択すると、24 ビットのファイルを開く前に下図のダイアログが表示されます。

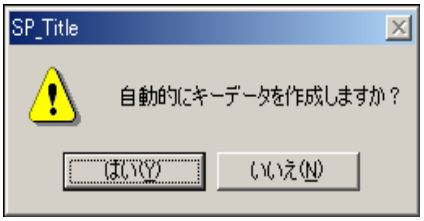


図 5-1-37 キーデータ作成ダイアログ

⑦D1、D2の場合のみ、[自動(アスペクト)調整]の[個別設定]を選択すると、下図のダイアログが表示されます。

図 5-1-38 イメージ調整ダイアログ

⑧[サイズ調整] の[個別設定]を選択すると、編集画面サイズ以上のイメージを開く前に下図のダイアログが表示されます。

図 5-1-39　サイズ調整ダイアログ

⑨[センタリング]の[個別設定]を選択すると、下図のダイアログが表示されます。

図 5-1-40　センタリングダイアログ

⑩以上の選択がおわると、画像データが読み込まれます。
現在表示しているページにイメージが貼り付けられます。

注意！

・PICT、TIFF、PSD、TGA、PNG、JPEGファイル形式のうち、ST-V5読み込み不可能な形式があります。
PICT、TIFF、PSD、TGA、PNG、JPEGファイルを作成するアプリケーションの取扱説明書でST-V5が対応している形式で出力できるかどうかをご確認ください。
※「P-133　(10) ST-V5のインポート、エクスポートイメージファイル」を参照ください。

・BMPファイルは、ほぼすべての形式に対応しています。上記の読み込みができない場合は
BMPファイルで受け渡しを行ってください。

2）VideotronPNG イメージのインポート

①メニューから[ファイル]—[インポート]－[VideotronPNG イメージ]を選択します。

ファイル選択ダイアログが表示されます。

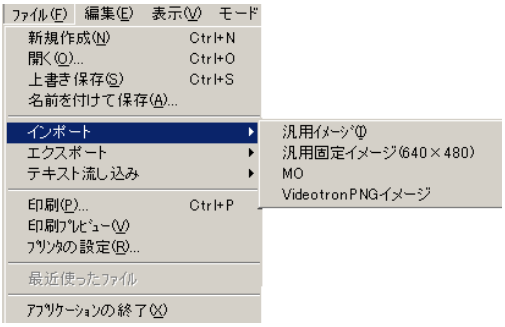


図 5-1-41　ファイルメニュー

②イメージデータの読み込みダイアログから、読み込むイメージファイルを選択します。

③ファイル名を選択して（複数選択可）、ダブルクリックするか[開く]ボタンを押します。

図 5-1-42　ファイル名の指定ダイアログ

④[イメージ読み込み方法]ダイアログが表示されます。

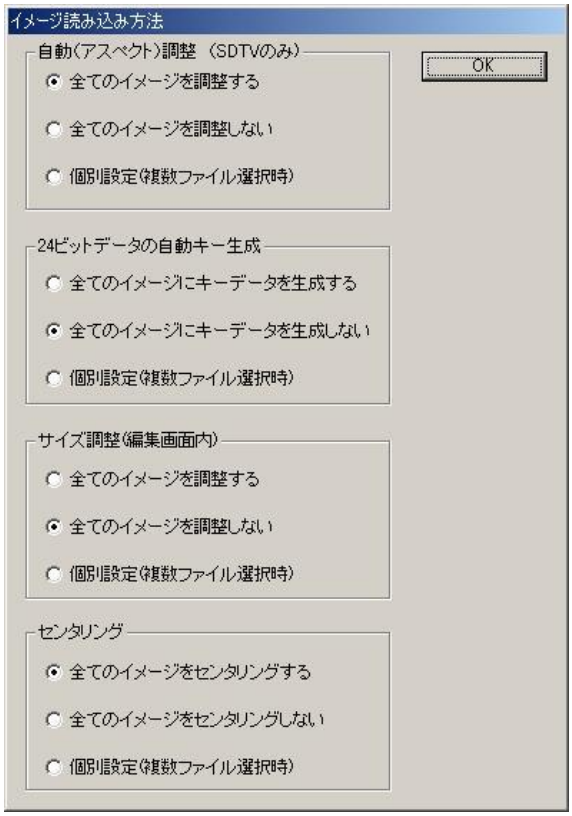


図 5-1-43 イメージ読み込み方法ダイアログ

⑤[アスペクト調整]、[自動キー生成]、[サイズ調整]、[センタリング]を設定し、[OK]を押します。

⑥[24 ビットデータの自動キー生成]の[個別設定]を選択すると、24 ビットのファイルを開く前に下図のダイアログが表示されます。

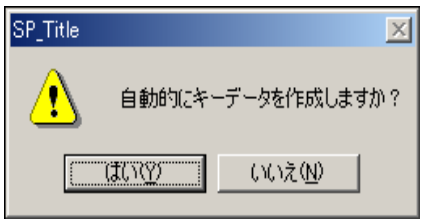


図 5-1-44 キーデータ作成ダイアログ

⑦D1、D2の場合のみ、[自動(アスペクト)調整]の[個別設定]を選択すると、下図のダイアログが表示されます。

図 5-1-45 イメージ調整ダイアログ

⑧[サイズ調整] の[個別設定]を選択すると、編集画面サイズ以上のイメージを開く前に下図のダイアログが表示されます。

図 5-1-46　サイズ調整ダイアログ

⑨[センタリング]の[個別設定]を選択すると、下図のダイアログが表示されます。

図 5-1-47　センタリングダイアログ

⑩以上の選択がおわると、画像データが読み込まれます。
現在表示しているページにイメージが貼り付けられます。

3) 汎用固定イメージ(640×480)のインポート

640×480 のイメージのみインポートできます。

①メニューから[ファイル]—[インポート]ー[汎用固定イメージ(640×480)]を選択します。

ファイル選択ダイアログが表示されます。

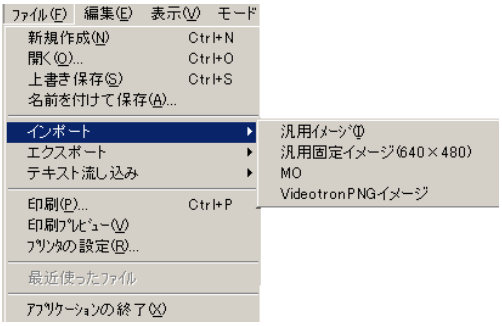


図 5-1-48 ファイルメニュー

②イメージデータの読み込みダイアログから、読み込むイメージファイルを選択します。

③ファイル名を選択して(複数選択可)、ダブルクリックするか[開く]ボタンを押します。

図 5-1-49 ファイル名の指定ダイアログ

④[イメージ読み込み方法]ダイアログが表示されます。

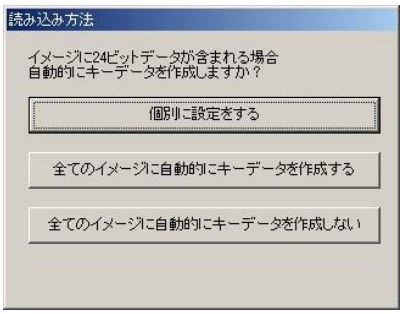


図 5-1-50 イメージ読み込み方法ダイアログ

⑤[24 ビットデータの自動キー生成]の[個別設定]を選択すると、24 ビットのファイルを開く前に下図のダイアログが表示されます。

図 5-1-51 キーデータ作成ダイアログ

⑥以上の選択がおわると、編集画面のサイズによって拡大したイメージ読み込まれます。

・D1の場合 ・・・・　　640×480 → 720× 486

・D2の場合 ・・・・　　640×480 → 786× 486

・16:9の場合 ・・・　　640×480 → 640× 480

・1080iの場合・・・　　640×480 → 640*(1080/480)×1080

・720pの場合 ・・・640×480 → 640*(720/480)×720

現在表示しているページの中央にイメージが貼り付けられます。

注意！

・PICT、TIFF、PSD、TGA、PNG、JPEGファイル形式のうち、ST-V5読み込み不可能な形式があります。
PICT、TIFF、PSD、TGA、PNG、JPEGファイルを作成するアプリケーションの取扱説明書でST-V5が対応している形式で出力できるかどうかをご確認ください。

・BMPファイルは、ほぼすべての形式に対応しています。上記の読み込みができない場合はBMPファイルで受け渡しを行ってください。

●自動(アスペクト)調整 （SDTV のみ）

・全てのイメージを調整する

アスペクト調整のためにイメージを引き伸ばします。その処理により、編集画面及び送出イメージは
アスペクトが保たれて表示します。

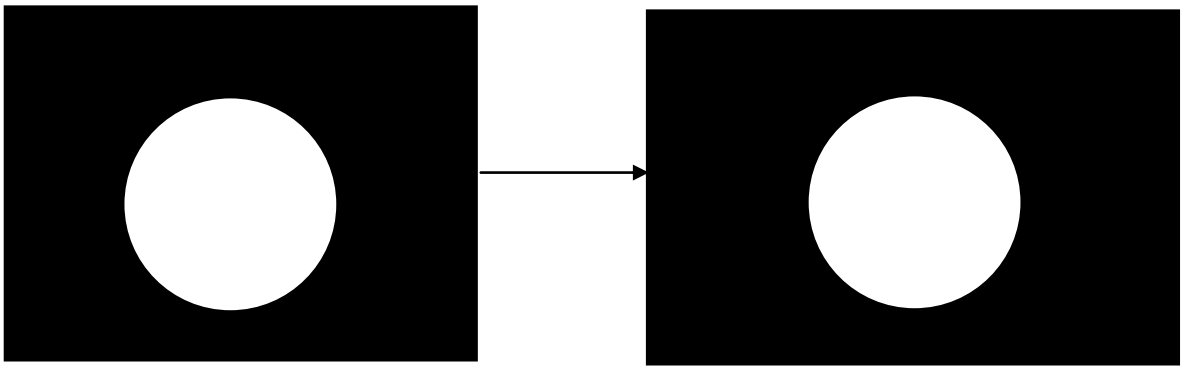
・全てのイメージを調整しない

アスペクト調整を行わない為、編集画面及び送出イメージは縦長に表示されます。

・個別設定(複数ファイル選択時)

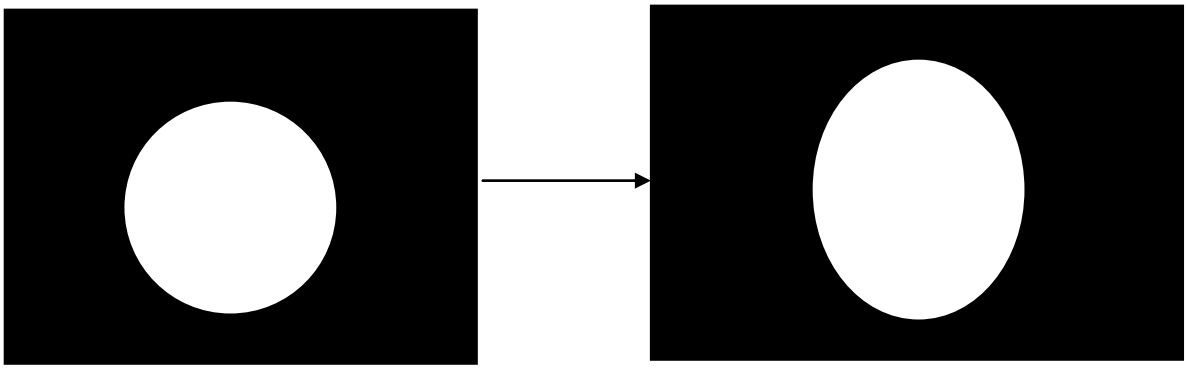
個別に自動(アスペクト)調整を設定できます。

※アスペクト調整有り



真円イメージ　　編集画面上

※アスペクト調整無し



真円イメージ　　編集画面上

図 5-1-52 アスペクト調整

●24 ビットデータの自動キー生成

・全てのイメージにキーデータを生成する

カラー側のカラーデータから輝度計算をして、それをキーデータとして扱います。

・全てのイメージにキーデータを生成しない

全面キーとして扱います。

・個別設定(複数ファイル選択時)

個別に自動キー生成を設定できます。

●サイズ調整(編集画面内)

・全てのイメージを調整する。

編集画面以上のイメージの場合、縦横比を保ったまま、イメージを編集画面内に収めます。

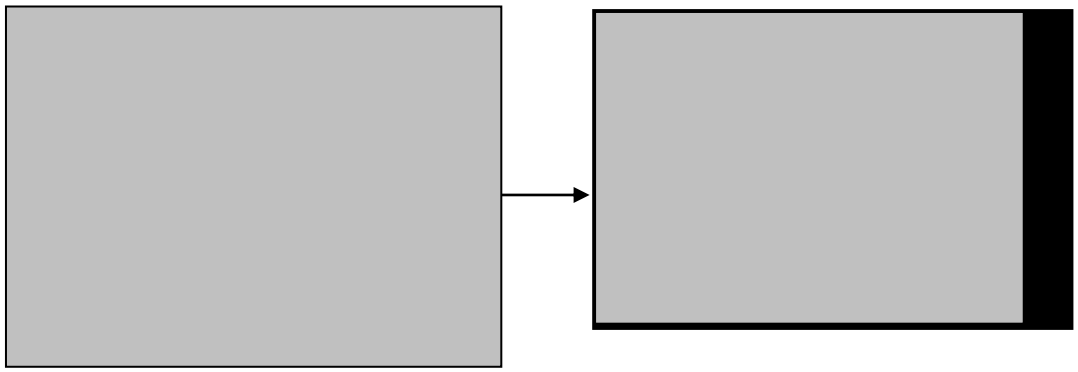
・全てのイメージを調整しない。

イメージサイズそのまま読み込みます。

・個別設定(複数ファイル選択時)

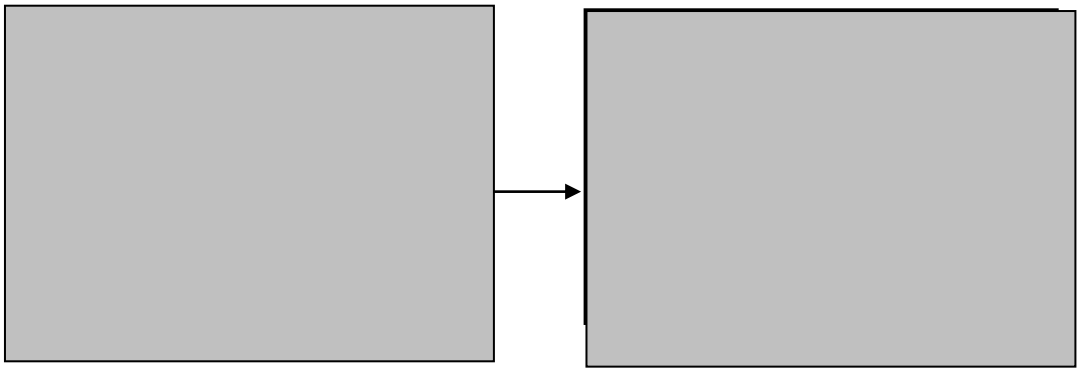
個別にサイズ調整を設定できます。

※サイズ調整有り



編集画面サイズ以上のイメージ　　編集画面上

※サイズ調整無し



編集画面サイズ以上のイメージ　　編集画面上

図 5-1-53 サイズ調整

4）Photoshop(.PSD)ファイルのレイヤー読み込み

Adobe Photoshopアプリケーションで作成されたレイヤー付きPhotoshopファイル(.PSD)を読み込むことができます。Photoshopで作成されたイメージのレイヤー構成はST-V5上で再現することができ、レイヤーごとの移動、サイズ変更、エッジなどの装飾を行うことができます。

メニューから[ファイル]-[インポート]の[汎用イメージ]か[汎用固定イメージ(640x480)]を選択、またはテロップウインドウにファイルをドラッグ＆ドロップしてPhotoshopファイル(.PSD)を読み込みます。

①PSDファイルの仕様

- 背景およびレイヤー、テキストレイヤーのイメージを読み込むことができます。
- テキストレイヤーはラスタライズされていない状態でもイメージとして読み込むことが可能です。
- アルファチャンネル、レイヤーマスク、カラーレベルの設定がST-V5上で反映されます。
- 非表示にされているレイヤーはST-V5上で非表示に設定されます。

【制限機能】

- テキストレイヤーのイメージは読み込めますがテキストの編集は行えません。
- レイヤー効果はST-V5上では反映されません。
- レイヤーセットされたレイヤーの読み込みは可能ですがレイヤーセットの情報は反映しません。
- レイヤー効果、レイヤースタイルはST-V5上では反映されません。※1
- 調整レイヤーまたは塗りつぶしレイヤーはST-V5上では反映されません。※1
- Photoshop形式保存のオプション設定で「互換性を優先」をOFFにして保存されたファイルは統合したイメージとして読み込むことができません。※2

※1 統合したイメージとして読み込みが可能

※2 レイヤーイメージとして読み込みが可能

②PSDファイル読み込み時の動作

ST-V5でレイヤー付きPhotoshopファイルを読み込むとレイヤーを読み込むかを選択するダイアログが表示されます。はいを選択するとレイヤー情報が読み込まれます。いいえを選択すると統合された一枚の統合されたイメージとして読み込むことができます。

図 5-1-54 レイヤー読み込みダイアログ

※カスタマイズのイメージ読み込み設定で「レイヤーがあるPSDイメージをイメージを読み込む時に読み込み方法の設定をしない」をONにしている場合はこの設定メニューは表示されません。(カスタマイズで設定した値が反映されます)

1. Photoshop上でのレイヤーデータ

Photoshopのレイヤーパレットを使用してレイヤーイメージまたはレイヤーテキストを作成します。

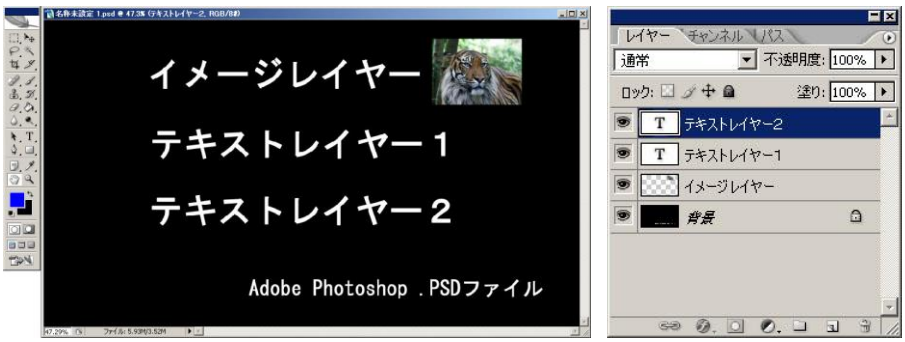


図 5-1-55 Photshop

2. ST-V5上でのレイヤーデータ

ST-V5上でPhotoshopファイルを読み込むとレイヤー単位でポジションの調整、サイズ調整、エッジ装飾などが行えます。

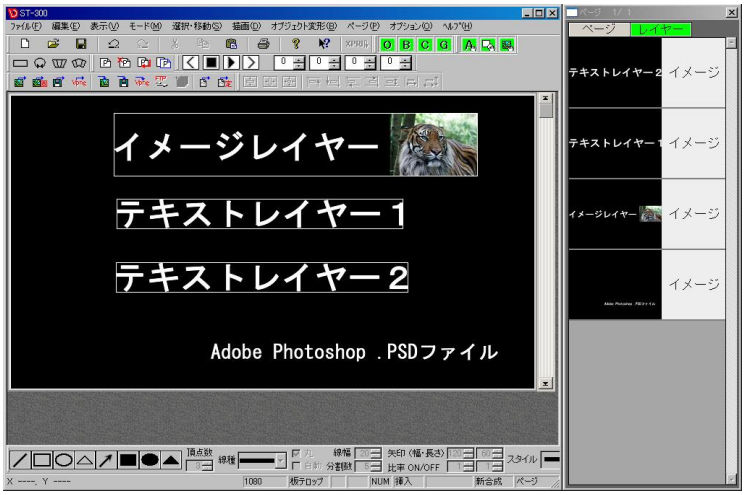


図 5-1-56 レイヤー読み込み

(11)テンプレート枠の作成

1)テンプレート枠の働き

テンプレート枠は、対応した送出アプリケーションでテンプレート枠内に設定したスタイルで自動文字生成、送出できる機能です。

※テンプレート枠でのスタイル設定は文字ごとには行うことができません。

※テンプレート枠内に文字の入力は行なえますが、送出アプリケーションでテンプレート枠内に入力した文字は送出されません。

※送出アプリケーションによりスタイルに制限がある場合があります。詳細は付属の「送出アプリケーション取扱説明書」または「システム取扱説明書」をご確認ください。

2)テンプレート枠の描画方法

①スタイルダイアログ上で、テンプレート枠内に設定する文字の属性をすべて設定します。

②テンプレートツールのテンプレート作成アイコン を選択します。

③編集画面上でマウスをドラッグします。

ドラッグ中は枠カーソルが点線で表示されます。

④テンプレート枠が作成されます。

図 5-1-57 テンプレート枠の描画状態(ドラッグ中)

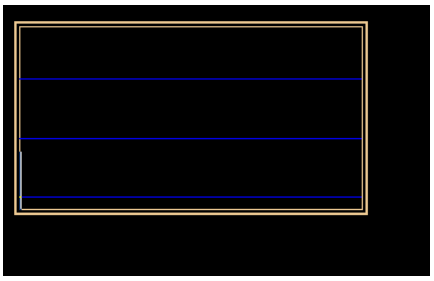


図 5-1-58 テンプレート枠

3)テンプレート枠の名前変更

テンプレート枠の名前は対応した送出アプリケーションの送出仕様にあわせた名前を設定します。

①テンプレート枠を選択します。

②右クリックメニューから[テンプレート枠名変更]を選択します。

③名称変更ダイアログが表示されますので、名称を入力し「OK」を選択します。

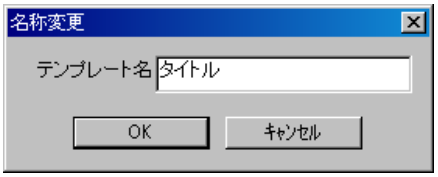


図 5-1-59 名称変更ダイアログ

④テンプレート枠の左上に名前が表示されます。

図 5-1-60 テンプレート枠

4)テンプレート枠の縦位置(横位置)の変更

①テンプレート枠を選択します。

②右クリックメニューから[縦位置]-[上詰]、または[下詰]を選択します。

（縦書き時は[横位置]-[左詰]、または[右詰]を選択します）

上詰・・・テンプレート枠の上を基準に文字を並べます。

下詰・・・テンプレート枠の下を基準に文字を並べます。

左詰・・・テンプレート枠の左を基準に文字を並べます。

右詰・・・テンプレート枠の右を基準に文字を並べます。

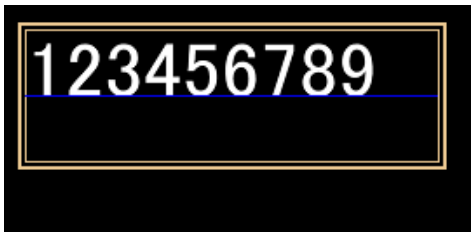


図 5-1-61 上詰

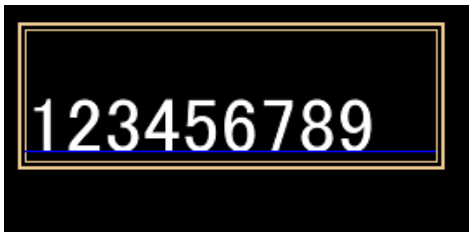


図 5-1-62 下詰

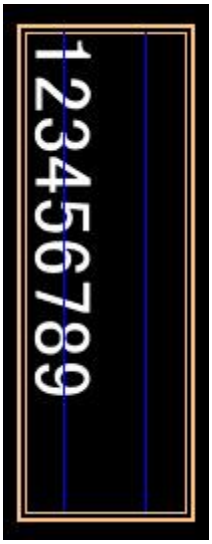


図 5-1-63 左詰

図 5-1-64 右詰

2. 編 集

(1)選択

1)単独選択

①マウスでドラッグして選択する場合。

オプション→カスタマイズ→一般のメニュー内で、「選択方法」を設定、確認します。

設定内容により、選択方法が異なります。

※詳細は「P-140 (3)カスタマイズ」をご参照ください。

「選択範囲に引っかかっているものすべて」に設定されている場合、マウスでドラッグした範囲に引っかかっている文字、図形、イメージはすべて選択されます。

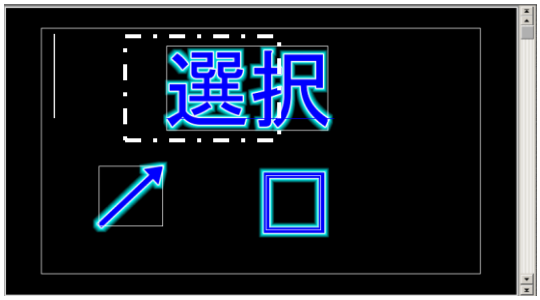


図 5-2-1 マウスドラッグの範囲

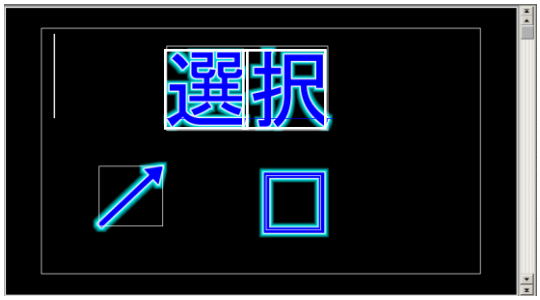


図 5-2-2 選択された文字

「選択範囲内に入っているもの」に設定されている場合、オブジェクト全体がマウスでドラッグした範囲内に入っているものすべてを選択します。

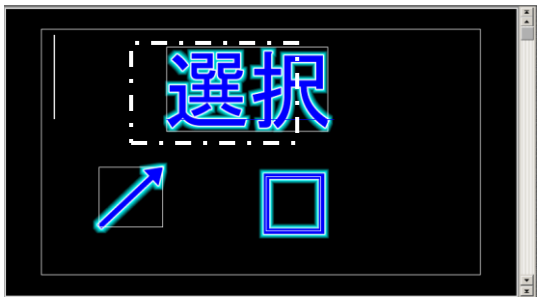


図 5-2-3 マウスドラッグの範囲

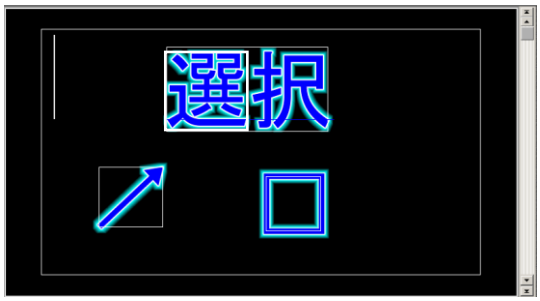


図 5-2-4 選択された文字

②オブジェクト内でダブルクリックして選択する場合

オブジェクトの中にカーソルを合わせ、ダブルクリックします。

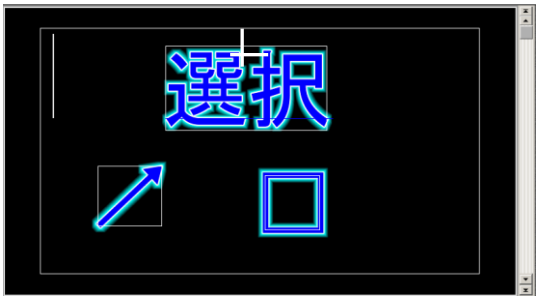


図 5-2-5 ダブルクリックの場所

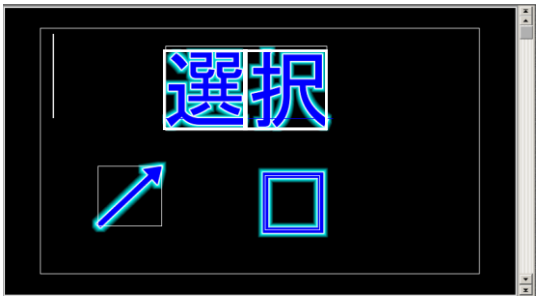


図 5-2-6 選択されたオブジェクト

2）文字・図形・イメージの複数選択

①マウスでドラッグして選択する場合。

オプション→カスタマイズ→一般のメニュー内で、「選択方法」を設定、確認します。

設定内容により、選択方法が異なります。

※詳細は「P-140　(3)カスタマイズ」をご参照ください。

「選択範囲に引っかかっているものすべて」に設定されている場合、マウスでドラッグした範囲に引っかかっている文字、図形、イメージはすべて選択されます。

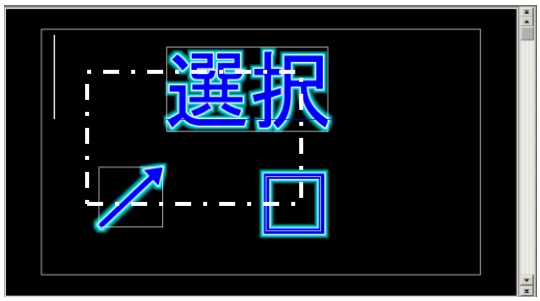


図 5-2-7　マウスドラッグの範囲

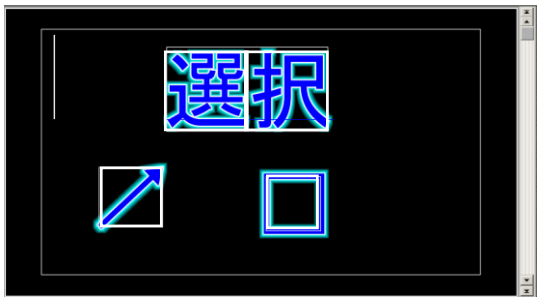


図 5-2-8　選択された文字とオブジェクト

「選択範囲内に入っているもの」に設定されている場合、オブジェクト全体がマウスでドラッグした範囲内に入っているものすべてを選択します。

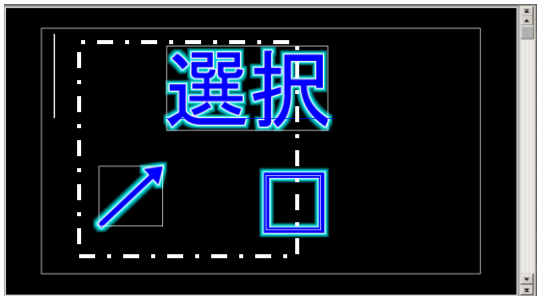


図 5-2-9　マウスドラッグの範囲

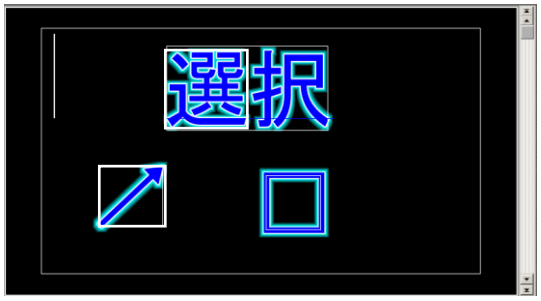


図 5-2-10　選択された文字とオブジェクト

②オブジェクトを1つずつ選択する場合

Ctrlキーを押しながら選択したい対象物を1つずつダブルクリックします。

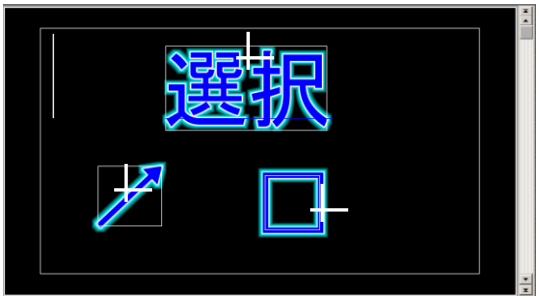


図 5-2-11　分散したオブジェクトの選択方法

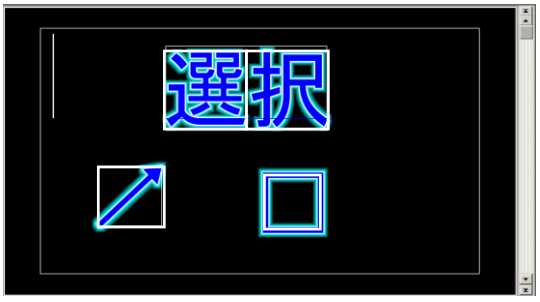


図 5-2-12　分散したオブジェクトの選択方法

③グループ化されたオブジェクトの選択

選択したいグループ内にあるオブジェクト上でダブルクリックします。

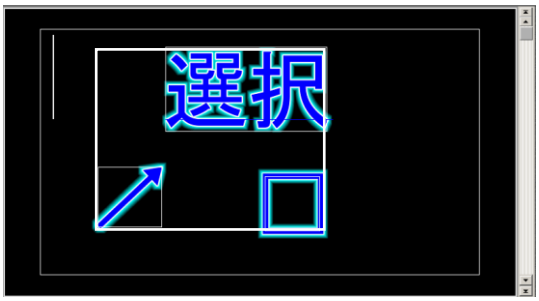


図 5-2-13 グループ選択

※グループ化についての詳細は、「P-96 (4)グループ化」を参照ください。

(2)切り取り (コピー)と貼り付け

文字／イメージ／図形を切り取りまたはコピーし、別の場所へ貼り付けます。

1)文字、イメージ、図形を選択します。

2)コピーまたは切り取りを行ないます。コピー、切り取りの方法は下記のいずれかを実行します。

- 編集ツールのコピー(切り取り)を選択します。
- 右クリックメニューから[コピー]、[切り取り]を選択します。
- [Ctrl + C]※、または[Ctrl + X]※を選択します。

※キーボードショートカットが「STデフォルト設定」の場合に有効な入力操作です。

3)コピーまたは切り取った文字を挿入する場合は 挿入箇所にカーソルを移動させます。

4)貼り付けを行います。貼り付けの方法は下記のいずれかを実行します。

- 編集ツールの「貼り付け」を選択します。
- 右クリックメニューから[貼り付け]を選択します。
- [Ctrl + V]※を選択します。

新規作成後もデータを貼り付けることができます。

※キーボードショートカットが「STデフォルト設定」の場合に有効な入力操作です。

(3)テキストコピーと貼り付け

文字のテキスト部分をコピーし、別の場所へ貼り付け時のスタイルデータで貼り付けます。

1)文字を選択します。

2)右クリックメニューの[テキストコピー]を選択します。

3)コピーした文字を挿入する場合は挿入箇所にカーソルを移動させ、スタイルを設定します。

4)貼り付けを行います。貼り付けの方法は下記のいずれかを実行します。

- 編集ツールの「貼り付け」を選択します。
- 右クリックメニューから[貼り付け]を選択します。
- [Ctrl + V]※を選択します。

※キーボードショートカットが「STデフォルト設定」の場合に有効な入力操作です。

(4)グループ化

文字／図／イメージをグループ化できます。

グループ化することにより、レイアウトを崩さずに移動できます。

1)グループ化したい対象を選択します。※選択の方法は「P-93 (1)選択」をご参照ください。

選択された対象にはボックスカーソルが表示されます。

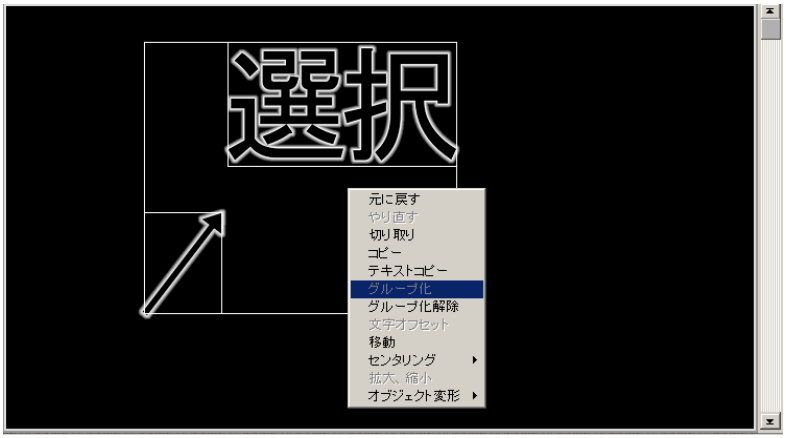


図 5-2-14 グループ化

2)マウス右クリックメニューの[グループ]を選択します。

グループ枠が表示され、グループ化されます。

注意！ 連結オブジェクトデータのグループ化を行うことはできません。

(5)グループ化解除

グループ化を解除して文字／図／イメージがばらばらに移動できるようになります。

1)グループ化しているオブジェクトを選択します。

2)マウス右クリックメニューの[グループ化解除]を選択します。

注意！ 連結オブジェクトデータはグループ化の解除を行うことはできません。

(6)UNDO 機能

元に戻す…直前に実行したコマンドの取り消しや、直前に入力した項目を削除します。

やり直し…[元に戻す]で取り消した操作を元に戻します。

注意！ UNDO機能がOFFの場合、この機能を使用することができません。

※詳細は「P-141 ●一般」をご参照ください。

(7)ページメニュー

ページの新規作成、移動を行ないます。

ページダイアログでの操作と同じ操作になります。

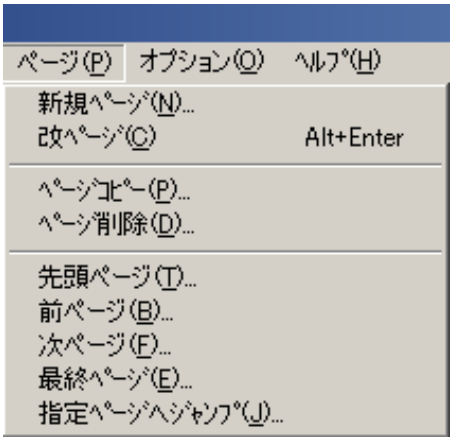


図 5-2-15 ページメニュー

1)新規ページ

下図のダイアログで追加する場所を設定し、新規ページを作成します。

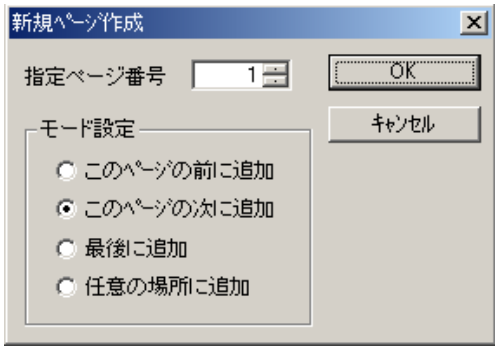


図 5-2-16 新規ページ作成ダイアログ

2)改ページ

次のページを作成します。

3)ページコピー

下図のダイアログでコピー方法を設定します。

図 5-2-17 ページコピー

・貼り付け・・・ コピー回数は1回のみで、変更はできません。

・挿入・・・・・・・ コピー回数1回から10回までを設定できます。

4)ページ削除

下図のダイアログで削除するページを指定し、OKをクリックします。

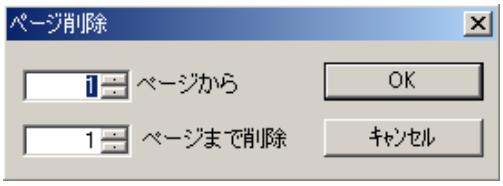


図 5-2-18　ページ削除

5)先頭ページへ

先頭ページへ移動します。

6)前ページへ

前のページへ移動します。

7)次ページへ

後のページへ移動します。

8)最終ページ

最終ページへ移動します。

9)指定ページへジャンプ

ページを指定して移動します。

(8)オブジェクト変形

オブジェクト変形を設定します。

オブジェクト変形の設定方法には、マウスでの設定方法、右メニューでの設定方法の2通りがあります。

注意！文字オブジェクトのみ変形できます。

斜体がかかった文字はオブジェクト変形できません。

図形、イメージは未対応です。

1)マウス設定

①変形解除

オブジェクト変形を解除します。

・変形ツールバーの を選択します。

・変形解除したいオブジェクトをクリックします。

オブジェクト変形が解除されます。

②回転

オブジェクトを、先頭のベースラインの起点を中心に回転を行います。

・変形ツールバーの を選択します。

・回転させたいオブジェクトの上でマウスをドラックすると、ベースラインが カーソルに追従します。

Shiftキーを押しながらドラックすることで、45度ずつ回転します。

図5-2-19 回転設定中

・マウスのボタンを離すと、その角度で回転がかかったオブジェクトが再描画されます。

図5-2-20 オブジェクト変形：回転

②パース

オブジェクトを、パースのかかったように見せることができます。

・変形ツールバーの を選択します。

・パースをかけたいオブジェクトの上で横書きの場合は縦方向に、

縦書きの場合は横方向にマウスをドラックすると、枠がマウスに追従します。

Shiftキーを押しながらドラックすることで、20%ずつ回転します。

図5-2-21　パース設定中

・マウスのボタンを離すと、パースがかかったオブジェクトが再描画されます。

図5-2-22　オブジェクト変形：パース

③扇

オブジェクトを、円弧状に配置することができます。

・変形ツールバーの を選択します。

・扇をかけたいオブジェクトの上でドラッグします。

マウスに追従して、オブジェクト枠が円弧状の曲線に変化します。

Shiftキーを押しながらドラックすることで、20%ずつ回転します。

図5-2-23　扇設定中

・マウスのボタンを離すと、扇のかかったオブジェクトが再描画されます。

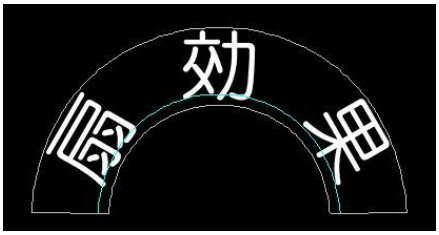


図5-2-24　オブジェクト変形：扇

2)右メニュー設定

①変形解除

・変形解除したい文字を選択します。※選択の方法は「P-93 (1)選択」をご参照ください。

・マウスを右クリックして、メニューから[オブジェクト変形]－[変形解除]を選択します。

・下図のダイアログが表示されるので、[OK]を選ぶと、オブジェクト変形が解除されます。

図5-2-25 変形解除ダイアログ

②回転

・回転を設定したい文字を選択します。※選択の方法は「P-93 (1)選択」をご参照ください。

・マウスを右クリックして、メニューから[オブジェクト変形]－[回転]を選択します。

・下図のダイアログが表示されるので、設定したい回転率(0～360)を入力し[OK]を選ぶと、その角度で回転がかかったオブジェクトが再描画されます。

図5-2-26 回転率設定ダイアログ

③パース

・パースを設定したい文字を選択します。※選択の方法は「P-93 (1)選択」をご参照ください。

・マウスを右クリックして、メニューから[オブジェクト変形]－[パース]を選択します。

・下図のダイアログが表示されるので、設定したいパースの変化率(-100～100)を入力し[OK]を選ぶと、パースがかかったオブジェクトが再描画されます。

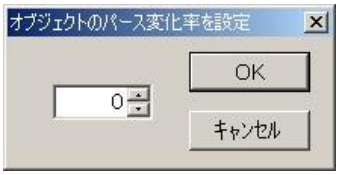


図5-2-27 パース変化率設定ダイアログ

④扇

・扇を設定したい文字を選択します。※選択の方法は「P-93 (1)選択」をご参照ください。

・マウスを右クリックして、メニューから[オブジェクト変形]－[扇]を選択します。

・下図のダイアログが表示されるので、設定したい扇の変化率(-100～100)を入力し[OK]を選ぶと、扇のかかったオブジェクトが再描画されます。

図5-2-28 扇変化率設定ダイアログ

3. 削　除

（1）選択した文字／図形／イメージの削除

1）削除対象をマウスで選択します。※選択の方法は「P-93　（1）選択」をご参照ください。

2）Deleteキー、またはBackspaceキーを押すと対象物が削除されます。

（2）入力モードでの文字の削除

1）削除したい文字の後ろ、又は前にカーソルを移動させます。

（文字と文字の間にカーソルが表示されます。）

2）Backspaceキーを押すと1つ前の文字、Deleteキーを押すと1つ後ろの文字が削除されます。

4. 移 動

移動はオブジェクト、またはグループごとです。

注意！グリッドについてグリッド設定の方法は「P-150 ●マーカー/グリッド」をご参照ください。

①移動する最小値はグリッドで指定した値になります。

②グリッド値の変更はメニューから[オプション]－[グリッド幅]を選択し、グリッド幅を入力します。

③グリッドは、メニューの[表示]－[グリッド]を選択すると表示されます。

(1)マウスドラッグ＆ドロップによる移動

1)移動したい対象を選択します。※選択の方法は「P-93 (1)選択」をご参照ください。

※選択された対象にはボックスカーソルが表示されます。

2)ボックスカーソルで選択されている対象をドラッグします。

3)ドロップした位置に移動します。Shiftキー押しでドラッグ＆ドロップした場合は1つのオブジェクトが移動します。

(2)キーボードの十字キーによる移動

選択されたオブジェクト内にマウスカーソルがある場合は移動できません。

1)移動したい対象をマウスで選択します。

※選択された対象にはボックスカーソルが表示されます。

2)十字キーを押すと、現在設定されている級数の幅ずつ、Shiftキーを押しながら十字キーを押すと、1ドットずつ移動をします。

(3)右クリックメニューによる移動

1)移動したい対象をマウスで選択します。

※選択された対象にはボックスカーソルが表示されます。

2)右クリックメニューの[移動]を選択します。

3)移動ダイアログが表示されるので、X・Yの移動値をドット単位で入力して[OK]を選ぶと選択したオブジェクトが移動します。

図 5-4-1 移動ダイアログ

5. 属性の変更

属性変更は、必ず変更するものを選択してから設定の変更を行ってください。

(1)文字の属性の変更

1)変更したい文字をマウスで選択します。

2)「スタイルダイアログ」を操作することで変更できます。

スタイルダイアログの詳細は「P-23　14. スタイルダイアログ」をご参照ください。

(2)図形の属性の変更

1)スタイルダイアログでの変更

①変更したい図形をマウスで選択します。

②「スタイルダイアログ」を操作することで変更できます。

スタイルダイアログの詳細は「P-23　14. スタイルダイアログ」をご参照ください。

2)図形ツールバーでの変更

①変更したい図形をマウスで選択します。

②「図形ツールバー」を操作することで図形の詳細が変更できます。

図形ツールバーの詳細は「P-44　15. 図形ツールバー」をご参照ください。

(3) 文字オフセットの変更

文字オフセットの変更は、右クリックメニューでの変更、キーボードの十字キーでの変更、[スタイルダイアログ]での変更の3通りがあります。

図 5-5-1 オフセット実行前

図 5-5-2 オフセット実行後

1)右クリックメニューでの変更

①変更したい文字をマウスで選択します。※選択の方法は「P-93 (1)選択」をご参照ください。

②マウスを右クリックしてメニューを表示させます。

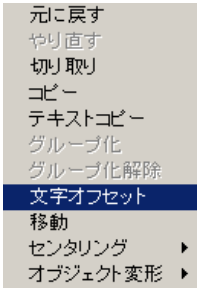


図5-5-3 右クリックメニュー

③メニューから[文字オフセット]を選択し、文字オフセットダイアログを表示します。(図 5-5-4)

④文字オフセットダイアログでX・Yオフセット値を入力して[OK]を選ぶとベースラインからの文字オフセットが設定されます。

図 5-5-4 文字オフセット

2)キーボードの十字キーでの変更

①変更したい文字をマウスで選択します。※選択の方法は「P-93 (1)選択」をご参照ください。

②Ctrl +十字キー※で上下左右に1ドットずつ移動します。

※キーボードショートカットが「STデフォルト設定」の場合に有効な入力操作です。

3)「スタイルダイアログ」での変更

図 5-5-5 スタイルダイアログ・レイアウト

①変更したい文字を選択します。※選択の方法は「P-93 (1)選択」をご参照ください。

②[スタイルダイアログ]の[OFFSET_X]、[OFFSET_Y]でX・Yオフセット値を入力します。

(4)行揃えの変更

1)行揃えを変更したい行をクリックし、テキストカーソルを表示させます。

2)[スタイルダイアログ]の で行揃えを変更します。

(5)文字のサイズ変更

各文字のサイズを変更します。

1)文字オブジェクトの上下左右、四隅付近にカーソルを移動させるとマウスカーソルの形が変化します。

(文字を選択状態にすると、選択された文字の最小サイズ部分の上下左右、四隅に四角枠が表示されます)

2)サイズ変更カーソルの状態でドラッグすることで文字の大きさを修正します。

3)Shiftキーを押しながら四隅をドラッグすることで元のアスペクト比(縦横比)を崩さず変形します。

グループ化されたオブジェクトは、現在の位置関係を保ったまま同率の拡大縮小が行なえます。

※文字の拡大縮小を行った場合は設定されているスタイルによって配置がずれることがあります。

(6)固定枠の枠サイズ変更

固定枠の枠サイズを変更します。

1)固定枠の左右の両端中央部分付近にカーソルを移動させるとマウスカーソルの形が⇔に変化します。

(固定枠を選択状態にすると、左右の両端中央に菱形のポイントが表示されます)

2)⇔カーソルの状態でドラッグすることで固定枠の枠の大きさを変更します。

3)固定枠の枠に沿って文字が再配置されます。

※縦書きの場合は上下の両端中央部分が枠サイズ変更ポイントになります。

またマウスカーソルの形状は になります。

(7)イメージ領域の変更

イメージの大きさを変更します。

1)イメージの上下左右、四隅付近にカーソルを移動させるとマウスカーソルの形が変化します。

(イメージを選択状態にすると、上下左右、四隅に四角枠が表示されます。)

2)サイズ変更カーソルの状態でドラッグすることでイメージの大きさを修正します。

3)Shiftキーを押しながら四隅をドラッグすることで元のアスペクト比(縦横比)を崩さず変形します。

グループ化されたオブジェクトは、現在の位置関係を保ったまま同率の拡大縮小が行なえます。

※文字の拡大縮小を行った場合は設定されているスタイルによって配置がずれることがあります。

(8)線と矢印の変更

入力後に線の始点と終点の位置を変更します。

1)始点または終点付近にカーソル移動させるとマウスカーソルの形が変化します。

(線、矢印を選択状態にすると、上下左右、四隅に四角枠が表示されます。)

2)サイズ変更カーソルの状態でドラッグすることで始点や終点の位置を修正します。

3)Shiftキーを押しながらドラッグすることで、水平または垂直、45度単位の設定ができます。

上下左右の拡大縮小の時はShiftキーを押しながらの拡大縮小はできません。

(9)図形(四角／楕円／多角形)の変更

入力後に図形の大きさを変更します。

1)図形の上下左右、四隅付近にカーソルを移動させるとマウスカーソルの形が変化します。
(図形を選択状態にすると、上下左右、四隅に四角枠が表示されます。)

2)サイズ変更カーソルの状態でドラッグすることで図形の大きさを修正します。

3)Shiftキーを押しながら四隅をドラッグすることで元のアスペクト比(縦横比)を崩さず変形します。
グループ化されたオブジェクトは、現在の位置関係を保ったまま同率の拡大縮小が行なえます。
※文字の拡大縮小を行った場合は設定されているスタイルによって配置がずれることがあります。

(10)右クリックメニューによる図形、イメージ領域の変更

入力後に図形、イメージの大きさを数値で変更します。

1)大きさを変更したい図形、イメージをマウスで選択します。
※選択された対象にはボックスカーソルが表示されます。

2)右クリックメニューの[拡大、縮小]を選択します。

3)拡大、縮小ダイアログが表示されるので、幅、高さの比率を設定し[OK]を押すと選択した図形、イメージの大きさが変更されます。
[縦横比を固定]にチェックマークをつけると、元のアスペクト比(縦比)を崩さず大きさを変更できます。

図 5-5-6 拡大、縮小ダイアログ

(11)エッジの変更

入力後に文字のエッジを変更します。

1)変更したい対象をマウスで選択します。※選択の方法は「 P-93 (1)選択」をご参照ください。

2)「スタイルダイアログ」のエッジ、シャドウを設定します。

(12)スーパー／エッジ KEY レベル

スーパー／エッジKEYのレベルを変更します。

1)変更したい対象をマウスで選択します。※選択の方法は「 P-93 (1)選択」をご参照ください。

2)「スタイルダイアログ」のキーレベルを変更します。

6. 着 色

(1)単 色

1)文字、図形、イメージを単色で着色できます。

①変更したい対象を選択します。※選択の方法は「 P-93 (1)選択」をご参照ください。

②スタイルダイアログのパーツリストから変更を行うスーパーまたはエッジをクリックします。

（下図囲み②）

③色を選択します。選択方法は以下の3つがあります。

・カラーパレットまたはスペクトルパレットからクリックする。

・RGB、HLSに直接数値を入力し色を設定する。

・スポイトでテロップ画面上の色を取得する。

設定した色は、「現在の設定色」部分に表示されます。

※イメージのスーパーの色に白を設定した場合、イメージのオリジナルの色が設定されます。

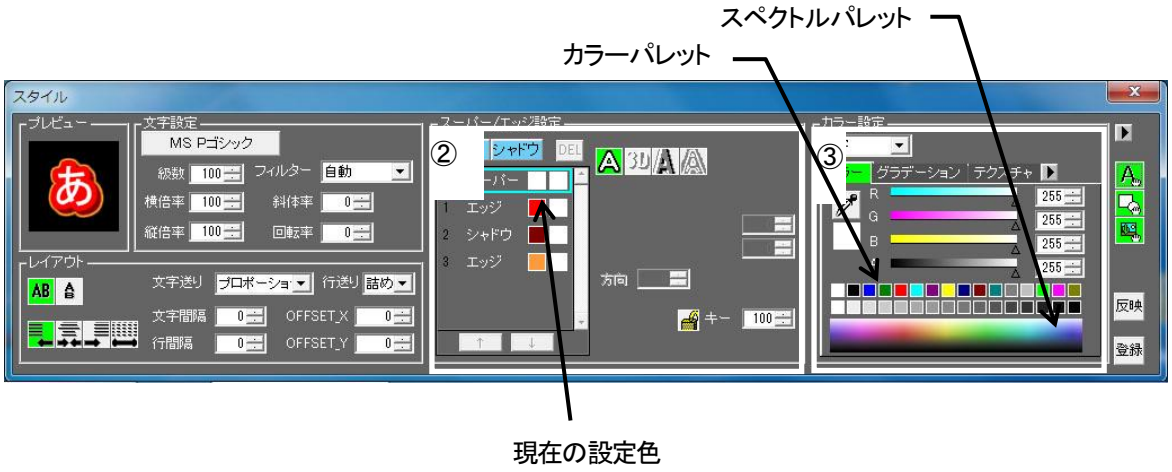


図 5-6-1 スタイルダイアログ

(2)グラデーション

1)文字、図形、イメージをグラデーションで着色できます。

①変更したい対象をマウスで選択します。

②スタイルダイアログのパーツリストから変更を行うスーパーまたはエッジをクリックします。

③文字ごとにグラデーションを貼り付けるか、オブジェクト全体かを選択します。

④グラデーションの リスト ボタンを押すと、グラデーションリストが表示されます。

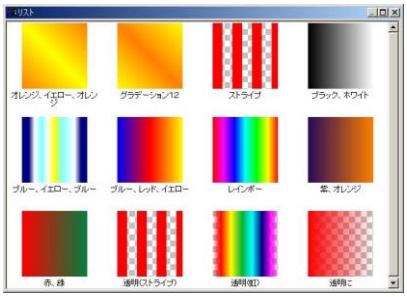


図 5-6-2 グラデーションリスト

⑤リストの中から、着色したいグラデーションをダブルクリック、またはEnterキーを押します。

⑥選択された文字、図形、イメージが再描画されます。

2)グラデーション編集

グラデーションパターンの作成、変更ができます。

※コピーやファイル名称の変更などの編集は「P-37 (8) グラデーション」をご参照ください。

①グラデーションの リスト ボタンをクリックしてグラデーションリストを表示します。

②新規作成の場合は、右クリックメニュー[新規作成]をクリックすると、新規名称入力ダイアログが表示されます。名前を入力し、OK を押します。

グラデーションパターンの変更の場合は、右クリックメニューの[編集]をクリックします。

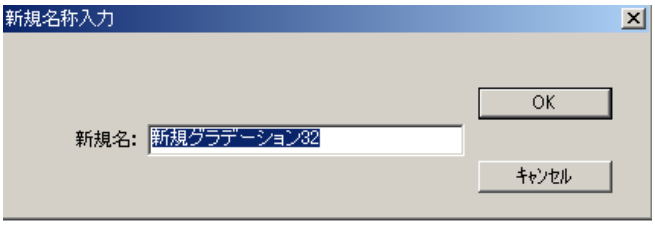


図 5-6-3 グラデーションの名称入力

③グラデーション編集ダイアログを表示します。

図 5-6-4 グラデーション編集ダイアログボックス

④カラーポインター をクリックして選択します。

⑤

をダブルクリックして表示されるカラーピッカーから色を選択するか、グラデーションバーの任意の色をクリックしてポインターにカラーを設定します。

⑥カラーポインターは、グラデーションバーの下をクリックして追加できます。

このとき、色選択に設定されている色でポインターが追加されます。

追加後の色の変更は、⑤と同じように行ないます。

⑦カラーポインターをウインドウの外にドラッグすると削除できます。

※カラーポインターの総数が 2 個の場合、削除できません。

⑧カラーポインターをクリックして選択し、横にドラッグするか[位置]の値を変更し、位置を変更できます。(0～100%)。

⑨中間点は、クリックして（グラデーション内で開始色と終了色が均等にミックスされる点）

中間点が選択状態になったら、中間点を横にドラッグするか[位置]の値を変更します。(0～100%)

0%を入力すると左のカラーポインターの上、100%を入力すると右のカラーポインターの上に移動します。

⑩グラデーションパターンを操作します。

［角度］ グラデーションの角度の設定 (0～359度)

⑪カラーの編集が終わったら、透明度(キー値)を設定します。

透明度を設定しない場合は、すべて100パーセントのキーで表示されます。

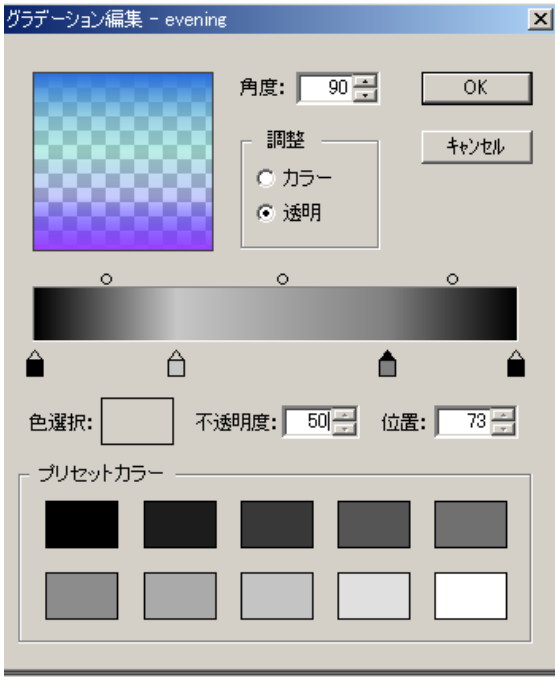


図 5-6-5 透明度の編集

⑫調整から透明をクリックします。

⑬カラーポインターを選択し、不透明度(キー)をパーセンテージで設定します。

⑭グラデーションバーの下をクリックすると不透明度100%のカラーポインターが追加されます。

ポインターの移動、削除はカラー編集と同じです。

⑮中間点は、クリックして（グラデーション内で開始色と終了色が均等にミックスされる点）

中間点が選択状態になったら、中間点を横にドラッグするか[位置]の値を変更します。(0～100%)

0%を入力すると左のカラーポインターの上、100%を入力すると右のカラーポインターの上に移動します。

⑯すべての設定が終了したら、[OK]ボタンをクリックして登録が完了します。

(3)テクスチャ

スーパー／エッジにテクスチャデータを貼り付けます。

テクスチャデータがウインドウ画面サイズ以下の場合は、データをタイル状にして使用します。

※コピーやファイル名称の変更などの編集は「3. 13. (9) テクスチャ」をご参照ください。

①変更したい対象をマウスで選択します。

②スタイルダイアログのパーツリストから変更を行うスーパーまたはエッジをクリックします。

③選択範囲で文字ごとにテクスチャを貼り付けるか、オブジェクト全体かを選択します。

④テクスチャの リスト ボタンを押すと、テクスチャリストが表示されます。

図 5-6-6 テクスチャリスト

⑤リストの中から、着色したいテクスチャをダブルクリック、または Enter キーを押します。

⑥選択された文字、図形、イメージが再描画されます。

7. テロップの背景(座布団)

テロップの背後に長方形などの図形(座布団)を描画します。

(1)背景(座布団)の描き込み

背景となる図形を入力します。

背景(座布団)には、ST-V5で描画した図形のほか、インポートしたイメージも使用できます。

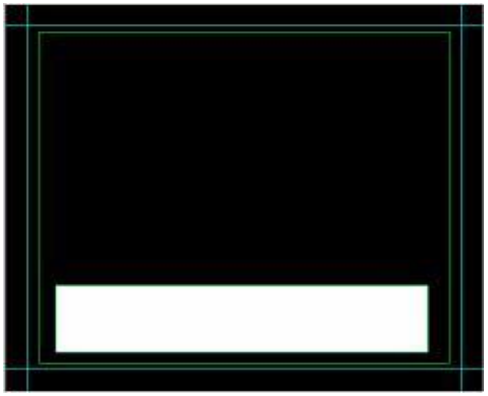


図 5-7-1　背景の入力画面

※詳細は「P-76　(9)図形入力」、「P-79　(10)イメージ入力」、「P-104　5. 属性の変更」、「P-108　6. 着色」をご参照ください。

(2)テロップの文字入力

テロップの文字を入力します。

※固定枠、文字の流し込みなども使用できます。

図 5-7-2　文字の入力画面

※詳細は「P-56　(1)文字入力」、「P-56　(2)改行と改ページ」、「P-104　5. 属性の変更」、「P-108　6. 着色」をご参照ください。

(3)レイヤーの調整

1)レイヤーとは

①画面上にオブジェクトが描きこまれると、その都度レイヤーが生成されオブジェクトはレイヤーに入力されます。先に描きこまれたレイヤーの前に新しいレイヤーが追加されます。

②複数のオブジェクトを重ねると、先に描きこまれたオブジェクトの前に後から描きこまれたオブジェクトが表示されます。

③レイヤータブでは登録されているレイヤーをサムネイルで表示するほか、レイヤーの順序変更などの操作を行います。

2)レイヤーの調整

①レイヤータブを表示させます。

②手前に表示させたいレイヤーは上方向に、奥に表示させたい場合は下にレイヤーをドラッグ &ドロップします。

③レイヤーリストの一番上に表示されているのが一番手前に、最後に表示されているのが一番奥に表示されます。

文字の手前に表示されているテロップの背景(座布団)を文字の奥に表示させたり、文字の奥に表示されていた背景(座布団)を手前に表示させたりする場合は、以下のような手順で行います。

・座布団のレイヤーを文字のレイヤーの後ろにドラッグ &ドロップします。

・文字が手前に、座布団が奥に表示されます。

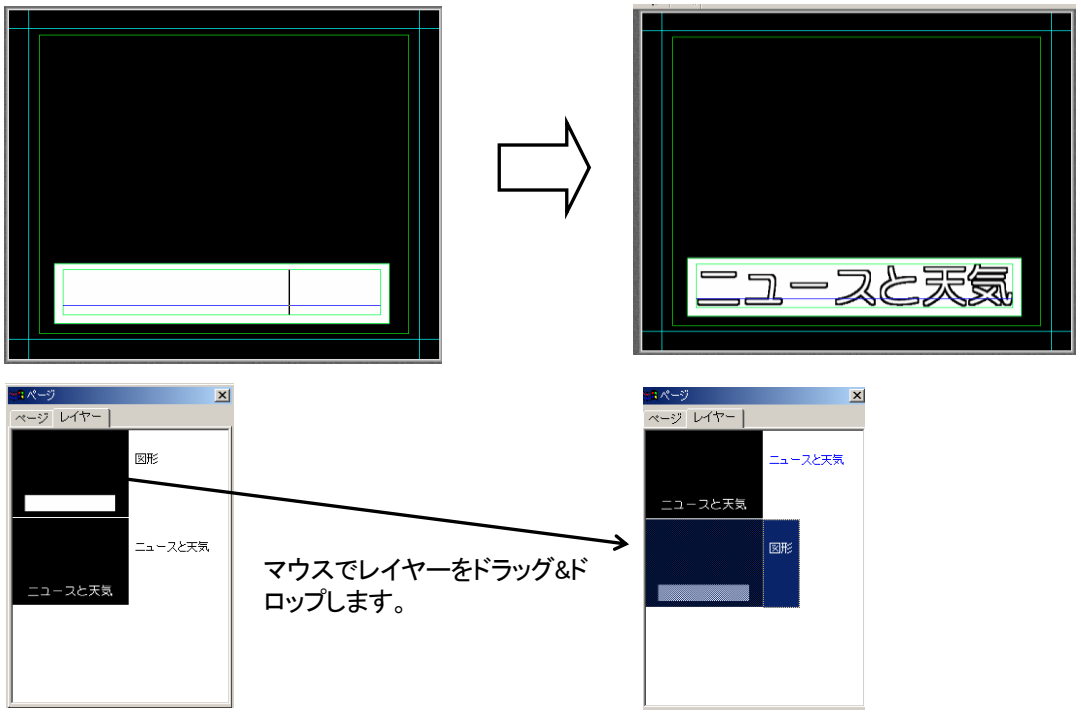


図 5-7-3 レイヤーの移動のプレビュー

8. ファイル保存／読み込み

テロップの保存はST5ファイル(ST-V5で作成したテロップファイルの形式)のほか、STWファイル（ST-V5より前のST-300で作成したテロップファイルの形式）、汎用フォーマット（BMP、PICT、TGA、PSD、TIFF、PNG、JPEG）での保存、及び当社テロップファイル装置専用MOへの保存が可能です。

ST-V5(ST5)形式で保存されたテロップファイルは旧バージョンのSTシリーズ(ST-300、ST-300S、ST-300S02、ST-390、TW-300)では開くことができません。旧バージョンのSTシリーズにデータを渡す際は、そのバージョンにあったST-300(STW)形式で保存を行なってください。

(1)ファイルの保存

作成したテロップをディスクに保存します。

1)メニューの[ファイル]－[上書き保存]を選択します。

新規データの場合は「名前を付けて保存」ダイアログが表示されますので保存先とファイル名を指定します。

2)データを複製して保存したい場合は[ファイル]－[名前を付けて保存]を選択します。

[名前を付けて保存]ダイアログが表示されますので、保存先とファイル名を指定します。

旧フォーマットで保存する場合は、ファイルの種類を指定します。

図 5-8-1　ファイルの保存

3)設定ページ外にデータがあった場合、下図のダイアログが表示されます。

設定ページ外のデータを削除することにより保存するファイル容量を少なくします。

図 5-8-2　設定ページ外削除

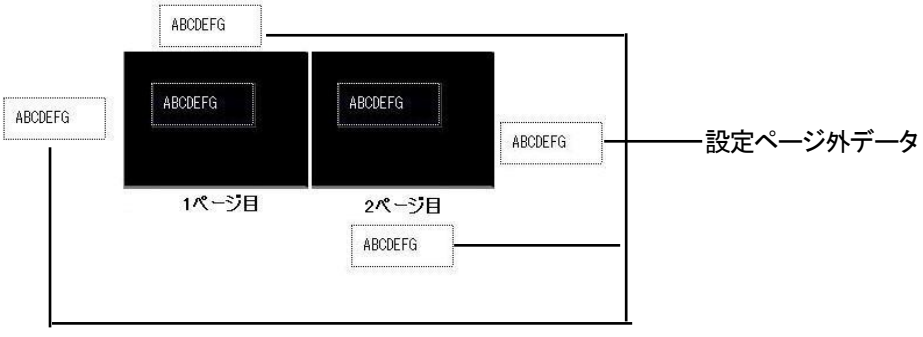


図 5-8-3　設定ページ外削除

注意！ ST5/STWファイルに送出イメージデータを保存する設定がOFFの場合、ST-V5送出部では送出することができません。ST-V5送出部で送出を行なう場合、必ずONにしてください。

※詳細は「P-141　●一般」をご参照ください。

(2)ファイルを開く(ST-V5、ST-300、ST-330W/M、ST-9920 のテロップファイル)

保存してあるデータを読み込みます。

1)新規作成後、すぐにファイルを開く場合

①メニューの[ファイル]ー[開く]を選択します。

②ダイアログが表示されますので読み込むファイルを選択します。

③読み込まれたST5ファイルに、読み込んだアプリケーションが対応していない情報が含まれている場合、警告メニューが表示され読み込みを続けるかの選択ダイアログが表示されます。

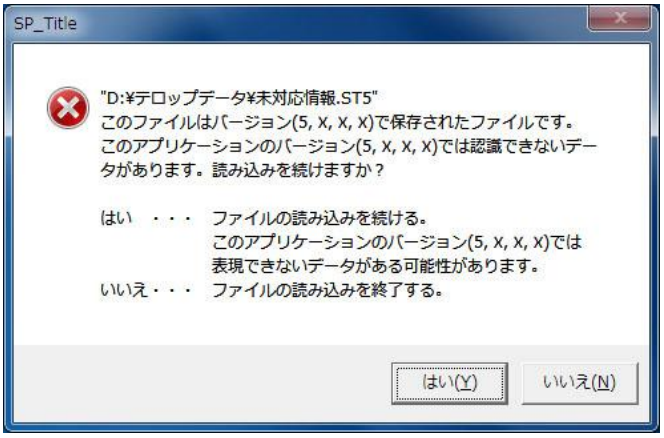


図 5-8-4 未対応情報読み込み警告ダイアログ

2)編集途中でファイルを開く場合

①メニューの[ファイル]ー[開く]を選択します。

②以下のダイアログが表示されます。

いいえをクリックすると読み込みを中止します。

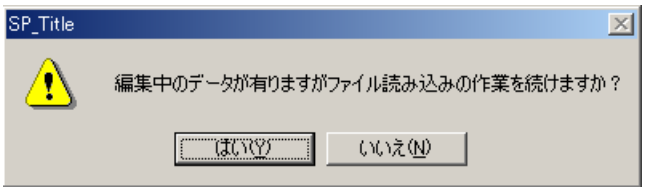


図 5-8-5 読み込み確認ダイアログ

③上のダイアログで「はい」をクリックすると、読み込みファイルを指定するダイアログが表示されます。

読み込むファイルをクリックし、「開く」ボタンを押してください。

図 5-8-6 ファイル名指定ダイアログ

④追加読み込みの場合、どのページに読み込むかを設定するダイアログが表示されます。

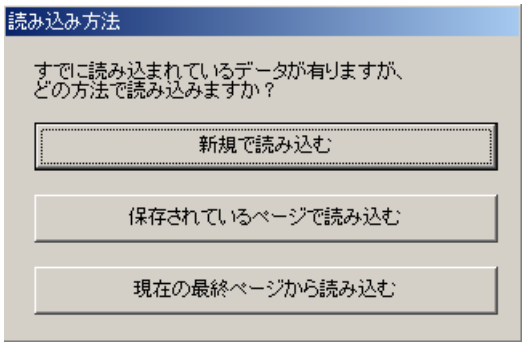


図 5-8-7　読み込み方法ダイアログ

⑤読み込まれたST5ファイルに、読み込んだアプリケーションが対応していない情報が含まれている場合、警告メニューが表示され読み込みを続けるかの選択ダイアログが表示されます。

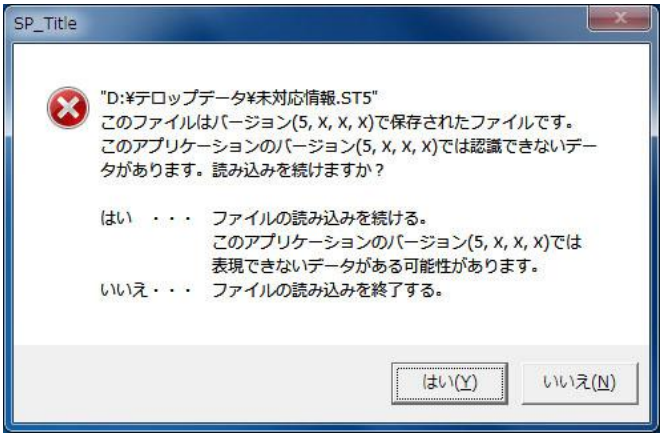


図 5-8-8　未対応情報読み込み警告ダイアログ

⑥読み込まれたSTWファイルがST-330WまたはST-9920で作成されたテロップファイルの場合、フォーマット選択のダイアログが表示されます。

図 5-8-9　フォーマット選択ダイアログ

⑦現在編集中の画面サイズと、違うサイズのファイルを読み込もうとした場合、下図のようなダイアログが表示されます。

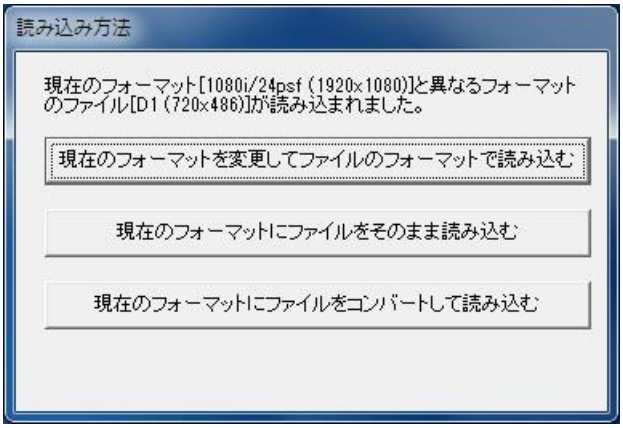


図 5-8-10 フォーマットに関するダイアログ

※表示されているフォーマットは現在の編集フォーマットと読み込まれたファイルのフォーマットによって変化します。

⑧読み込んだファイルの設定ページ外にデータがあった場合、下図のダイアログが表示されます。
設定ページ外のデータを削除することによりデータ容量を少なくします。

図 5-8-11 設定ページ外削除

※ST5ファイルについて

ST5ファイルはアプリケーションの機能拡張に伴って保存する情報も拡張していきます。
この拡張されたST5ファイルはST5ファイル対応旧アプリケーションで読み込むことはできますが
新たに追加された情報は反映されません。このため表示されるイメージが異なる場合があります。
対応できないデータが存在する場合は「未対応情報読み込み警告ダイアログ」が表示されます。

・Ver5.2.0から追加/変更された機能はVer5.2.0より前のバージョンでは以下のように表現が変化します。
・横倍率は長体率に変更され0～90%に入るように値を変更します。
→ 横倍率が100～10%の場合、表示上変化はありません。
・縦倍率は平体率に変更され0～90%に入るように値を変更します。
→ 縦倍率が100～10%の場合、表示上変化はありません。
・縦/横共に倍率設定されている場合は長体率のみ反映されます。
・シャドウのドロップシャドウはディープシャドウに変更されます。
・行送りの設定は反映されません。(箱送りと同じ条件になります)

(3) 汎用イメージデータの保存と出力

メインウインドウのイメージをBMP、TIFF、PICT、TGA、PNG、JPEG等のフォーマットでファイルに保存できます。

1) メニューの[ファイル]－[エクスポート]—[汎用イメージ]を選択します。

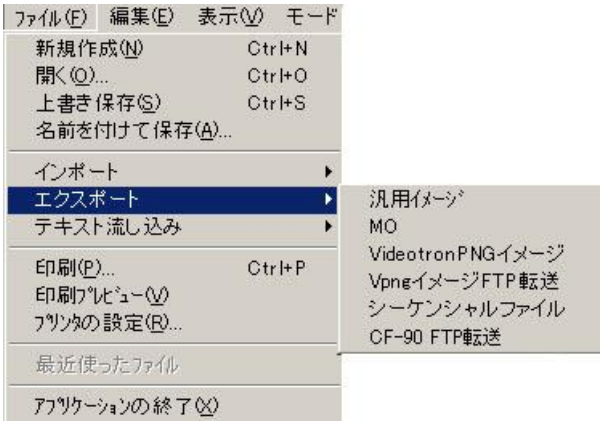


図 5-8-12 エクスポートメニュー

2) イメージ出力ダイアログが表示されます。

図 5-8-13 イメージ出力ダイアログ

3) 出力するページ範囲とファイルフォーマット(BMP、TIFF等)を指定します。

4) 参照 で保存先を選択し、ファイル名を記入します。

5) [OK]を押します。

6) 複数のページを指定した場合、ファイル名の頭、又は末尾に4桁の連番番号を補ったファイル名で指定されたページ数分のイメージファイルが保存されます。

※「1ページでも番号を付加する」にチェックを入れている場合は1ページの場合でも番号がつきます。

(4) VPng イメージデータの保存と出力

メインウインドウのイメージをVPng(VideotronPNG)のフォーマットでファイルに保存できます。

1)メニューの[ファイル]－[エクスポート]—[VideotronPNGイメージ]を選択します。

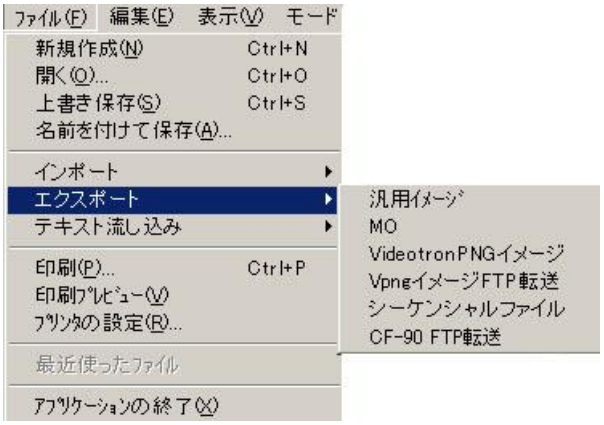


図 5-8-14　エクスポートメニュー

2)イメージ出力ダイアログが表示されます。

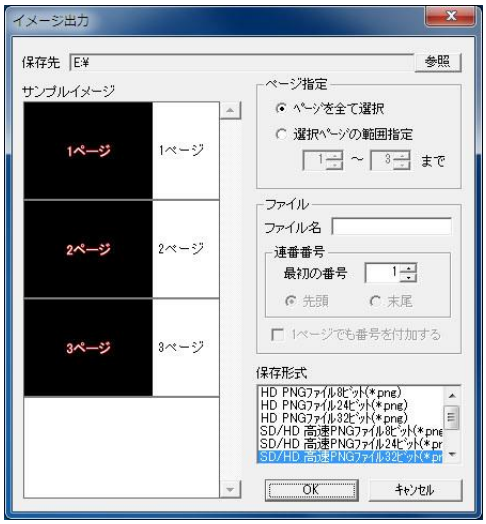


図 5-8-15　イメージ出力ダイアログ

3)出力するページ範囲とファイルフォーマットを指定します。

4) 参照 で保存先を選択し、ファイル名を記入します。

5)[OK]を押します。

6)保存先フォルダーに、ファイル名の頭に4桁の連番番号を補ったファイル名で指定されたページ数分のイメージファイルが保存されます。

・SD/HD 高速 PNG ファイルは、編集画面が HD の場合は編集画面サイズの VPng イメージ、編集画面サイズが SD の場合は 720×486 サイズの VPng イメージが保存されます。

注意！

CF-9940/45、PG-9948、TW-9950/51装置でお使いになるMOディスクは、FATでフォーマットし、VPngイメージファイルをMOディスク内に「VROOT」フォルダーを作成し、「VROOT」フォルダー内にVPngイメージファイルを保存もしくはコピーしてください。

(5) VPng イメージデータの FTP 転送

メインウインドウのイメージをVPng(VideotronPNG)のフォーマットでファイルに保存できます。

1) メニューの[ファイル]－[エクスポート]―[VPngイメージFTP転送]を選択します。

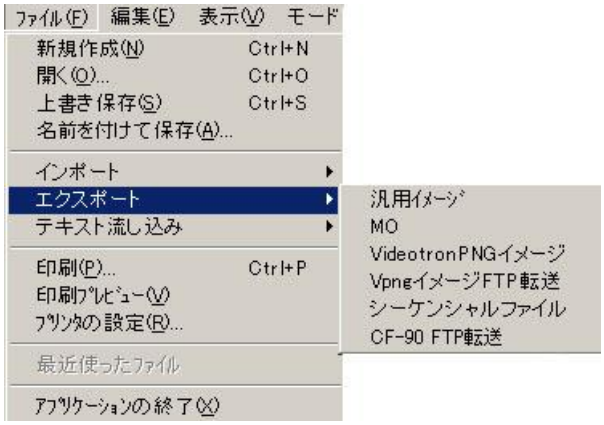


図 5-8-16 エクスポートメニュー

2) VPngFTP転送ダイアログが表示されます。

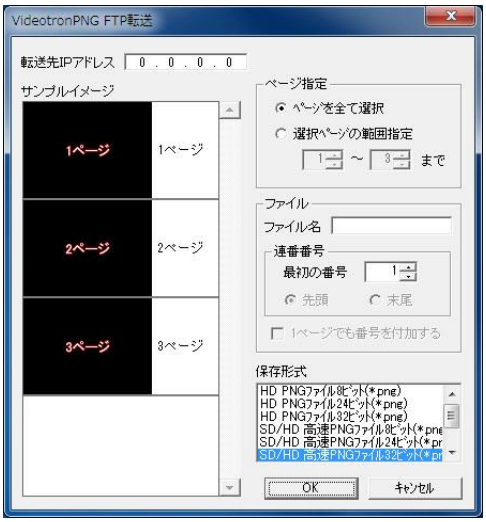


図 5-8-17 VPngFTP 転送ダイアログ

3) 転送先IPアドレスを指定します。

4) 出力するページ範囲とファイルフォーマットを指定します。

5) ファイル名、連番番号を設定します。

6) [OK]を押します。

7) 転送先IPアドレス内に、ファイル名の頭に4桁の連番番号を補ったファイル名で指定されたページ数分のイメージファイルが保存されます。

・SD/HD 高速 PNG ファイルは、編集画面が HD の場合は編集画面サイズの VPng イメージ、編集画面サイズが SD の場合は 720×486 サイズの VPng イメージが保存されます。

注意！ IPアドレスが間違っている場合、転送することができません。

(6)シーケンシャルファイル

作業中のロールテロップ効果のある板テロップをTGA、TIFFのフォーマットでフレーム数分ファイルに保存できます。

1)メニューの[ファイル]－[エクスポート]―[シーケンシャルファイル]を選択します。

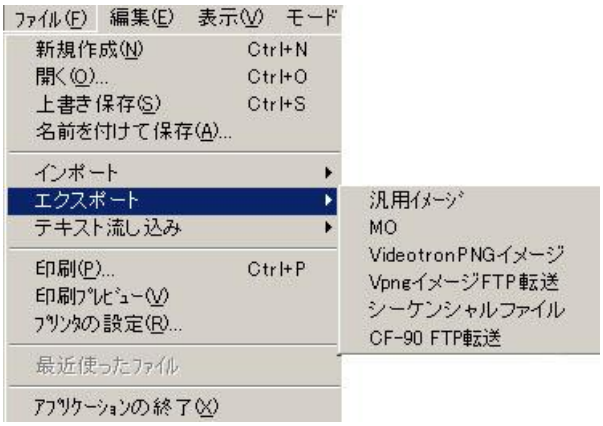


図 5-8-18 エクスポートメニュー

2)シーケンシャル保存ダイアログが表示されます。

図 5-8-19 シーケンシャル保存ダイアログ

・ファイル頭文字…ファイル頭文字を設定します。

・保存先フォルダー…保存先フォルダーを指定します。

3)シーケンシャル保存ダイアログが表示されますので、ファイル頭文字、保存先フォルダーを指定します。

4)Targa保存か、TIFF保存を選択します。

5)保存先フォルダーにファイル頭文字に4桁のフレーム番号がついたファイル名で、フレーム数分のファイルが保存されます。

(7) CF-90 イメージデータの FTP 転送

メインウインドウのイメージをCF-90のイメージフォーマットでファイルに保存できます。

1) メニューの[ファイル]－[エクスポート]―[CF-90 FTP転送]を選択します。

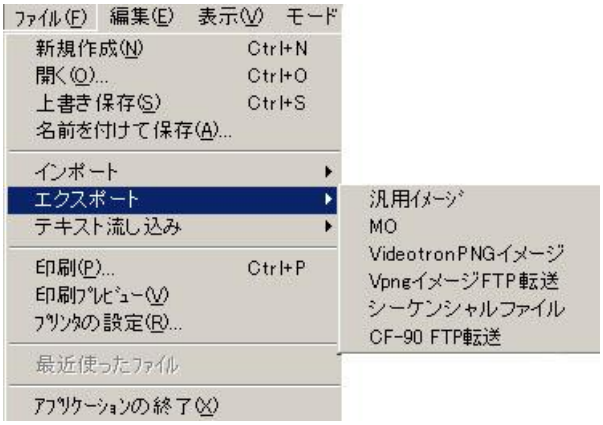


図 5-8-20 エクスポートメニュー

2) CF-90 FTP転送ダイアログが表示されます。

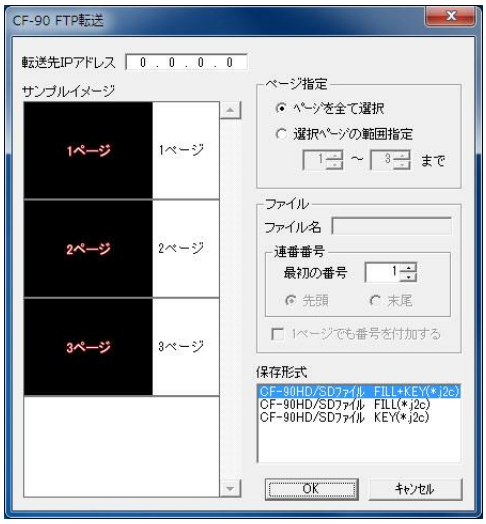


図 5-8-21 CF-90 FTP 転送ダイアログ

3) 転送先IPアドレスを指定します。

4) 出力するページ範囲とファイルフォーマットを指定します。

5) 連番番号の開始番号を設定します。

6) [OK]を押します。

7) 転送先IPアドレス内に、4桁の連番番号のファイル名で指定されたページ数分のイメージファイルが保存されます。

注意！ IPアドレスが間違っている場合、転送することができません。

・CF-90への転送でIPアドレスがあっていても正常に転送できない場合は以降の設定を行ってください。

1. OS側のセットアップ(Windows 7)

(1)簡易ネットワーク管理プロトコルのインストール

a)[コントロールパネル] → [プログラム]の[Windowsの機能の有効化または無効化]を選択します。

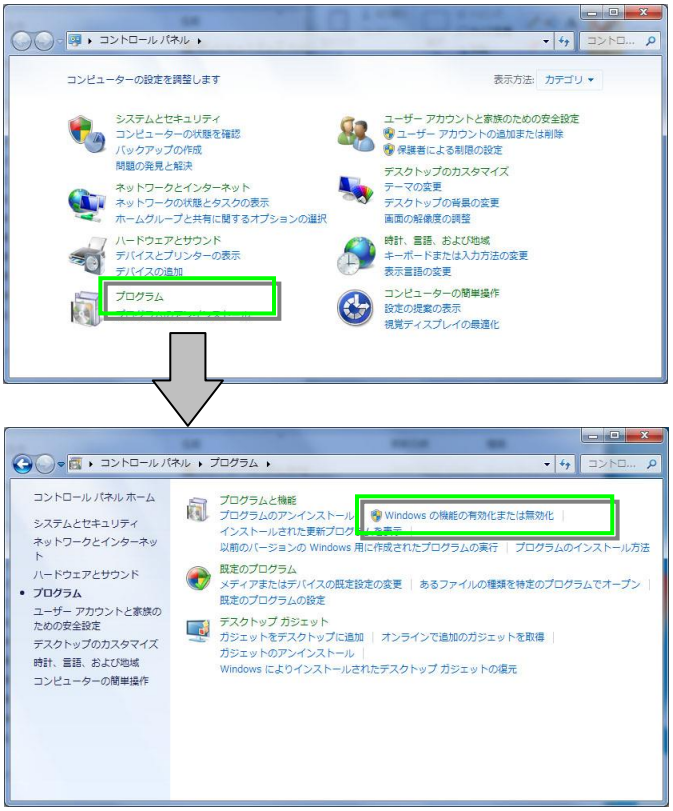


図 5-8-22　簡易ネットワーク管理プロトコル設定メニュー表示

b)[Windowsの機能]内の「簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)」にチェックを入れて「OK」を押します。※1

(すでにチェックが入っている場合はすでにセットアップされている為、「キャンセル」を押して終了します)

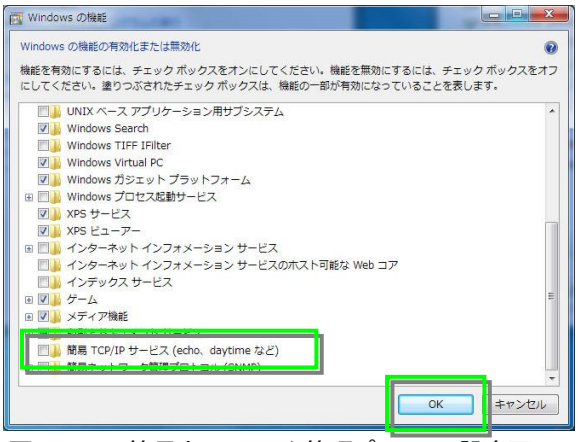


図 5-8-23　簡易ネットワーク管理プロトコル設定画面

※1 Windows7のCDを要求される場合があります。

※Windows XPの場合は[コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] →

[Windowsコンポーネントの追加と削除] → [管理とモニタツール]の詳細から設定できます。

⑵簡易ネットワーク管理プロトコルの起動

a)[コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [管理ツール]の[サービス]を選択します。

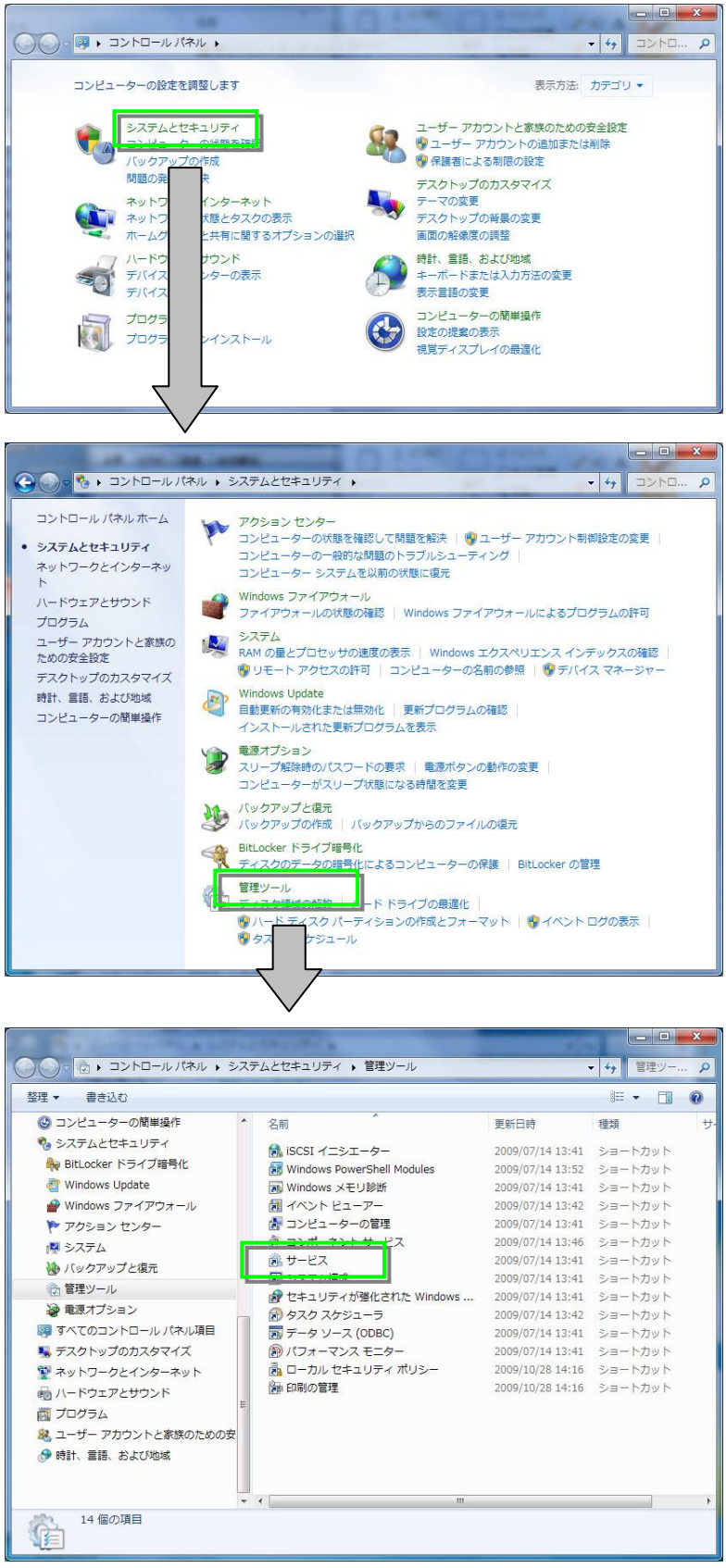


図 5-8-24 簡易ネットワーク管理プロトコルの起動画面

b)[サービス]内の[SNMP Trap]をダブルクリックします。

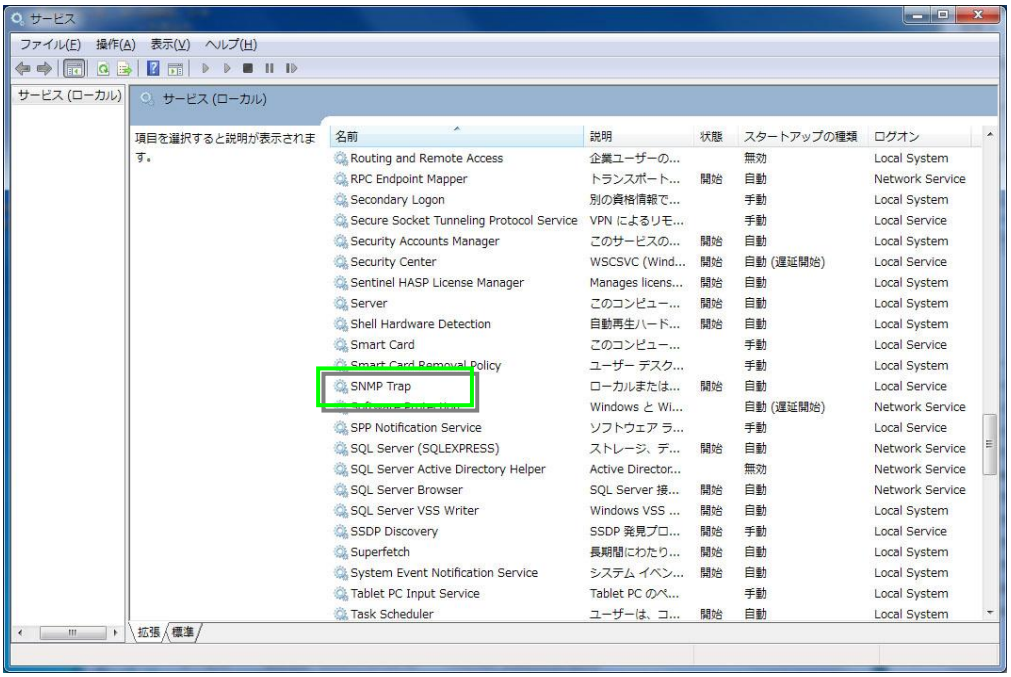

サービス
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)
サービス (ローカル)
サービス (ローカル)
項目を選択すると説明が表示されます。
名前 説明 状態 スタートアップの種類 ログオン
Routing and Remote Access 企業ユーザーの... 無効 Local System
RPC Endpoint Mapper トランスポート... 開始 自動 Network Service
Secondary Logon 別の資格情報で... 手動 Local System
Secure Socket Tunneling Protocol Service VPN によるリモ... 手動 Local Service
Security Accounts Manager このサービスの... 開始 自動 Local System
Security Center WSCSVC (Wind... 開始 自動 (遅延開始) Local Service
Sentinel HASP License Manager Manages licens... 開始 自動 Local System
Server このコンピュー... 開始 自動 Local System
Shell Hardware Detection 自動再生ハード... 開始 自動 Local System
Smart Card このコンピュー... 手動 Local Service
Smart Card Removal Policy ユーザー デスク... 手動 Local System
SNMP Trap ローカルまたは... 開始 自動 Local Service
Windows と Wi... 自動 (遅延開始) Network Service
SPP Notification Service ソフトウェア ラ... 手動 Local Service
SQL Server (SQLEXPRESS) ストレージ、デ... 開始 自動 Network Service
SQL Server Active Directory Helper Active Director... 無効 Network Service
SQL Server Browser SQL Server 接... 開始 自動 Network Service
SQL Server VSS Writer Windows VSS ... 開始 自動 Local System
SSDP Discovery SSDP 発見プロ... 開始 手動 Local Service
Superfetch 長期間にわたり... 開始 自動 Local System
System Event Notification Service システム イベン... 開始 自動 Local System
Tablet PC Input Service Tablet PC のペ... 手動 Local System
Task Scheduler ユーザーは、コ... 開始 自動 Local System
拡張 標準

図 5-8-25　SNMP Trap サービス選択画面

c)[SNMP Trapのプロパティ]内のスタートアップの種類を「自動」に設定します。次にサービスの状態が開始以外の場合は「開始」ボタンを押して開始状態にします。
2つの設定が完了したら「OK」ボタンを押します。
（すでに同じ設定がされている場合は「キャンセル」を押して終了します）

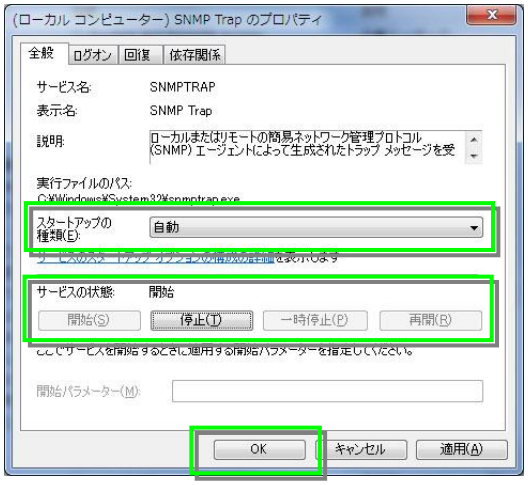


図 5-8-26　SNMP Trap 起動画面

※Windows XPの場合はサービス名が[SNMP Trap Service]になります。

⑶ファイアウォールの設定

a)[コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [Windowsファイアウォール]の[詳細設定]を選択します。

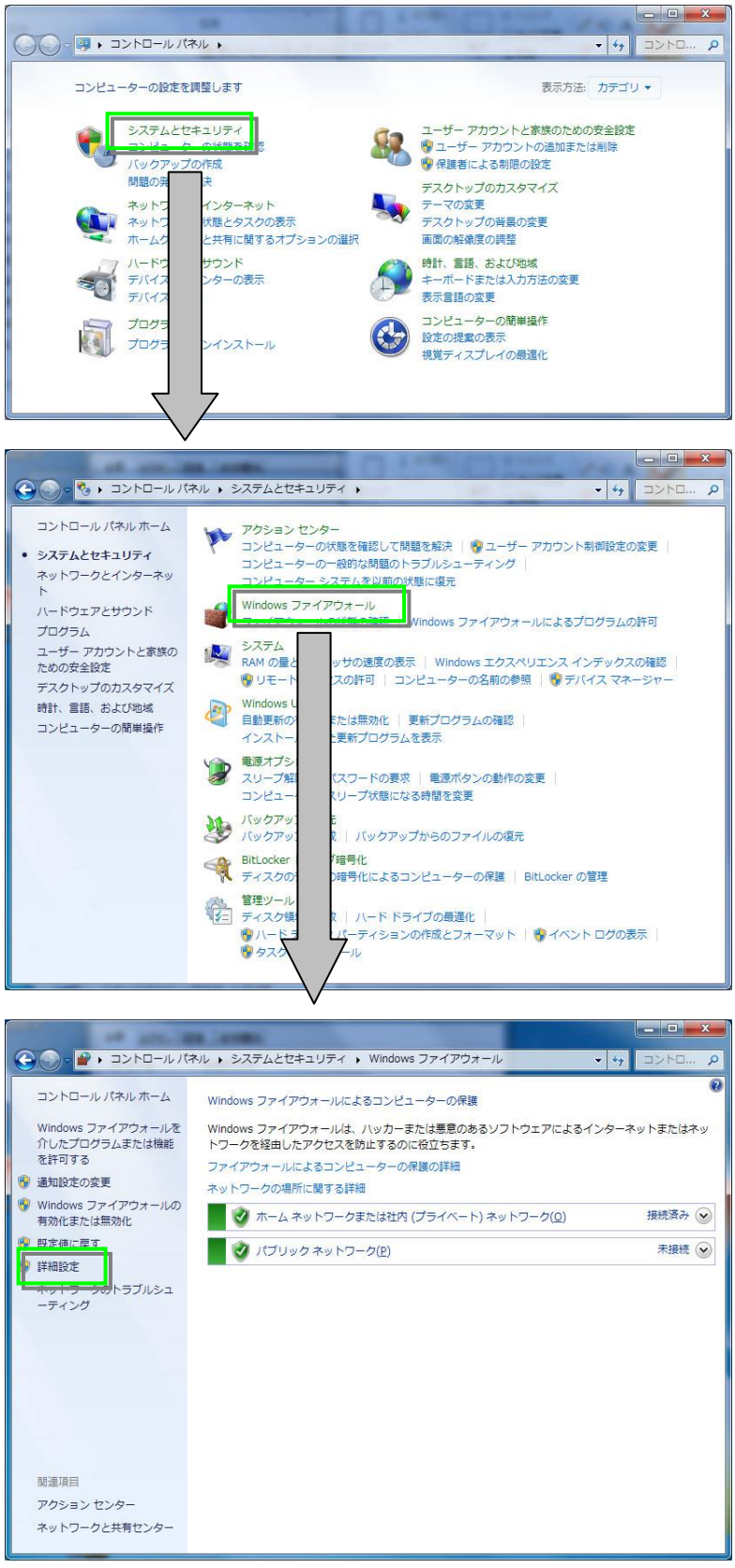


図 5-8-27　ファイアウォールの設定

b)[セキュリティが強化されたWindowsファイアウォール]内の[受信規則]を選択して[新しい規則]を選択します。

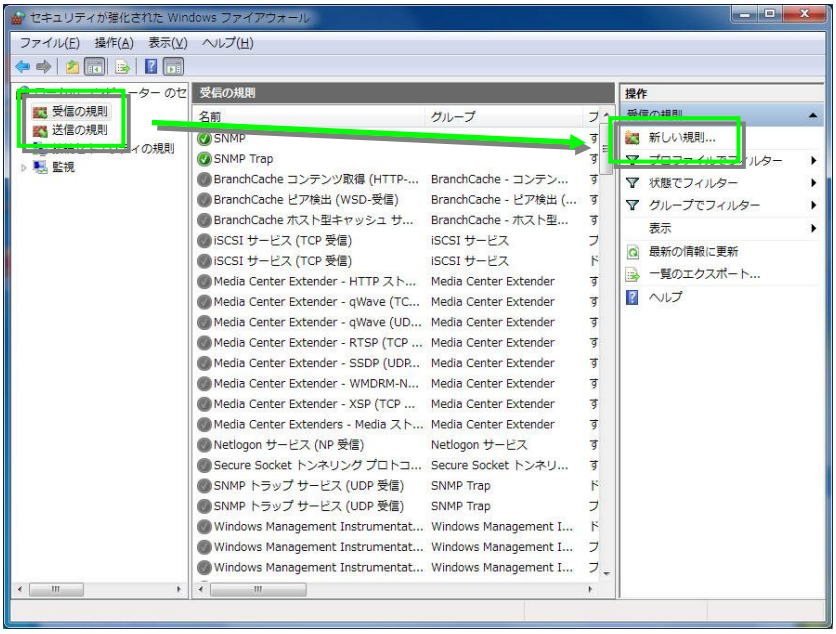


図 5-8-28　規則登録

c)[新規の受信の規則ウィザード]で各種設定をして登録します。

・規則の作成は[ポート]を選択して次へを押します。

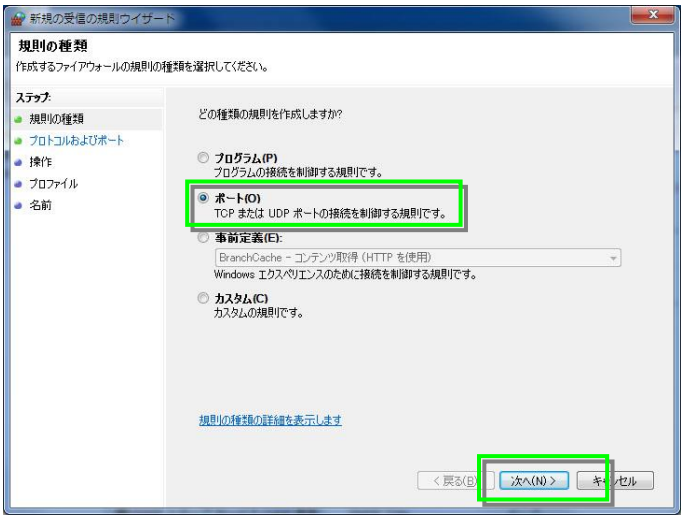


図 5-8-29　ポート登録

・次の画面では規則は[UDP]を選択してポート設定は[特定のローカルポート]を選択して[161]を入力し次へを押します。

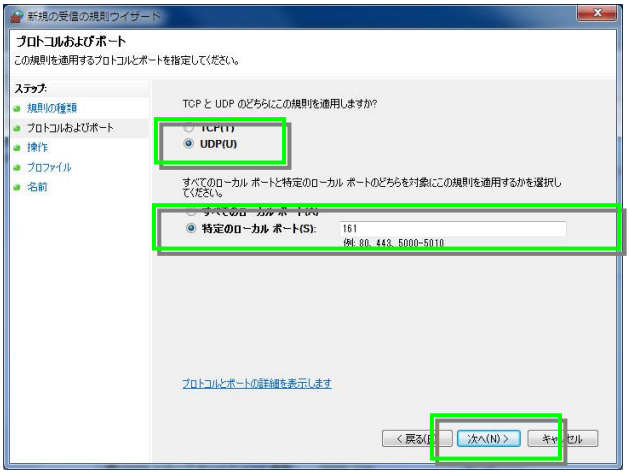


図 5-8-30　UDP 登録

・次の画面では実行タイプを[接続を許可する]を選択して次へを押します。

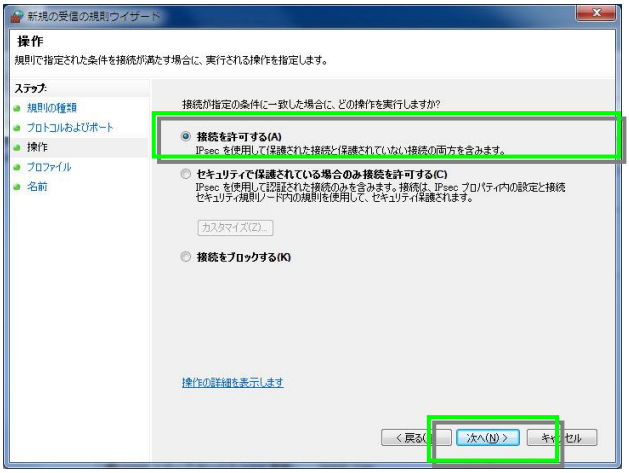


図 5-8-31　実行タイプ設定

・次の画面ではプライベートにチェックを入れて次へを押します。
（接続されているネットワークによっては選択する項目を変更する必要があります）

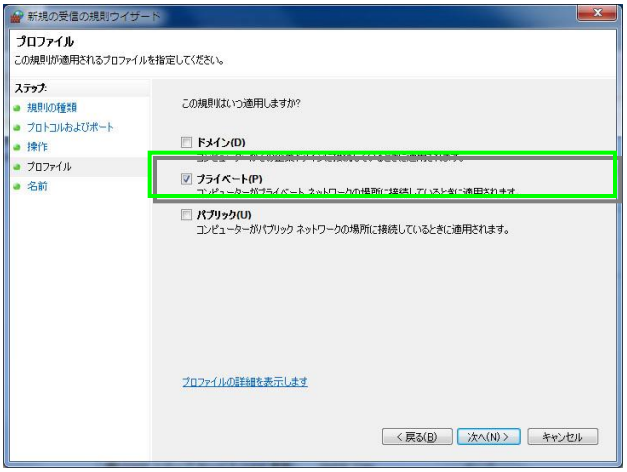


図 5-8-32　適用範囲設定

・次の画面では名前に[SNMP]と入力して完了を押します。

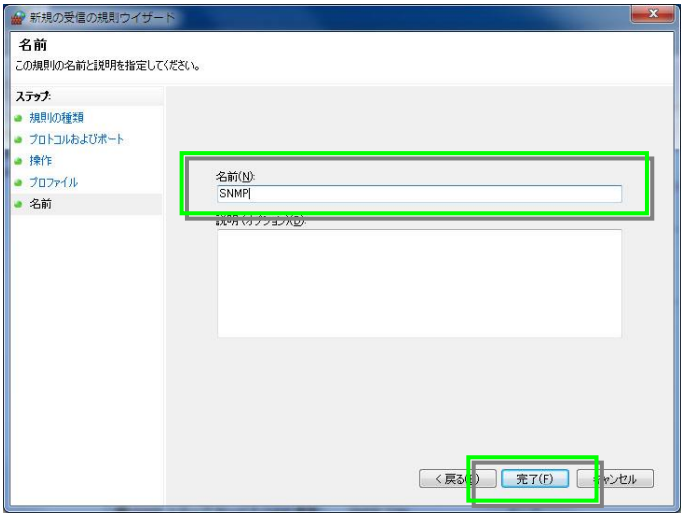


図 5-8-33　名称設定

d)下記の項目の規則をb)、c)を繰り返して設定します。(1つ目の項目は一連の操作で設定した項目です)

追加対象	追加規則	TCP/UDP	ポート番号	実行タイプ	適用範囲	名称
受信規則	ポート	UDP	161	接続を許可する	プライベート	SNMP
受信規則	ポート	UDP	162	接続を許可する	プライベート	SNMP Trap
送信規則	ポート	UDP	161	接続を許可する	プライベート	SNMP
送信規則	ポート	UDP	162	接続を許可する	プライベート	SNMP Trap

※ファイアウォールの設定は、ご使用のPCにインストールされているセキュリティソフトによって異なります
設定方法については各ベンダーアプリケーションの取扱説明書をご参照ください。

※Windows XPの場合は)[コントロールパネル] → [Windowsファイアウォール]の例外タブにある
ポートの追加から設定できます。

(8)テロップファイル入力

オプションのUSB、SCSI機器を接続した場合、CF-50、TF-854、TF-853、TW-428等の
テロップファイル装置フォーマットのデータをMOからST-V5にイメージとして取り込めます。

1)メニューの[ファイル]－[インポート]―[MO]を選択します。

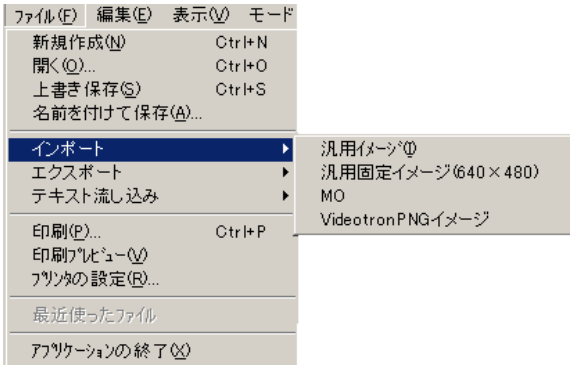


図 5-8-34 インポートメニュー

2)テロップファイル入力ダイアログボックスが表示されます。

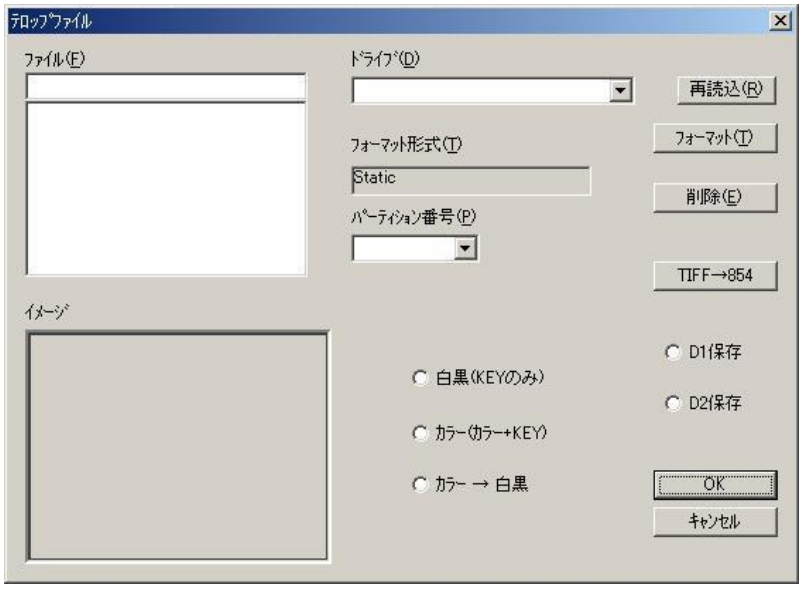


図 5-8-35 テロップファイル入力ダイアログ

3)フォーマット形式がCF-50の場合、パーティション数を選択します。

4)読み込むファイル名を指定します。

5)[OK]を押すとテロップファイルが読み込まれます。

※HD編集画面の場合、テロップファイルイメージをHDサイズにコンバートして読み込みます。

注意！

・テロップファイルのMOは管理者権限をもっていないとインポート、エクスポートを行うことができません。
管理者権限をもつユーザーでログインするか、以下の手順で一般のユーザーでもインポート、エクスポートが行なえるように設定してください。

・Windows2000/XP

1. 「スタート」ボタン－「設定」－「コンとロールパネル」をクリックします。
2. 「コントロールパネル」内の「管理ツール」をダブルクリックします。
3. 「管理ツール」内の「ローカルセキュリティーポリシー」をダブルクリックします。
4. 「ツリー」タブ－「ローカル ポリシー」内の「セキュリティーオプション」をクリックします。
5. 「ポリシー」内の「リムーバブルNTFSメディアを取り出すのを許可する」を選択しダブルクリックします。
6. 「ローカルセキュリティーポリシー設定」ウインドウ内の「ローカルポリシーの設定」を「Administrators」から「Administrators and Interactive Users」に変更し「OK」ボタンをクリックします。

・Windows7

1. 「スタート」ボタン－「コンとロールパネル」をクリックします。
2. 「コントロールパネル」内の「システムとセキュリティ」をクリックします。
3. 「システムとセキュリティ」」内の「管理ツール」をクリックします。
4. 「管理ツール」内の「ローカルセキュリティーポリシー」をダブルクリックします。
5. 「ツリー」タブ－「ローカル ポリシー」内の「セキュリティーオプション」をクリックします。
6. 「ポリシー」内の「デバイス:リムーバブルメディアを取り出すのを許可する」を選択しダブルクリックします。
7. 「ローカルセキュリティーポリシー設定」ウインドウ内の「ローカルポリシーの設定」を「Administrators and Interactive Users」に変更し「OK」ボタンをクリックします。

・テロップファイル用にフォーマットされたMOディスクを入れた場合、「ドライブを使うにはフォーマットが必要です。フォーマットしますか?」等のメッセージが出ることがあります。テロップファイル用のMOとして使用する場合は「キャンセル」を選択してフォーマットをしないでください。

(9)テロップファイル出力

オプションのUSB、SCSI機器を接続した場合、作成したテロップデータをCF-50、TF-854、TF-853、TW-428等のテロップファイル装置フォーマットでMOに出力できます。

1)メニューの[ファイル]－[エクスポート]―[MO]を選択します。

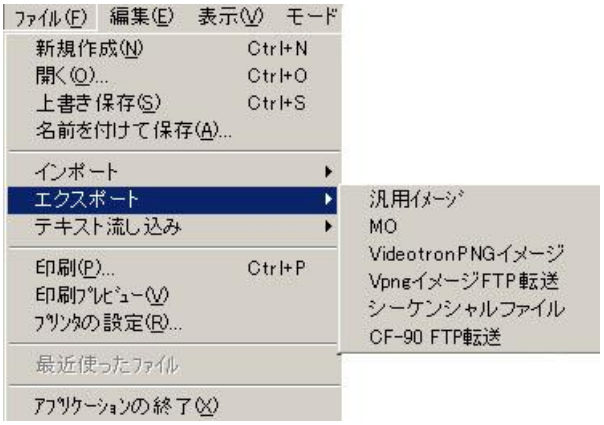


図 5-8-36 エクスポートメニュー

2)テロップファイル出力ダイアログボックスが表示されます。

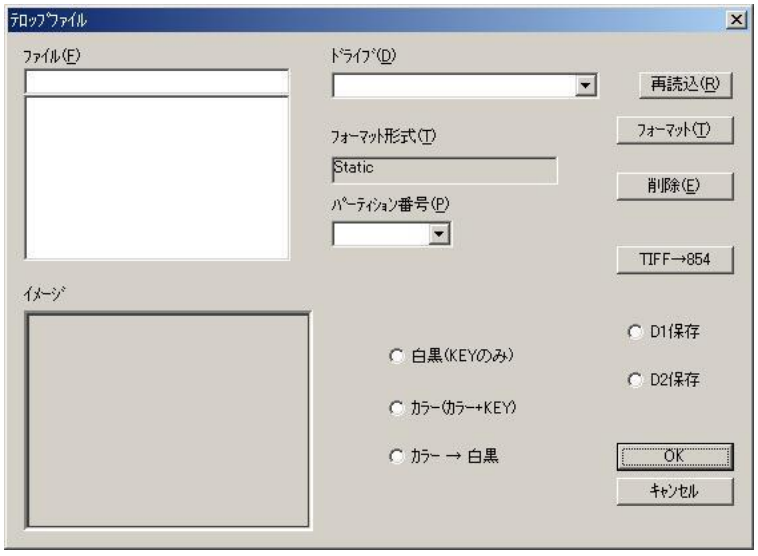


図 5-8-37 テロップファイル出力ダイアログ

3)ファイル名、ドライブ、カラーを指定します。

白黒(KEYのみ)……Key値を白黒データとして扱います。

カラー(カラー＋KEY)… カラーとKey値を合わせて、カラーイメージとして扱います。

カラー→白黒 ……カラーデータを白黒データに変換して扱います。

4)フォーマット形式でCF-50を選択した場合、パーティション番号を指定します。

5)[OK]を押すとテロップデータがMOに書き込まれます。

注意！

テロップファイルのMOは管理者権限をもっていないとインポート、エクスポートを行うことができません。 ※「P-130 (8) テロップファイル入力」をご参照ください。

(10)ST-V5 のインポート、エクスポートイメージファイル

種類	モード	エクスポート	インポート	備考	MOメディア			
					フォーマット可否※1	ファイル削除	最大容量	フォーマット形式
TF-854	MO	○	○		○	○	230MB	TF-854
TF-853	MO	○	○	カラーとキー	○	○	230MB	TF-853
TW-428D1	MO	○	○		―	○	230MB	TW-428D1
TW-428D2	MO	○	○		―	○	230MB	TW-428D2
CF-50	MO	○	○		○	○	230MB	CF-50
CF-50D1	MO	○	○		○	○	230MB	CF-50D1
VPng	汎用	○	○	圧縮、TW-9950HDに対応※2※3	―	―	1.3G	Win(FAT)
ST-330M	汎用	―	○					
ST-330W	汎用	―	○					
ST-9920HD	汎用	―	○					
BMP	汎用	○	○	RGB/カラーマップ/モノクロ、アルファチャンネル、非圧縮/RLE圧縮、JPEG・PNG形式BMPは非対応※4				
PICT	汎用	○	○	16・32 ビット Direct Bit、2～8 ビット Pixmap※4				
TIFF	汎用	○	○	RGB/CMYK/YCbCr/モノクロ、アルファチャンネル、非圧縮/JPEG圧縮/Deflate圧縮、マルチページTIFFには非対応※4				
TGA	汎用	○	○	RGB/カラーマップ/モノクロ、アルファチャンネル、Image Originビット対応、非圧縮/RLE圧縮※4				
PSD	汎用	―	○	8ビットRGB、アルファチャンネル、レイヤー対応※4				
PNG	汎用	○	○	RGB/カラーマップ/モノクロ、アルファチャンネル、非圧縮/Deflate圧縮※4				
JPEG	汎用	○	○	RGB/YCbCr/GRAY、ベースライン/プログレッシブ、ロスレスJPEGは非対応※5				

※1 汎用ファイルのメディアフォーマット、ファイル削除はパソコンのOSをご使用ください。

※2 VPngファイルをTW-9950用に保存する場合はファイル名に4桁の数字を付けてVrootフォルダー内に保存してください。

※3 VPngフォーマットはビデオトロンHDTVファイル専用フォーマットです。
HDTVテロップファイル装置には1.3GMOドライブが実装されています。

※4 BMP、PICT、TIFF、TGA、PNGのエクスポートは24bit RGB/32bit RGBAのみ対応

※5 JPEGのエクスポートは24bit RGBのみ対応

9. グリッド・吸着・マーカーの設定

(1)吸着エリアマーカー

吸着エリアマーカーの表示をON/OFFできます。

吸着エリアマーカーの表示中は「吸着」処理を行えます。

1)[選択・移動]メニューをクリックします。

2)メニューから[吸着エリアマーカー]を選択すると、図 5-9-1のようなメニューが表示されます。

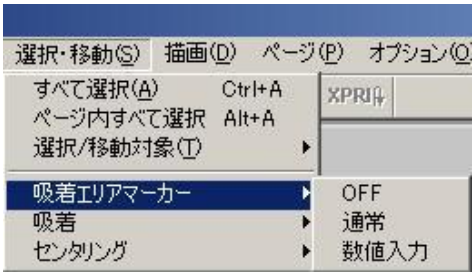


図 5-9-1 吸着エリアマーカー

・通常

①メニューから[選択・移動]－[吸着エリアマーカー]—[通常]を選択します。

②マウスカーソルに追従して、吸着エリアマーカーが移動します。

③設定したい位置でクリック、またはダブルクリックします。

ダブルクリックした場合は吸着クロスマーカー、クリックした場合は吸着エリアマーカーが設定できます。

④吸着エリアマーカーが表示されます。

・数値入力

①メニューから[選択・移動]－[吸着エリアマーカー] —[数値入力]を選択します。

②吸着エリアマーカー設定ダイアログが表示されます。

図 5-9-2 吸着エリアマーカー設定ダイアログ

③吸着方法と始点、終点を設定します。

④[OK]を押すと、設定した吸着エリアマーカーが表示されます。

・プリセットの設定方法

①メニューから[選択・移動]－[吸着エリアマーカー] —[数値入力]を選択します。

②吸着エリアマーカー設定ダイアログが表示されます。

図 5-9-3 吸着エリアマーカー設定ダイアログ

③設定したいプリセットボタンを押します。現在プリセットに設定されている始点、終点が表示されます。

④吸着方法と始点、終点を設定します。

⑤必要に応じてコメントを入力します。吸着エリアマーカーメニュー表示時、コメントがメニューに表示されます。

何も入力しない場合は、メニューは[プリセット]と表示されます。

⑥[登録]を押すと、設定した吸着エリアマーカーがプリセットに登録されます。

・プリセット

①メニューから[選択・移動]－[吸着エリアマーカー] —[プリセット]を選択します。

②プリセットに設定された吸着エリアマーカーが表示されます。

(2)吸着

対象物の吸着センタリングを行います。

吸着エリアマーカーに対して吸着を行います。

吸着エリアマーカーが表示されていない場合は、吸着は行えません。

※「P-134 (1)吸着エリアマーカー」をご参照ください。

1)吸着したい対象物を選択します。

2)メニューの[選択・移動]－[吸着]からモードを選択します。

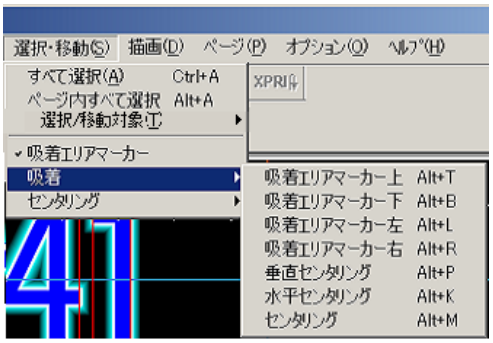


図 5-9-4 吸着メニュー

吸着エリアマーカー上…選択した行を吸着エリアマーカーの上に揃えます。

吸着エリアマーカー下…選択した行を吸着エリアマーカーの下に揃えます。

吸着エリアマーカー左…選択した行を吸着エリアマーカーの左に揃えます。

吸着エリアマーカー右…選択した行を吸着エリアマーカーの右に揃えます。

垂直センタリング……選択した行を吸着エリアマーカーの垂直方向にセンタリングします。

水平センタリング……選択した行を吸着エリアマーカーの水平方向にセンタリングします。

センタリング……選択した行を吸着エリアマーカーにセンタリングします。

(3)バックグラウンド

バックグラウンドの表示を OFF(黒)、カラーバー、単色、ビットマップのいずれかに指定できます。

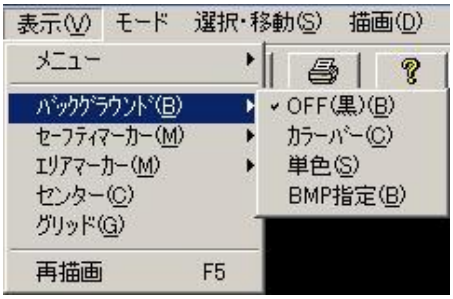


図 5-9-5 バックグラウンド

1)表示メニューをクリックします。

2)メニューからバックグラウンドを選択すると、図 5-9-5 のようなメニューが表示されます。

3) 表示するバックグラウンドをチェックします。

●単色を選択した場合は、カラーピッカーが表示されるので任意の色を選択します。

●BMP指定を選択した場合は、ファイルを指定するダイアログが表示されるので、ファイル名を選択後[OK]を押します。

(4)セーフティーマーカー

OFF、80%、86%、90%、94%、カスタムのセーフティーマーカーを設定できます。

エリアマーカーが設定されているときは、エリアマーカーに対してのパーセンテージ、

エリアマーカーが設定されていないときは、編集画面に対してのパーセンテージをあらわします。

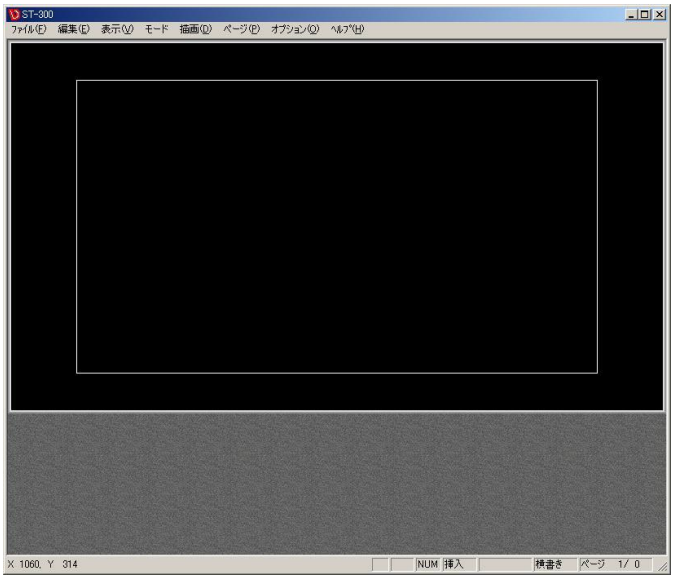


図 5-9-6 セーフティーマーカーの選択

図 5-9-7 セーフティーマーカーの表示された画面

1)表示メニューをクリックします。

2)メニューからセーフティーマーカーを選択すると、図 5-9-7 のメニューが表示されます。

3) 表示するセーフティーマーカーをチェックします。

カスタムの設定した場合は任意のパーセンテージを入力してください。

(5)エリアマーカー

OFF、4:3、13:9、14:9、のエリアマーカーを設定できます。

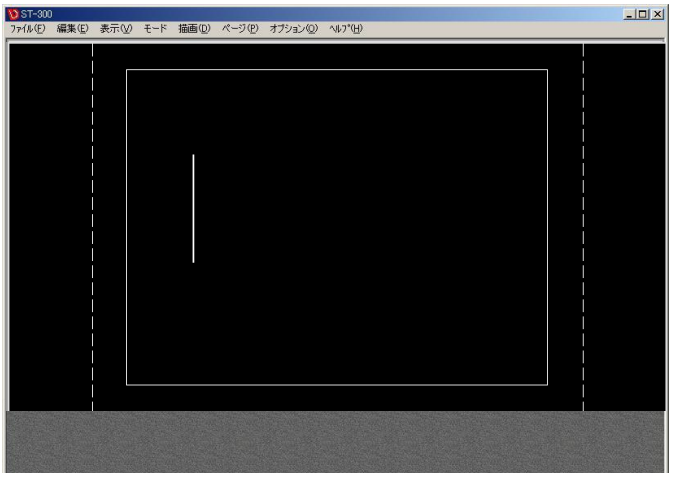


図 5-9-8 エリアマーカーの選択

図 5-9-9 エリアマーカーの表示された画面

1)表示メニューをクリックします。

2)メニューからエリアマーカーを選択すると、図 5-9-9のメニューが表示されます。

3)表示するエリアマーカーをチェックします。

(6)センター

センターの表示を ON／OFF できます。

図 5-9-10　表示メニュー

図 5-9-11　センターの表示

1）表示メニューをクリックします。

2）メニューからセンターを選んでクリックします。

(7)グリッド

グリッドの表示を ON／OFF します。

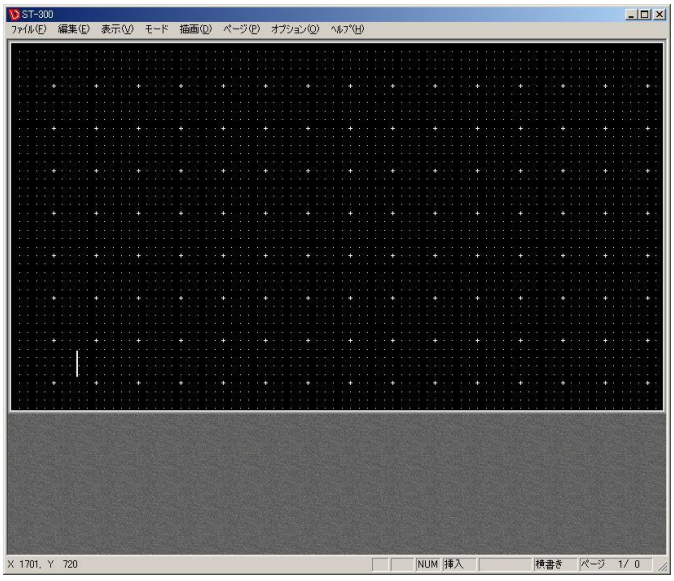


図5-9-12　表示メニュー

図 5-9-13　グリッドの表示

1）表示メニューをクリックします。

2）メニューからグリッドを選んでクリックします。

10. 印 刷

(1)簡易印刷

テロップデータを印刷できます。

・印刷するイメージは、メニューの[オプション]―[カスタマイズ]－[印刷]でカラー、白黒、白黒反転、2値化、2値化反転を設定してください。

・1枚の用紙に8ページ分及び2ページ分のテロップを印刷します。※「P-153　●印刷」をご参照ください。

1)メニューの[ファイル]から[印刷]を選択します。

図 5-10-1　印刷ダイアログ

2)プリンターの印刷設定をするダイアログが表示されます。

3)[OK]で印刷が開始されます。

注意！

用紙設定などは各種プリンターに付属するドライバーにより多少異なります。

詳しくは、各種プリンターの取扱説明書をご参照ください。

(2)印刷プレビュー

・印刷前に印刷されるイメージを確認できます。

・1枚の用紙に8ページ分及び2ページ分のテロップを印刷します。※「P-153　●印刷」をご参照ください。

※印刷スタイルの変更はできません。

1)メニューから[ファイル]－[印刷プレビュー]を選択します。

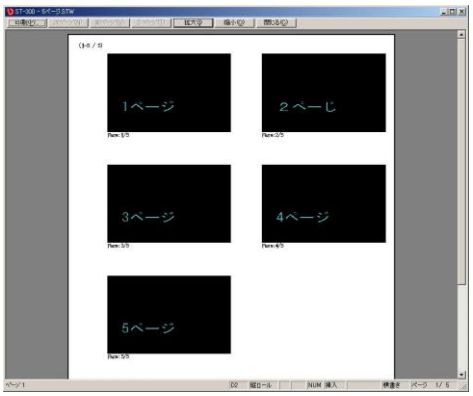


図 5-10-2　印刷プレビュー

2)印刷プレビュー画面が表示されます。

3)[印刷]を押すと印刷を開始します。

11. オプション設定

ST-V5 の動作環境や、入出力に関する設定ができます。

設定値は、アプリケーション終了後も保存されます。

メニューの[オプション]から項目を選択することで、各項目を設定できます。

図5-11-1 オプションメニュー

(1)グリッド吸着

マウスポインターをグリッドに沿って移動できます。

(2)グリッド幅

グリッドの幅を設定します。

(3)カスタマイズ

各種設定を行います。

1)設定方法

①[オプション]ー[カスタマイズ]を選ぶとカスタマイズダイアログが表示されます。

②下図の囲み部分でメニューを選択するか、または[次へ]「前へ」を押すとそれぞれのダイアログが表示されます。

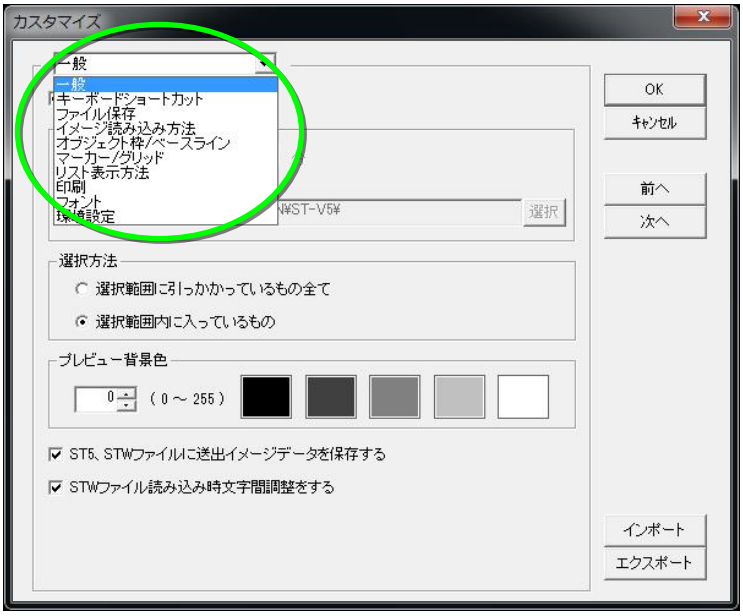


図 5-11-2 カスタマイズダイアログ

・インポート ・・・ ファイルに保存されているカスタマイズの設定情報を読み込みます。

・エクスポート ・・・ 現在のカスタマイズの設定情報をファイルに書き込みます。

※Microsoft Core XML Services (MSXML) 6.0がインストールされていない場合、インポート/エクスポートボタンは表示されません

2)設定内容

●一般

図 5-11-3　一般

①UNDO機能のON/OFF

多くのイメージを貼り付けたり、ページ数が多くなったりすると、処理が重くなりレスポンスが悪くなる場合があります。OFFにすることにより、スピードをあげられます。

但し、UNDOできない為、編集作業の効率が悪くなります。

②オートセーブ　ON/OFF

[選択]ボタンのクリックでオートセーブファイルのデフォルトフォルダーを選択できます。

オートセーブ設定時間が経過すると設定されたフォルダー内に自動で保存を行います。

ファイル名…AutoSave.ST5

システムやアプリケーションのフリーズにより、作業中のデータを保存しないまま終了された場合、次回の起動時に図5-11-4のダイアログが表示されます。

[はい]を選択すると最後にバックアップされたオートセーブファイルを開きます。

[いいえ]を選択するとオートセーブファイルは削除され、新規または選択されたファイルを開きます。

図 5-11-4　オートセーブ

③選択方法

マウスを使用した選択方法を設定できます。

「選択範囲に引っかかっているもの全て」

選択範囲に引っかかっているもの全てを選択します。

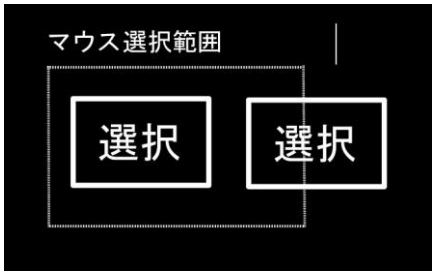


図 5-11-5 選択方法

「選択範囲内に入っているもの」

選択範囲内に入っているものを選択します。

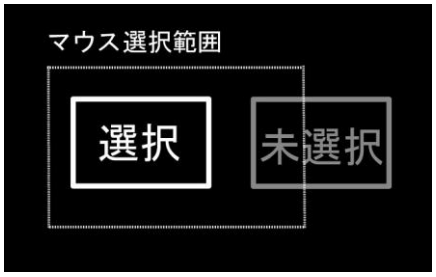


図 5-11-6 選択方法

④プレビュー背景色

スタイルダイアログのプレビュー背景を変更できます。

黒いエッジを使用する際には、背景の変更をおすすめします。

⑤ST5、STWファイルに送出イメージデータを保存する

保存するST5、STWファイルに送出イメージデータを保存するかどうかを設定します。ST-V5送出部でテロップファイルを送出する場合にはチェックボックスをONにします。送出イメージデータを保存する場合、ファイル容量も大きくなります。

オフラインソフトでご使用の場合はOFFしてデータ容量を少なくし、テロップファイルのやり取りを容易に行えます。但し、そのままでは送出できません。送出前にテロップ画像作成ソフトウェアで読み込み、送出イメージデータをつけて保存しなおしてから送出する必要があります。

⑥STWファイル読み込み時文字間調整する。

STWファイル読み込み時に文字間を調整するか設定します。

アプリケーション起動時は必ずONになります。

●キーボードショートカット

各種機能のショートカットキーパターンを設定します。

※Shift + F10をショートカットキーパターンとして割り当てない場合は、このキー入力によりAltキーと同様メニューアクセス機能が実行されます。

図 5-11-7 キーボードショートカット

①プリセット選択

各種機能のショートカットキーパターンをまとめたものがプリセットです。

デフォルトでは「STデフォルト設定」と「サンプルプリセット」の2つがあります。

その他、最大10個のプリセットを登録できます。

プリセットメニューにて任意のプリセットを選択することでそのプリセットのショートカットキーパターンを使用できます。

②新規プリセット

[新規]ボタンのクリックで新たにプリセットを作成できます。

図5-11-8のダイアログが表示されます。

図 5-11-8 新規プリセット

参照元プリセットでベースとなるプリセットを選択します。

新規名には新たなプリセットの名称を入力します。

※入力可能な最大文字数は全角16文字、半角32文字です。

[OK]を選択すると指定した情報に基づき、新たなプリセットを作成します。

※作成できるプリセットは最大10個です。

[キャンセル]を選択すると新規プリセットをキャンセルします。

③プリセット削除

[削除]ボタンのクリックで現在選択しているプリセットを削除します。

※「STデフォルト設定」と「サンプルプリセット」の2プリセットは削除できません。

図5-11-9のダイアログが表示されます。

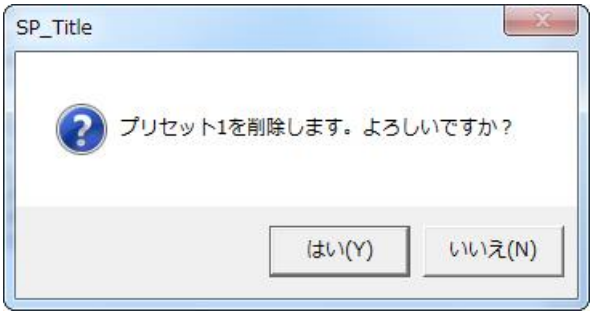


図 5-11-9 プリセット削除

[はい]を選択すると現在選択しているプリセットを削除します。

※削除後は次のユーザープリセット、ユーザープリセットがない場合は「STデフォルト設定」が選択されます。

[いいえ]を選択するとプリセット削除をキャンセルします。

④プリセット読み込み

[読込]ボタンのクリックでファイル保存したプリセットを読み込みます。

※読み込むことのできるファイルの拡張子は”VSC”です。

※既に同じ名称のプリセットが存在している場合は読み込むことができません。

⑤プリセット書き出し

[書出]ボタンのクリックで現在選択しているプリセットをファイルとして書き出します。

※書き出すファイルの拡張子は”VSC”です。

⑥機能一覧

現在選択しているプリセットの機能ごとのキーパターン一覧をツリー形式で表示します。

各機能の名称とキーパターンを確認できます。

キーパターンが登録されていない機能には【キー割り当てなし】が表示されます。

任意の機能名称をクリックすると画面下部に割り当て済みのキーパターンが表示され、変更/削除できます。

⑦割り当てキー入力

機能一覧内で選択している機能のキーパターンを最大2つ登録できます。

割り当てキー入力をクリックし、任意のキーパターンを入力することでそのパターンが表示されます。

続けて入力することで2つめのキーパターンを入力し、再度入力すると1つめの入力に戻ります。

※1つの機能に同じキーパターンを登録することはできません。

また、BackSpace/Deleteキーを押すことで入力したキーパターンを削除できます。

[新規]ボタンのクリックで新たにプリセットを作成できます。

⑧キーパターン登録

新たにキーパターンを入力後、[割当]ボタンのクリックで選択している機能に対し、入力キーパターンが割り当てられます。

割り当てるキーパターンがすでに他機能で割り当て済みの場合、図5-11-10のダイアログが表示されます。(実際の画面内には、割り当て時の任意機能名が表示されます。)

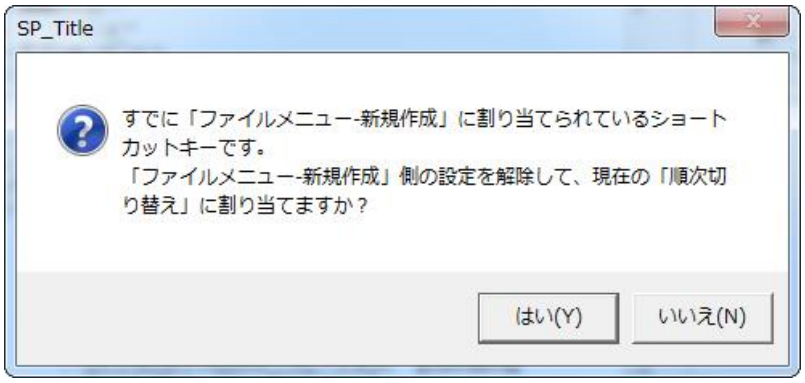


図 5-11-10 割り当て確認

[はい]を選択すると現在選択している機能に対して新たなキーパターンが割り当てられます。

※すでに割り当て済みの機能はキーパターンが削除されます。

[いいえ]を選択すると割り当てをキャンセルします。

⑨キーパターン削除

選択している機能のキーパターンを削除します。

※キーパターン割り当てのない機能に対して削除することはできません。

[削除]ボタンのクリックで図5-11-11のダイアログが表示されます。

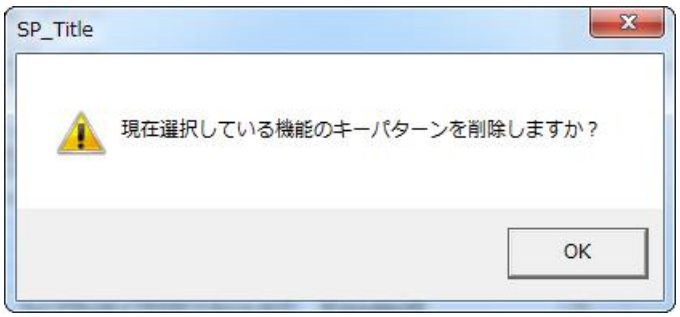


図 5-11-11 削除確認

[はい]を選択すると現在選択している機能のキーパターンを削除します。

●ファイル保存

「選択」ボタンを押して、それぞれのディレクトリを選択してください。

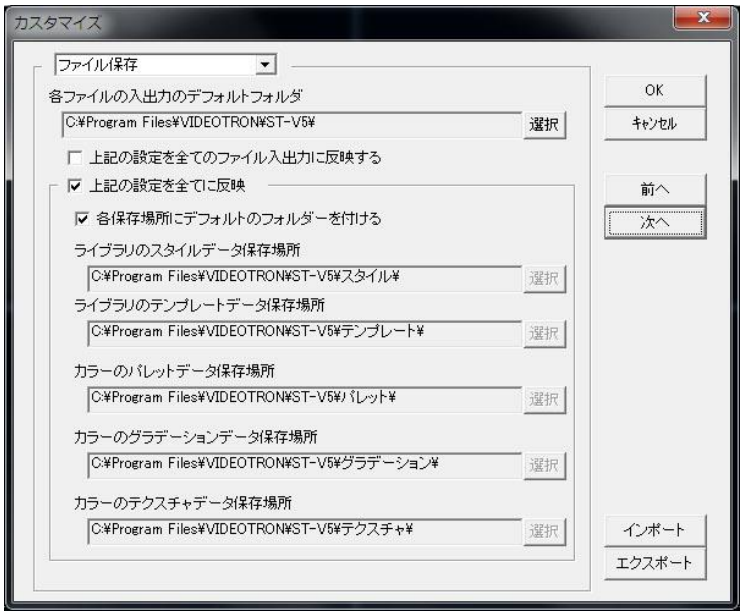


図5-11-12 ファイル保存

①各ファイルの入出力のデフォルトフォルダー

[選択]ボタンのクリックで入出力ファイルのデフォルトフォルダーを選択できます。

・「上記の設定を全てのファイル入出力に反映する」チェックボックスON

ST5ファイルやSTWファイル、汎用イメージファイルなどの各ファイル入出力時のファイル選択ブラウザが表示するデフォルトのフォルダーに反映されます。

・「上記の設定を全てに反映」チェックボックス

ライブラリ（スタイル、テンプレート）、カラー（パレット、グラデーション、テクスチャ）の保存先フォルダーを上記のデフォルトフォルダーに設定し、一覧の参照時や保存時に反映されます。この項目がチェックされている場合は各フォルダーを個別に選択することはできません。

・「保存場所にデフォルトのフォルダーをつける」チェックボックスON

各ファイル入出力のデフォルトフォルダーの下にライブラリ、カラー個々のフォルダーを作成します。

②ライブラリのスタイルデータ保存場所

ライブラリのスタイルデータ保存場所を選択できます。

選択された保存場所にあるスタイルデータが初期値として読み込まれます。

③ライブラリのテンプレートデータ保存場所

ライブラリのテンプレートデータ保存場所を選択できます。

選択された保存場所にあるテンプレートデータが初期値として読み込まれます。

④カラーのパレットデータ保存場所

カラーパレットデータ保存場所を選択できます。

⑤カラーのグラデーションデータ保存場所

カラーのグラデーションデータ保存場所を選択できます。

選択された保存場所にあるグラデーションデータが初期値として読み込まれます。

⑥カラーのテクスチャデータ保存場所

カラーのテクスチャデータ保存場所を選択できます。

選択された保存場所にあるテクスチャデータが初期値として読み込まれます。

●イメージ読み込み方法

図5-11-13 イメージ読み込み方法

①イメージを読み込み時に読み込み方法の設定をしない

設定をONにすることで汎用イメージを読み込むたびにイメージの読み込み方法の設定メニューが表示されなくなります。

設定は同一画面上にあるイメージ読み込み方法の設定が反映されます。

②イメージ読み込み方法

汎用イメージの読み込みを行う時の各種読み込み方法の設定を行います。

※各設定項目の詳細は「P-79 (10)イメージ入力」をご参照ください。

③レイヤーがあるPSDイメージを読み込む時に読み込み方法の設定をしない

設定をONにすることでレイヤーを含むPSDデータを読み込んだ時、読み込み方法の問い合わせメニューが表示されなくなります。

設定は同一画面上にあるレイヤー付きPSDの読み込み方法の設定が反映されます。

④レイヤー付きPSDの読み込み方法

レイヤーを含むPSDデータを読み込んだ時の読み込み方法の設定を行います。

※設定項目の詳細は「P-79 (10)イメージ入力」をご参照ください。

●オブジェクト枠／ベースライン

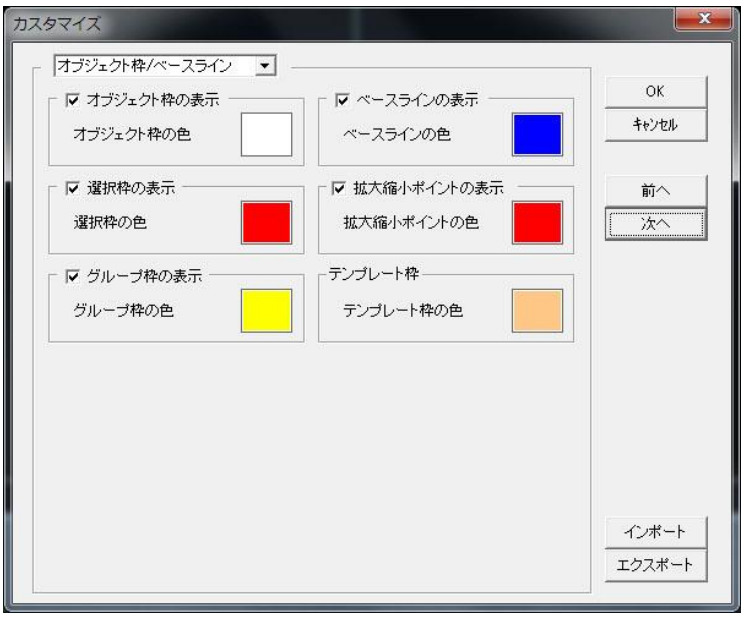


図5-11-14　オブジェクト枠／ベースライン

①オブジェクト枠

オブジェクト枠の表示 ・・・・ オブジェクト枠の表示／非表示の設定ができます。
チェックONで表示になります。

オブジェクト枠の色 ・・・・・・ オブジェクト枠の色を設定できます。

②ベースライン

ベースラインの表示 ・・・・・ ベースラインの表示／非表示の設定ができます。
チェックONで表示になります。

ベースラインの色 ・・・・・・・ ベースラインの色を設定できます。

③選択枠

選択枠の表示 ・・・・・・・・・・ 選択枠の表示／非表示の設定ができます。
チェックONで表示になります。

選択枠の色 ・・・・・・・・・・・・ 選択枠の色を設定できます。

④拡大縮小ポイント

拡大縮小ポイントの表示 ・・・・・・・・・・拡大縮小ポイントの表示／非表示の設定ができます。
チェックONで表示になります。

拡大縮小ポイントの色 ・・・・・・・・・・・・拡大縮小ポイントの色を設定できます。

⑤グループ枠

グループ枠の表示 ・・・・・・・ グループ枠の表示／非表示の設定ができます。
チェックONで表示になります。

グループ枠の色 ・・・・・・・・・ グループ枠の色を設定できます。

⑥テンプレート枠

テンプレート枠の色 ・・・・・・・テンプレート枠の色を設定できます。

●マーカー／グリッド

図 5-11-15 マーカー／グリッド

①マーカー

センターマーカーの色・・・・・・ センターマーカーの色を設定できます。

エリアマーカーの色・・・・・・・・ エリアマーカーの色を設定できます。

セーフティーマーカーの色・・・ セーフティーマーカーの色を設定できます。

吸着エリアマーカーの色・・・・ 吸着エリアマーカーの色を設定できます。

②グリッド

グリッド幅・・・・・・・・・・・・・・・・ グリッド幅を設定できます。(1～100)

注意！

・グリッド幅 1の場合、「表示メニュー」でグリッドを表示させても画面上には表示されません。

・設定値として10以下のグリッドを設定した場合、吸着などの内部処理は設定されたグリッド数で処理されますが、10以下のグリッド表示はすべて10の場合と同じです。

グリッドの色 ・・・・・・・・・・・・ グリッドの色を設定できます。

●リスト表示方法

リストの表示方法、サイズを設定します。

それぞれの大、中、小はサムネイル表示の大きさを表し、リストはリスト表示を設定します。

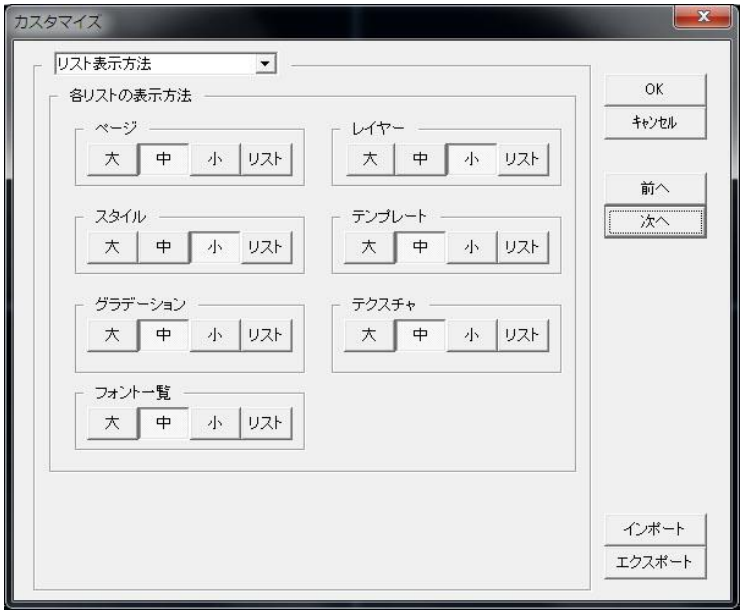


図 5-11-16 リスト表示方法

●印刷

印刷の設定をします。

図 5-11-17 印刷方法

①ページ設定

8ページ/1枚・・・・・・・・1枚に8ページ分のデータを印刷します。

2ページ/1枚・・・・・・・・1枚に2ページ分のデータを印刷します。

②印刷設定

カラー印刷・・・・・・・・・・カラー印刷に設定できます。

モノクロ印刷・・・・・・・・・スーパーのみを黒バックに白文字のモノクロ印刷に設定できます。

モノクロ反転印刷・・・・・スーパーのみを白バックに黒文字のモノクロ反転印刷に設定できます。

モノクロ2値印刷・・・・・・スーパーのみを黒バックに白文字のモノクロ2値印刷に設定できます。

モノクロ2値反転印刷・・スーパーのみを白バックに黒文字のモノクロ2値反転印刷に設定できます。

2値化の制限値・・・・・・ 2値化印刷の制限値を設定します。(0～255)

●フォント

フォント一覧への表示の有無を設定します。

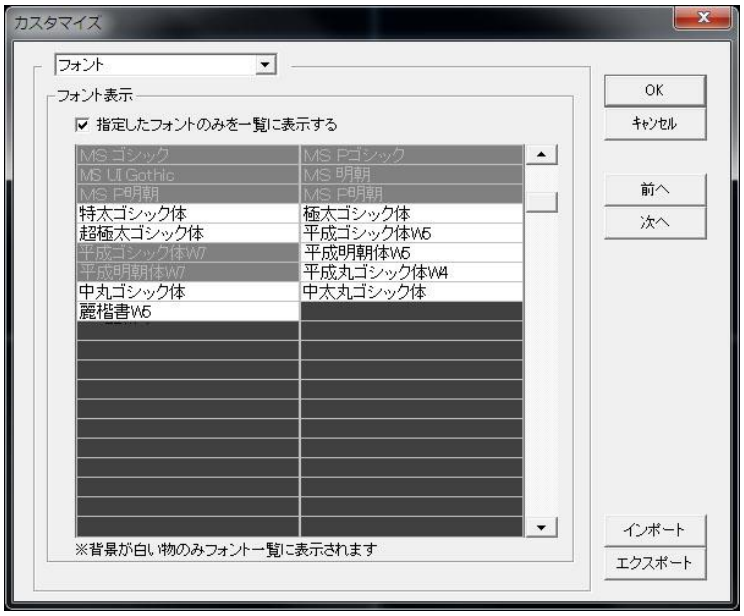


図 5-11-18 フォント

①指定したフォントのみを一覧に表示する

ONにすることでフォント一覧に表示するフォントを指定できます。

OFFの場合は全てのフォントが一覧に表示されます。

②フォント一覧

このフォンの一覧から表示するフォントと表示しないフォントを指定できます。

各フォント部分で左クリックすることで表示と非表示を交互に切り替えます。

背景が白　　・・・ フォント一覧に表示されます

背景がグレー ・・・ フォント一覧に表示されません

全てのフォントを表示または非表示にしたい場合は、右メニューから行うことができます。

●環境設定

環境の設定をします。

図 5-11-19 環境設定方法

①起動時に自動的に日本語入力をONにする

アプリケーション起動時に自動的に日本語入力をONにします。

②SFIFT+半角スペース自動級数

直接入力時のShift +半角スペース入力時の級数を、設定してある文字級数の何%のにするかを設定します。

注意！ 日本語入力時はShift +スペース入力しても環境設定で設定した級数で入力されません。

③半角文字自動級数設定

半角文字入力時の級数を、現在設定してある文字級数の何%にするかを設定します。

半角文字自動級数設定 ・・・半角文字自動級数設定のON/OFFを設定します。

半角文字自動級数 ・・・半角文字の幅を設定した文字級数の何%にするか設定します。(50～150)

オフセット設定

・自動 ・・・オフセットを自動で設定します。

・任意 ・・・オフセットを任意の値で設定します。(-50～50)

④文字サイズに使用する単位

文字のサイズを設定する時の単位を設定します。

級数 ・・・ 文字のサイズを級数で設定します。(7～500)

ポイント ・・・ 文字のサイズをポイントで設定します。(10～800)

(ポイントは級数より細かいサイズで文字のサイズを設定できます)

⑤起動時の文字フィルター設定

アプリケーション起動時にスタイルの文字フィルターの設定をデフォルトで行います。

「自動」、「シャープ強」、「シャープ」、「ソフト」、「ソフト強」を選択します。

⑥イメージのエッジ付けしきい値

イメージのエッジ付けのしきい値のデフォルト値を0～255の値で設定します。

⑦新規作成時に既定のスタイルを反映する

アプリケーション起動時、新規作成時に既定のスタイルを反映するかの設定を行ないます。

⑧文字の表示品質を高画質にする

ONにすることで文字の倍率設定等をした時の文字品質を良くできます。

ただし、Ver5.2.0より前のアプリケーションと表示していた文字に比べて品質及び位置が変化することがあります。

Ver5.2.0より前のアプリケーションと互換を維持したい場合は設定をOFFにしてください。

⑨文字変形後の配置でセンタリング及び吸着を行う

ONにすることで文字変形したイメージでセンタリング及び吸着の位置合わせを行います。

OFFの場合は級数から求めたオブジェクト枠でセンタリング及び吸着の位置合わせを行います。

⑩イメージの入出力にVicImageConvLibライブラリを使用する

ONにすることでイメージの読み込みの種類等を増やすことができます。

ただし、Ver5.2.4より前のアプリケーションで読み込んだイメージとイメージの質が変化することがあります。

Ver5.2.4より前のアプリケーションと互換を維持したい場合は設定をOFFにしてください。

(4)ビデオボード設定

ビデオボードの詳細を設定します。(オフライン版は使用できません)

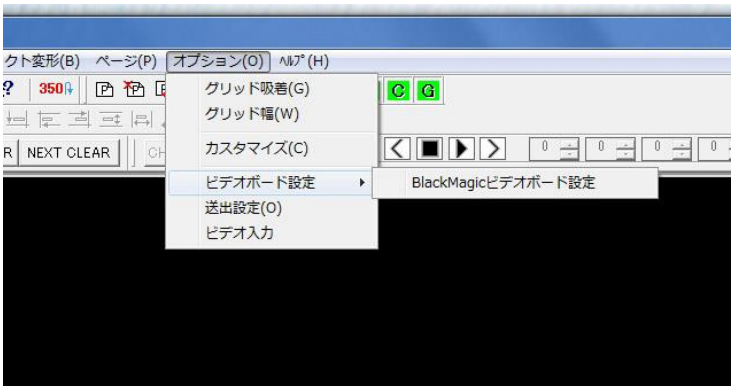


図 5-11-20 ビデオボード設定メニュー

※搭載されているビデオボードによって表示されるメニューは変化します

①DeckLink 4K Extremeビデオボード設定

DeckLink 4K Extremeビデオボードが装着されている場合、ST-V5からDeckLink 4K Extremeビデオボードの設定ができます。

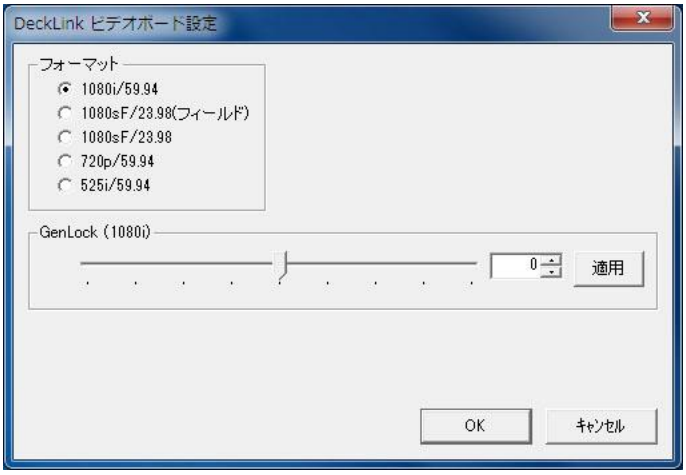


図 5-11-21 DeckLink4K Extreme ビデオボード設定

●フォーマット

SDI映像出力のフォーマットを設定します。

※1080sF/29.98は2種類のレンダリング方式がある為、使用環境に合わせた設定にしてください。

1080sF/29.98(フィールド) ・・・ 出力イメージをフィールド単位で作成します。

1080sF/29.98 ・・・ 出力イメージをフレーム単位で作成します。

●GenLockポジション

外部同期と内部同期のHポジションを設定します。(-511 ～ 511)

●OK・・・・・・・・・・・設定内容をボードに反映し、システムに登録します。

●キャンセル・・・・全ての設定内容を無効にし、このモードに入る前の設定に戻します。

②GG-164ビデオボード設定

GG-164ビデオボードが装着されている場合、ST-V5からGG-164ビデオボードの設定ができます。

図 5-11-22　GG-164 ビデオボード設定

●フォーマット

出力する信号を1080i/59.94 、1080sF/23.98、720p/59.94、525i/59.94に切り替えます。

※1080sF/29.98は2種類のレンダリング方式がある為、使用環境に合わせた設定にしてください。

1080sF/29.98(フィールド) ・・・ 出力イメージをフィールド単位で作成します。

1080sF/29.98 ・・・ 出力イメージをフレーム単位で作成します。

●同期

同期をREF(HD/ BB)、SDI IN1、SDI IN2、内部同期に切り替えます。

●出力タイプ(ST-350Vシステムのみ設定できます)

SDI出力をON AIR 2系統出力、ON AIR/NEXT出力に切り替えます。

●GenLock

水平/垂直位相を調整します。「適用」ボタンを選択すると現在の値をビデオボードに適用します。

設定範囲	1080i/59.94	: H 0～2199 V 0～1124
	1080sF/23.98(フィールド)	: H 0～2749 V 0～1124
	1080sF/23.98	: H 0～2749 V 0～1124
	720p/59.94	: H 0～1649 V 0～749
	525i/59.94	: H 0～854 V 0～524

●スーパー

スーパーのON/OFFを設定します。

ONでLINE INされた信号にスーパーを行います。

●スーパー(NEXT)(ST-350Vシステムのみ設定できます)

NEXT出力側のスーパーのON/OFFを設定します。

ONでLINE INされた信号にスーパーを行います。

出力タイプがON AIR 2出力の場合は設定できません

●OK……設定内容をボードに反映し、システムに登録します。

●キャンセル……全ての設定内容を無効にし、このモードに入る前の設定に戻します。

③GG-167-HDビデオボード設定

GG-167-HDビデオボードが装着されている場合、ST-V5からGG-167-HDビデオボードの設定ができます。

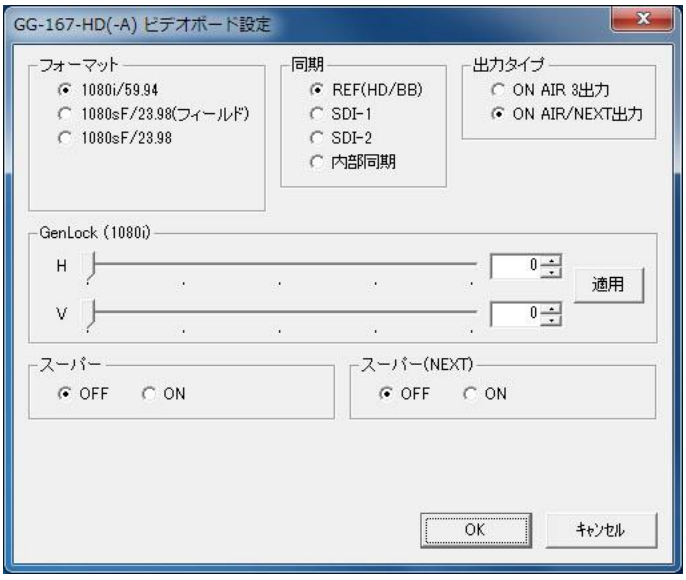


図 5-11-23　GG-167-HD ビデオボード設定

●フォーマット

出力する信号を1080i/59.94 、1080sF/23.98に切り替えます。

※1080sF/29.98は2種類のレンダリング方式がある為、使用環境に合わせた設定にしてください。

1080sF/29.98(フィールド) ・・・ 出力イメージをフィールド単位で作成します。

1080sF/29.98 ・・・ 出力イメージをフレーム単位で作成します。

●同期

同期をREF(HD/ BB)、SDI IN1、SDI IN2、内部同期に切り替えます。

●出力タイプ(ST-350-07オプション追加時のみ設定できます)

SDI出力をON AIR 3系統出力、ON AIR/NEXT出力に切り替えます。

●GenLock

水平/垂直位相を調整します。「適用」ボタンを選択すると現在の値をビデオボードに適用します。

設定範囲　1080i/59.94 : H 0～2199 V 0～1124

1080sF/23.98(フィールド): H 0～2749 V 0～1124

1080sF/23.98 : H 0～2749 V 0～1124

●スーパー

スーパーのON/OFFを設定します。

ONでLINE INされた信号にスーパーを行います。

●スーパー(NEXT)(ST-350-07オプション追加時のみ設定できます)

NEXT出力側のスーパーのON/OFFを設定します。

ONでLINE INされた信号にスーパーを行います。

出力タイプがON AIR 3出力の場合は設定できません

●OK…… 設定内容をボードに反映し、システムに登録します。

●キャンセル…… 全ての設定内容を無効にし、このモードに入る前の設定に戻します。

④ST-350M-01ビデオアダプター設定

ST-350M-01ビデオアダプターが接続されている場合、ST-V5からST-350M-01ビデオアダプターの設定ができます。

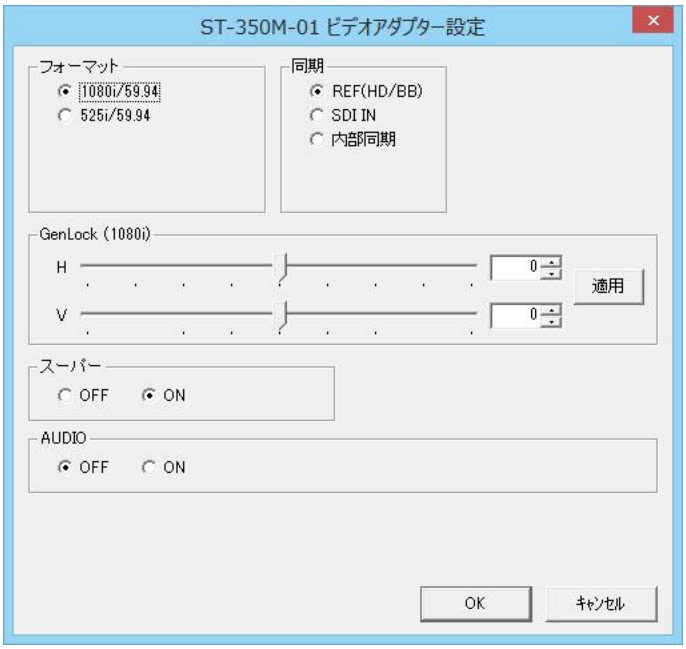


図 5-11-24　ST-350M-01 ビデオアダプター設定

●フォーマット

出力する信号を1080i/59.94 、525i/59.94に切り替えます。

●同期

同期をREF(HD/ BB)、SDI IN、内部同期に切り替えます。

●GenLock

水平/垂直位相を調整します。「適用」ボタンを選択すると現在の値をビデオボードに適用します。

設定範囲　1080i/59.94　: H　-1500 ～ 1500　V　-600 ～ 600（調整ステップ　1ドット）

525i/59.94　: H　-1000 ～ 1000　V　-350 ～ 350（調整ステップ　0.5ドット）

●スーパー

スーパーのON/OFFを設定します。

ONでLINE INされた信号にスーパーを行います。

●AUDIO※

PC AUDIOの重畳のON/OFFを設定します。

ONにするとPCで再生されたAUDIOを出力に重畳します。

●OK……設定内容をボードに反映し、システムに登録します。

●キャンセル……全ての設定内容を無効にし、このモードに入る前の設定に戻します。

注意！

PCで再生されたAUDIOは全て重畳されてしまうため重畳するAUDIO以外の再生には注意してください。

Widowos自体のエラー音なども重畳されてしまうため、あらかじめ鳴らないように設定しておいてください。

(5)送出設定

送出設定をします。(オフライン版は使用できません)

図5-11-25 送出設定(ST-350HS(GG-164))

図5-11-26 送出設定(ST-350M)

①自動送出

チェックボックスONで自動送出に設定できます。

・リフレッシュ時間・・・・・・・設定された時間の周期で編集画面をONAIRに送出します。

設定時間は 30 ～ 3000ms を設定できます。

・外部制御入出力中継BOX(テイクパネル)

・・・・・外部制御入出力中継BOX、テイクパネルコントロールをONにします。

BACK →前のページを読み込む

SKIP →次のページを読み込む

TOP →先頭のページを読み込む

②送出メニュー

チェックボックスONで送出メニューに設定できます。

③外部制御入出力中継BOX(テイクパネル)

チェックボックスONで外部制御入出力中継BOXに設定できます。

・外部制御入出力中継BOX ・・外部制御入出力中継BOXの通信ポートを設定します。

・テイクパネル・・・・テイクパネルの通信ポートを設定します。

・モード・・・・・・・・・・送出モードを設定します。

ダイレクト・・・・・・・・・・ダイレクト送出に設定します。

現在表示されているページをON AIRに、次のページをNEXTに送出します。

CHANGE →ON AIR に次のページを読み込む

BACK →ON AIR に前のページを読み込む

SKIP →ON AIR に次のページを読み込む

TOP →ON AIR に先頭ページを読み込む

※NEXT は変化ありません。

プリセット・・・・・・・・・プリセット送出に設定します。

現在表示されているページをNEXTに送出します

CHANGE →ON AIR,NEXT チェンジ後 NEXT に次ページを読み込む

BACK →NEXT に前のページを読み込む

SKIP →NEXT に次のページを読み込む

TOP →NEXT に先頭ページを読み込む

・テイクパネル設定・・・テイクパネルの設定をします。(ST-350HS(GG-164)システム時のみ設定可能です)

6ボタン・・・・・・・・・・RS-232C接続のTP-100送出用テイクパネルに設定します。

4ボタン・・・・・・・RS-422接続の4ボタンテイクパネルに設定します。

・TOP/S-TAKEの動作・・・6ボタンテイクパネルのTOP/S-TAKEボタンの動作を設定します。

(ST-35Mシステム時のみ設定可能です)

TOP・・・・・・・・・・TOPボタン設定にします。

S-TAKE・・・・・・・S-TAKEボタン設定にします。

設定をS-TAKEにした場合、TOP/S-TAKEボタンが赤(SUPER TAKE ON)または緑(SUPER TAKE OFF)に点灯します。

S-TAKE(SUPER TAKE)をON/OFFすることで。スーパーの表示/非表示を繰り替えます。

④リモートテイク設定

・通信ポート・・・・・・・・・リモートテイクの通信ポートを設定します。

・動作モード・・・・・・・・・リモートテイクの立ち下がり、立ち上がりを設定します。

⑤SUPER TAKE設定

・通信ポート・・・・・・・・・SUPER TAKEの通信ポートを設定します。

・動作モード・・・・・・・・・SUPER TAKEの立ち下がり、立ち上がりを設定します。

注意！ 通信ポートを[なし]に設定した場合、その機能は使用できません。

通信ポートの設定が間違っている場合、通信ポートを使用している他のデバイス(モデム、マウスなど)が使用できなくなる場合があります。

接続したポートがどの番号に相当するかは、お使いのコンピューターのマニュアルをご参照ください。

(6)ビデオ入力

ビデオ映像をキャプチャします。(ST-350M及びオフライン版は使用できません)

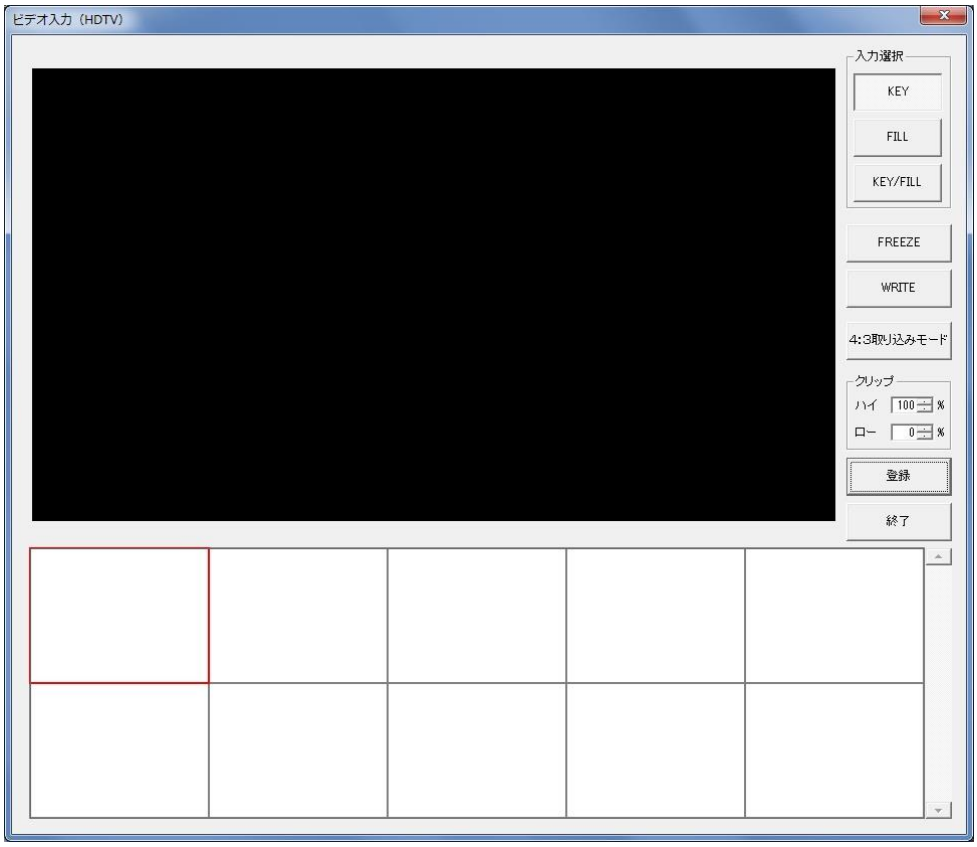


図 5-11-27 ビデオ入力

①入力選択

KEY・・・・・・・・・KEYのみキャプチャします。(ライン映像の輝度成分をKEYとして取り込みます)

FILL ・・・・・・・・FILLのみキャプチャします。(ライン映像をFILLとして取り込みます)

KEY / FILL ・・KEY と FILL をキャプチャします。

②FREEZE

ライン映像入力を停止します。

③WRITE

キャプチャ画面の映像をワークエリアに取り込みます。

ワークエリアに取り込める制限枚数はHDで20枚、SDで100枚です。

④4:3取り込みモード

HDTV 設定のとき、キャプチャ画像を 4:3 で取り込みます。

⑤クリップ

ハイクリップ（75%～100%）・・・輝度を75%～100%に持ち上げます。

ロークリップ（0%～25%）・・・・・輝度を0%～25%に引き下げます。

⑥登録

ワークエリアの画像を編集画面上にイメージとして1ページごとに描き込みます。

⑦終了

ビデオ入力ダイアログを終了します。

⑧登録方法

1. 書き込む画像の形式を、FILL、KEY、KEY/FILLのボタンを押し選択します。
2. ハイクリップ、ロークリップを必要に応じて調整します。
3. FREEZを押し、取り込みたい映像を停止させます。
4. WRITEをクリックすると、赤枠で表示されたワークエリアにキャプチャ画面の映像が取り込まれます。
   すでに映像が登録されている所を変更する場合は、そのワークエリアをクリックして選択しWRITEをクリックすると、キャプチャ映像を上書きします。（FILL、KEY別々に登録できます。）
5. 1～4を繰り返し、[登録]を押すと、ワークエリアに登録されている映像が編集画面上にイメージとして1ページごとに登録されます。

12. ショートカットキー 一覧

(1)ST デフォルト設定(工場出荷時設定)

メニュー		キーパターン
ファイルメニュー	新規作成	Ctrl + N
	開く	Ctrl + O
	上書き保存	Ctrl + S
	名前を付けて保存	Shift + Ctrl + S
	印刷	Ctrl + P
	プリンターの設定	Alt + Ctrl + P
	アプリケーション終了	Alt + F4
編集メニュー	元に戻す	Ctrl + Z
	やり直す	Ctrl + Y
	切り取り	Ctrl + X, Shift + Delete
	コピー	Ctrl + C, Ctrl + Insert
	貼り付け	Ctrl + V, Shift + Insert
表示メニュー	再表示	F5
選択・移動メニュー	全て選択	Ctrl + A
	ページ内全て選択	Alt + A
	選択移動対象(文字)	Shift + Ctrl + C
	選択移動対象(図形)	Shift + Ctrl + F
	選択移動対象(イメージ)	Shift + Ctrl + I
	吸着マーカー(上)	Alt + T
	吸着マーカー(下)	Alt + B
	吸着マーカー(左)	Alt + L
	吸着マーカー(右)	Alt + R
	吸着マーカー(垂直)	Alt + P
	吸着マーカー(水平)	Alt + K
	吸着マーカー(中央)	Alt + M
	センタリング移動(垂直)	Alt + V
	センタリング移動(水平)	Alt + H
	センタリング移動(中央)	Alt + C
描画メニュー	直線入力	Shift + Alt + L
	矢印つき直線入力	Shift + Alt + A
	四角枠入力	Shift + Alt + R
	楕円枠入力	Shift + Alt + C
	多角形枠入力	Shift + Alt + P
	塗りつぶし四角入力	Shift + Alt + B
	塗りつぶし楕円入力	Shift + Alt + E

	塗りつぶし多角形入力	Shift + Alt + F
	図形詳細	Shift + Alt + G
ページメニュー	先頭ページ選択	Home
	最終ページ選択	End
	前ページ選択	PageUp
	次ページ選択	PageDown
	指定ページ選択	Ctrl + J
	新規ページ	Ctrl + Alt + N
	改ページ	Atl + Enter
	ページ削除	Ctrl + Alt + BackSpace
オプションメニュー	SUPER TAKE	Ctrl + T
送出メニュー	→ON AIR	F8
	→NEXT	F2
	OA⇔NEXT	F3
	OA⇔NEXT←	F4
	ON AIR CLEAR	F9
	NEXT CLEAR	F10
スタイルウィンドウ	文字オフセットX位置加算	Ctrl + →
	文字オフセットX位置減算	Ctrl + ←
	文字オフセットY位置加算	Ctrl + ↓
	文字オフセットY位置減算	Ctrl + ↑
ページウィンドウ	ページコピー	Ctrl + Alt + C
	ページ貼り付け	Ctrl + Alt + V
	ページ挿入	Ctrl + Alt + I
	ページ→ON AIR	F8
	ページ→NEXT	F2
ウィンドウ切り替え	メインウィンドウ	Ctrl + Alt + 1(メイン)
	スタイルウィンドウ	Ctrl + Alt + 2(メイン)
	ページウィンドウ(ページタブ)	Ctrl + Alt + 3(メイン)
	ページウィンドウ(レイヤタブ)	Ctrl + Alt + 4(メイン)
	ライブラリウィンドウ(スタイルタブ)	Ctrl + Alt + 5(メイン)
	ライブラリウィンドウ(テンプレートタブ)	Ctrl + Alt + 6(メイン)

(2)サンプルプリセット

メニュー		キーパターン
ファイルメニュー	新規作成	Ctrl + N
	開く	Ctrl + O, F9
	上書き保存	Ctrl + S, Alt + F12

	名前を付けて保存	F12
	印刷	Ctrl + P
	プリンターの設定	Alt + Ctrl + P
	アプリケーション終了	Alt + F4
編集メニュー	元に戻す	Ctrl + Z, Alt + BackSpace
	やり直す	Ctrl + Y
	切り取り	Ctrl + X,
	コピー	Ctrl + C
	貼り付け	Ctrl + V
表示メニュー	再表示	F5
選択・移動メニュー	全て選択	Ctrl + A
	ページ内全て選択	Alt + A
	選択移動対象(文字)	Shift + Ctrl + C
	選択移動対象(図形)	Shift + Ctrl + F
	選択移動対象(イメージ)	Shift + Ctrl + I
	吸着マーカー(上)	Alt + T
	吸着マーカー(下)	Alt + B
	吸着マーカー(左)	Alt + L
	吸着マーカー(右)	Alt + R
	吸着マーカー(垂直)	Alt + P
	吸着マーカー(水平)	Alt + K
	吸着マーカー(中央)	Alt + M
	センタリング移動(垂直)	Alt + V
	センタリング移動(水平)	Alt + H
	センタリング移動(中央)	Alt + C
描画メニュー	直線入力	Shift + Alt + L
	矢印つき直線入力	Shift + Alt + A
	四角枠入力	Shift + Alt + R
	塗りつぶし四角入力	Shift + Alt + B
	塗りつぶし楕円入力	Shift + Alt + E
	塗りつぶし多角形入力	Shift + Alt + F
	図形詳細	Shift + Alt + G
ページメニュー	先頭ページ選択	Home
	最終ページ選択	End
	前ページ選択	PageUp
	次ページ選択	PageDown
	指定ページ選択	Ctrl + J
	新規ページ	Ctrl + Alt + N

	ページ削除	Ctrl + Alt + BackSpace
オプションメニュー	SUPER TAKE	Ctrl + T
送出メニュー	→ON AIR	Ctrl + F3
	OA⇔NEXT	F3
	OA⇔NEXT←	F10
スタイルウィンドウ	文字オフセットX位置加算	Ctrl + →
	文字オフセットX位置減算	Ctrl + ←
	文字オフセットY位置加算	Ctrl + ↓
	文字オフセットY位置減算	Ctrl + ↑
ページウィンドウ	ページコピー	Ctrl + Alt + C
	ページ貼り付け	Ctrl + Alt + V
	ページ挿入	Ctrl + Alt + I
スタイル呼び出し	スタイル1	Shift + F1
	スタイル2	Shift + F2
	スタイル3	Shift + F3
	スタイル4	Shift + F4
	スタイル5	Shift + F5
	スタイル6	Shift + F6
	スタイル7	Shift + F7
	スタイル8	Shift + F8
ウインドウ切り替え	メインウインドウ	Ctrl + Alt + 1(メイン)
	スタイルウィンドウ	Ctrl + Alt + 2(メイン)
	ページウィンドウ(ページタブ)	Ctrl + Alt + 3(メイン)
	ページウィンドウ(レイヤータブ)	Ctrl + Alt + 4(メイン)
	ライブラリウィンドウ(スタイルタブ)	Ctrl + Alt + 5(メイン)
	ライブラリウィンドウ(テンプレートタブ)	Ctrl + Alt + 6(メイン)
	順次切り替え	Ctrl + Tab

6. 工場出荷時設定

本アプリケーションの各設定のデフォルト値は以下の通りです

【メインメニュー － 表示】

項目	設定値	備考
メニュー	すべてON	
バックグランド	OFF(黒)	
セーフティーマーカー	OFF	
エリアマーカー	OFF	
センター	OFF	
グリッド	OFF	

【メインメニュー － 選択・移動】

項目	設定値	備考
選択/移動対象	すべてON	文字/図形/イメージのすべてが対象

【メインメニュー － オプション】

項目	設定値	備考
グリッド吸着	OFF	

【カスタマイズ － 一般】

項目	設定値	備考
UNDO機能ON	ON	
オートセーブ	OFF	
選択方法	引っかかっているもの全て	
プレビュー背景	0	
ST5、STWファイルに送出イメージデータの保存	ON	
STWファイル読み込み時文字間調整をする	ON	

【カスタマイズ － キーボードショートカット】

項目	設定値	備考
プリセット	STデフォルト設定	

【カスタマイズ － ファイル保存】

項目	設定値	備考
各ファイルの入出力のデフォルトフォルダー	アプリケーションのインストール先	
上記の設定を全てのファイル入出力に反映する	OFF	
上記の設定をすべてに反映	OFF	
各保存場所にデフォルトフォルダーを付ける	OFF	
スタイルデータの保存場所	アプリケーションのインストール先 ＋ スタイル	
テンプレートデータの保存場所	アプリケーションのインストール先 ＋ テンプレート	
パレットデータの保存場所	アプリケーションのインストール先 ＋ パレット	
グラデーションデータの保存場所	アプリケーションのインストール先 ＋ グラデーション	
テクスチャデータの保存場所	アプリケーションのインストール先 ＋ テクスチャ	

【カスタマイズ － イメージ読み込み方法】

項目	設定値	備考
イメージを読み込む時に読み込み方法の設定をしない	OFF	
自動(アスペクト)調整(SDTVのみ)	全てのイメージを調整しない	
24ビットデータの自動キー生成	全てのイメージにキーを生成しない	
サイズ調整(編集画面内)	全てのイメージを調整しない	
センタリング	全てのイメージをセンタリングしない	
レイヤーがあるPSDイメージを読み込む時読み込み方法の設定をしない	OFF	
レイヤー付きPSDの読み込み方法	レイヤーイメージで読み込み	

【カスタマイズ － オブジェクト枠/ベースライン】

項目		設定値	備考
オブジェクト枠	表示	ON	
	カラー	白(RGB 255,255,255)	
ベースライン	表示	ON	
	カラー	青(RGB 0,0,255)	
選択枠	表示	ON	
	カラー	赤(RGB 255,0,0)	
グループ枠	表示	ON	
	カラー	黄色(RGB 255,255,0)	
テンプレート枠		肌色(RGB 255,199,134)	

【カスタマイズ － マーカー/グリッド】

項目		設定値	備考
センターマーカーの色		白(RGB 255,255,255)	
エリアマーカーの色		白(RGB 255,255,255)	
セーフティーマーカーの色		白(RGB 255,255,255)	
吸着エリアマーカーの色		グレー(RGB 128,128,128)	
グリッド	グリッド幅	10	
	グリッドの色	白(RGB 255,255,255)	

【カスタマイズ － リスト表示方法】

項目	設定値	備考
ページ	大	
レイヤー	大	
スタイル	大	
テンプレート	大	
グラデーション	大	
テクスチャ	大	
フォント一覧	中	

【カスタマイズ － 印刷】

項目	設定値	備考
ページ設定	8ページ/1枚	
カラー設定	カラー印刷	
2値化の制限値	128	

【カスタマイズ － フォント】

項目	設定値	備考
指定したフォントのみを一覧に表示する	OFF	
フォント一覧内のフォント	表示	アプリケーション起動時、新たに認識したフォントは全て表示で設定されます。

【カスタマイズ － 環境設定】

項目	設定値	備考
起動時に自動的に日本語入力をONにする	OFF	
SHIFR + 半角スペース自動級数	100%	
半角文字自動級数設定	OFF	
半角文字自動級数	100%	
オフセット設定	自動	
文字サイズに使用する単位	級数	
起動時のスタイル設定	自動	
イメージのエッジ付けしきい値	0	
新規作成時に既定のスタイルを反映する	OFF	
文字の表示品質を高画質にする	ON	
文字変形後の配置でセンタリング及び吸着を行う	OFF	
イメージの入出力にVicImageConvLibライブを使用する	ON	

【メインメニュー － 送出設定】

項目		設定値	備考
送出モード設定		送出メニュー	
自動送出	リフレッシュ時間	3000ms	
	外部制御入出力中継BOX	OFF	
外部制御入出力中継BOX(テイクパネル)	外部制御入出力中継BOX	なし	
	テイクパネル	なし	
	モード	ダイレクト	
	テイクパネル設定	6ボタン	
	TOP/S-TAKEの動作	TOP	
リモートテイク設定	通信ポート	なし	
	動作モード	↓	
SUPER TAKE設定	通信ポート	なし	
	動作モード	↓	

7. トラブルシューティング

現 象 アプリケーション起動時にOSがフリーズしてしまう！

原 因 出力ボードのドライバーが正常にインストールできていない可能性があります。（オンライン版のみ）

→DeckLink 4K Extremeドライバーまたは GG-164 GG-167-HDドライバーを、アンインストールしてから再度ドライバーをインストールしてください

現 象 起動しない！

原 因 正しくインストールされていますか？

→マスターディスクを使用して、正しい手順でインストールを行ってください。

原 因 ST-V5でとっているバックアップデータが壊れている可能性があります。

→実行ファイルがあるフォルダー内にある「BackUpStyle.vsl」ファイルを削除してください。デフォルトの状態でインストールされている場合は「C:¥ProgramFiles¥VIDEOTRON¥ST-V5」内にあります。

原 因 ST-350Mの場合、PCとST-350-01がHDMI及びUSBで接続されていますか？

→システム付属の「ユーザーズマニュアル」を参照し、正しく接続を行なってください。

→PCモニター設定の複数ディスプレイが「表示画面を拡張する」に設定してください。

→PCモニター設定の解像度が1920*1080　60Hzに設定してください。

現 象 「ファイルのヘッダー情報が一致しませんでした。」というメッセージが表示される。

原 因 ST-V5でとっている環境設定ファイルが壊れている可能性があります。

→「StyleInit.vsi」「TexterInit.vti」「HinaInit.vhi」「GradInit.vgi」の4つのファイルを検索して、削除してください。

現 象 スタイルダイアログのプレビューが表示されない。

原 因 画面の色が16ビット以下になっていませんか？

→画面の色を24ビット以上にしてください。

16ビット以下のままでも、編集画面には文字、図形、イメージは表示されます。

現 象 文字、図形、イメージが表示されなくなった。

原 因 モードが板テロップになっていませんか？

→板テロップモードの場合、文字、図形、イメージが前のページにかかっていると表示されません。文字、図形、イメージを表示しているページに移動するか、モードをロールにしてください。

現 象 文字が最前面に表示されない！

原 因 文字のかかれているレイヤーが最前面に表示されていますか？

→ 「P-113 (3)レイヤーの調整」をご参照ください。

現 象 取り込めないイメージファイルがある！

原 因 ST-V5が対応している種類のイメージファイルでもファイル内の格納形式により、読み込めないフォーマット形式の物があります。ST-V5が読み込めるフォーマット形式は「P-133 （ 10 ）ST-V5のインポート、エクスポートイメージファイル」をご参照ください。

→BMPで出力できるものはBMPにしていただくと取り込めるようになります。

現 象 文字、図形、イメージが選択、又は移動できない！

原 因 文字、図形、イメージが選択モードになっていますか？

→ 「P-15 10. 選択・移動ツールバー」をご参照ください。

現 象 図形、イメージが貼り付けできない！

原 因 文字内に入力カーソルがありませんか？

→ 文字内に入力カーソルがある場合は、図形、イメージは貼り付けできません。
入力カーソルを文字内から外して、貼り付けを行ってください。

現 象 再生コントロールの再生ができない。

原 因 モードが板テロップになっていませんか？

→ メニューの[モード]でロールを選択してください。

原 因 フレーム数が0になっていませんか？

→ 「P-55 6. ロールテロップの生成とプレビュー」をご参照ください。

現 象 グループ化、グループ化解除が行えない。

原 因 連結オブジェクトが選択されていませんか？

→ 連結オブジェクトはグループ化、グループ化解除を行えません。
連結オブジェクトの選択を解除してください。

現 象 レイヤーの順序変更が行えない。

原 因 連結オブジェクトを順序変更しようとしていませんか？

→ 連結オブジェクトはレイヤーの順序変更を行えません。

現 象 テロップファイルのインポート、エクスポートをしてもメディアを認識しない。

原 因 テロップファイルのMOは管理者権限を持ってないと読み書きが行なえません。

→ 「P-130 (8) テロップファイル入力」をご参照ください。

現 象　外部インターフェース（リモートテイク、外部制御入出力中継BOX）が動作しない。

原 因　COMポートが正しく設定されていますか？

→「P-161 (5)送出設定」を参照し、COMポートを設定してください。

原 因 PCの電源オプションをスタンバイ状態またはスリープ状態に設定していませんか？

→ RS-232C オプションボードの仕様により、パワーマネージメント(電源管理)機能が使用できません。RS-232C オプションボードをご使用のお客様は、OS の「コントロールパネル」の「電源オプション(電源の管理)」にて、スタンバイ状態またはスリープ状態の設定を「しない」に設定してください。（出荷時に設定済み）

現 象　テロップが出力されない！

原 因　ケーブルの接続は正しく行なえていますか？

→システム付属の「ユーザーズマニュアル」を参照し、正しく接続を行なってください。

映像フォーマットは適切に設定されていますか？

→ビデオボード設定を確認し適切な映像フォーマットを指定してください。

原 因　ST-350Mシステムの場合、SUPER TAKEがOFFになっていませんか？

→システムメニューのオプションにあるSUPER TAKEをON(チェックマークがある状態)にしてください。

現 象　アプレケーション起動時に「出力ボードが認識できませんでした。ST-V5の出力に必要なボードが認識されていないか、HASPキーとの情報が一致しません。」と表示されテロップ出力ができない。

原 因　出力ボードのドライバーが正常にインストールできていない可能性があります。（オンライン版のみ）

→DeckLink 4K Extremeドライバーまたは GG-164、GG-167-HDドライバーを、

アンインストールしてから再度ドライバーをインストールしてください。

原 因　ST-350Mシステムの場合、PCモニター設定の「複数ディスプレイの設定」の設定が「表示画面を複製する」など「表示画面を拡張する」以外に設定されていませんか？

→ディスプレイのグラフィックドライバーなどをアップデートするとPCモニター設定の「複数ディスプレイの設定」の設定が「表示画面を複製する」に戻る場合があります。

→デスクトップ画面上で右クリックし「画面の解像度」を選択して「複数ディスプレイの設定」を「表示画面を拡張する」に設定してください。

原 因　ST-350Mシステムの場合、ST-350M-01がPCモニター出力先としてWindowsが認識していない。

→PCを一旦シャットダウンしてST-350M-01の電源が入っていることを確認してからPCの電源をONにしてください。

原 因　ST-350Mシステムの場合、ST-350M-01の電源をPC起動後に入れていませんか？

→PCを一旦シャットダウンしてST-350M-01の電源が入っていることを確認してからPCの電源をONにしてください。

原 因　ST-350Mシステムの場合、ST-350M-01とPCの接続に使用しているHDMI及びUSBケーブルが付属ケーブル以外で接続していませんか？

→PCを一旦シャットダウンして付属ケーブルで接続後、ST-350M-01の電源が入っていることを確認してからPCの電源をONにしてください。

お問い合わせは、当社製造技術部までご連絡ください。

8. 索 引

3

3D....29

B

BMP....41, 79, 133

C

CF-50....130, 132, 133

CHANGE....12

CHNAGE READ....13

F

FTP 転送....120, 122

M

MO....132

N

NEXT....12

NEXT CLEAR....13

O

OFFSET_X/OFFSET_Y....26

ONAIR....12

ONAIR CLEAR....13

P

PICT....41, 79, 133

PSD....41, 79, 133

S

ST-330M....133

ST-330W....133

ST-9920HD....133

SUPER TAKE....161

T

TF-853....130, 132, 133

TF-854....130, 132, 133

TGA....41, 79, 133

TIFF....41, 79, 133

TrueType フォント....52

TW-428....130, 132, 133

U

UNDO....96, 141

Unicode....58

V

VideotronPNG イメージ....82, 119, 120, 122, 133

あ

アスペクト調整....87

アルファ値....33

い

一般....141, 143

移動....103

イメージ....52, 118

イメージ入力....79, 148

イメージ読み込み方法....148

イメージ領域....106

印刷....139, 152

印刷プレビュー....139

インポート....79, 82, 85

え

エクスポート....118

エッジ....30

エッジタイプ-内....31

エッジタイプ-境界....31

エッジタイプ-外....31

エッジタイプ-塗りつぶし....31

エリアマーカー....137

エンボス....29

お

扇15, 100, 101

オートセーブ....141

オブジェクト変形....15, 99

オブジェクト枠....14, 149

オプション設定....140

か

改行....56

回転....15, 25, 52, 99, 101

外部制御入出力中継 BOX....14, 161

改ページ....11, 56, 97

拡大・縮小....107

カスタマイズ....140

角エッジ....30, 32

カラー....35

カラー設定 34
カラー登録 35
カラーパレット 36
環境設定 154
き
キーレベル 29, 31, 32, 33
起動画面 3
級数 24, 52
吸着 136
吸着エリアマーカー 10, 134
行 52
行間隔 26, 52
行揃え 106
切り取り 95
均等揃え 25
く
グラデーション 37, 108
グラデーション編集 109
グリッド 138, 150
グリッド吸着 140, 164
グリッド幅 140, 165
グループ化、グループ化解除 96
グループ枠 14
こ
工場出荷設定 168
固定枠 57
コピー 95
さ
サイズ調整 88
再生 11
再生コントロール 11
削除 102
し
シーケンシャル 121
四角 44, 76, 78
しきい値 42
始点スタイル 44, 77
自動 44, 77
自動キー生成 87
自動送出 160
シャープ 24
シャープ強 24
斜体 25, 52
シャドウ 32
終点スタイル 44, 77
ショートカット 164
書体 52
新規作成 7
新規ページ 11, 97
す
垂直センタリング 10
水平センタリング 10
スーパー 28
スクロールバー 46
図形 52
図形ツールバー 44
図形入力 76
図形の属性の変更 104
図形の変更 107
スタイルダイアログ 23
スタイルタブ 16
ステータスバー 45
スペクトルパレット 36
スポイト 35
せ
正円 78
正多角形 78
正方形 78
セーフティーマーカー 137
線種 44, 77
センター 138
選択 93
選択方法 142
選択枠 14
線の変更 106
線幅 44, 77
選択/移動 15
そ
送出設定 160
送出メニュー 12, 160

属性の変更 104
ソフト 24
ソフトエッジ 30, 32
ソフト強 24
ソフトレベル 31, 32
た
縦倍率 25
ダイレクト 14, 161
楕円 44, 76, 78
多角形 44, 76, 78
縦書き 25
縦倍率 52
単色 108
ち
着色 108
中央センタリング 10
頂点の数 44, 77
直線 44, 76, 78
つ
詰め送り 25
て
停止 11
テキスト流し込み 58, 62, 70, 74
テクスチャ 39, 111
テロップの背景 112
テロップファイル出力 132
テロップファイル入力 130
テロップファイルの属性 53
テンプレートタブ 19
テンプレート枠作成 15
と
動作モード 161
トラブルシューティング 172
な
中揃え 25
に
入力 56
ね
ネオン 29
は
バージョン情報 8
パース 15, 100, 101
ハードエッジ 30, 32
箱送り 25
破線 78
バックグラウンド 136
貼り付け 95
半角スペース 56
半角文字 56
汎用イメージ 79, 118
汎用固定イメージ 85
ひ
左揃え 25
ビデオ入力 162
ビデオボード設定 156
開く 7, 115
比率 44, 77
ふ
ファイル保存 114, 146
フィルター 24
フォント 153
フォントの設定 23
プリセット 14, 161
プレビュー 43
プロポーショナル 25
分割数 44, 77
へ
ページコピー 11, 97
ページ削除 11, 98
ページダイアログ 21
ページタブ 21
ベースライン 14, 149
変形解除 15, 99, 101
ほ
ぼかし 31, 32, 33
保存 7, 114
ポップヒント 8
ま
マーカー 150
丸エッジ 30, 32

み
右揃え 25
め
メニュー 49
も
文字オフセット 105
文字間隔 26, 52
文字入力 56
元に戻す 7, 96
や
矢印 44, 76, 77
矢印の変更 106
やり直し 96
やり直す 7
よ
横書き 25
横倍率 25
横倍率 52
ら
ライブラリダイアログ 16
り
リスト表示方法 151
リフレッシュ時間 160
リモートティク 161
れ
レイアウト 25
レイヤータブ 22
レイヤーの調整 113
連結オブジェクト 61

ご使用者各位

ビデオトロン株式会社

製造技術部

緊 急 時 の 連 絡 先 に つ い て

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。
ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ
適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

ビデオトロン株式会社　製造技術部
〒193-0835　東京都八王子市千人町 2－17－16
TEL　042－666－6329
FAX　042－666－6330
受付時間　8:30～17:00
e-mail:　cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話　042－666－6311
緊急時　090－3230－3507
受付時間　9:00～17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。

無断転写禁止

・このファイルの著作権はビデオトロン株式会社にあります。

・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。